

令和4年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

**外国人介護人材の質の向上等に資する  
学習支援等調査研究事業**

**報告書**

令和5年3月

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会



# 目次

第1章 事業の概要 .....	0
1. 背景と目的 .....	1
2. 実施内容 .....	1
3. 実施体制 .....	5
第2章 留学生へのアンケート調査の実施・分析 .....	8
1. 回答者の情報について .....	10
2. 介護の勉強について .....	23
第3章 「ガイドライン」改訂に関するアンケート調査の実施・検討 .....	74
1. 回答者基礎情報 .....	75
2. ガイドライン修正要望について .....	77
3. ガイドライン修正要望のまとめ .....	81
第4章 「ガイドライン」改訂版の作成 .....	84
1. 「ガイドライン（改訂版）」作成の趣旨 .....	85
2. 「ガイドライン（改訂版）」の主な項目 .....	85
第5章 「留学生のための学習ハンドブック」の作成 .....	86
1. 学習ハンドブックの作成趣旨 .....	87
2. 学習ハンドブックの項目 .....	87
付属資料 .....	88
資料1：留学生アンケート調査票 .....	89
資料2：養成校向けアンケート調査票 .....	98
資料3-1：ヒアリングまとめ（元留学生） .....	99
資料3-2：ヒアリングまとめ（介護教員） .....	109

## はじめに

現在、全国の介護福祉士養成施設(以下、養成校という)で学ぶ外国人留学生(以下、留学生という)の数は約 2,000 人で、全体の約 3 割を占めるまでになっています。養成校を卒業した留学生の多くは、介護老人福祉施設などの介護施設へ就職しており、介護人材の不足が叫ばれている昨今、その活躍は日本社会に大きく貢献しています。今後は、特定技能介護などで来日する外国人介護人材への指導的立場としても、その能力が発揮されることが見込まれています。

一方で、介護福祉士国家試験を取り上げると、日本人学生の合格率が 90%以上であるのに対し、留学生は約 30%に留まっているのが現状です。この数字は、養成校に入学した留学生の 7 割が国家試験には合格できていないという結果を表しています。

こうした状況を改善するため、令和 2 年度より、厚生労働省の補助事業「外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業」として、当協会の実施計画が採択され、令和 3 年度、そして本年度も継続して、この事業を実施してきました。

令和 2 年度に作成した「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン」(本文では「ガイドライン」という)は、養成校側に求められる学習支援のための環境整備などを中心にまとめております。この「ガイドライン」について、過去 2 年間に集積された知見に加え、本年度令和 4 年度には、養成校介護教員への改訂版に向けた希望内容に関するアンケート調査を実施し、「ガイドライン(改訂版)」として新たに発行することができました。

また、本年度の事業では、主に、①今年度卒業予定の養成校に在籍する留学生へのアンケート調査を実施し、②現役で国家試験に合格した現在介護施設に従事する元留学生へのヒアリング調査を行い、それらの結果等をふまえて「留学生に向けた学習ハンドブック」(別冊)を作成しました。この「学習ハンドブック」は、養成校で学ぶ留学生全員を対象とし、学習する際の前提知識や具体的な学習方法などを平易な日本語で記載し、多くの留学生が、日ごろの授業での取り組む姿勢や態度が分かり、国家試験に向けた学習方法についても参考となる内容となっております。

本事業の実施にあたっては、ヒアリング調査にご協力いただいた元留学生及び元留学生をご指導いただいた介護教員の皆様、アンケート調査にご協力いただいた全国の介護福祉士養成施設の皆様など、数多くの方々にご協力いただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

最後に、本事業の成果が全国の介護福祉士を目指す留学生と彼らを養成する皆様の一助となりますとともに、介護サービス全体の向上に寄与できることを願います。

## 第1章 事業の概要

## 1. 背景と目的

在留資格「介護」が創設されたことにより、介護福祉士養成施設(以下、養成校という)に在籍する外国人留学生(以下、留学生という)の数は、増加の一途を辿っている。現在、養成校で介護福祉士養成課程を修了した学生は、卒業後 5 年間介護に従事すれば、国家資格である介護福祉士に登録できる仕組みがとられている。この制度は令和 8 年度までの時限的措置であり、令和 9 年度以降は、介護福祉士国家試験に合格することが、介護福祉士資格取得のための必須要件となることが決まっている。

一方で、質の向上に資すると考えられる外国人介護人材の国家試験の合格率には、課題が大きい。養成校に在籍する留学生の第 34 回(令和3年度)介護福祉士国家試験の合格率は、31.7%と低水準な結果となっている。これは、日本人学生の合格率が 9 割以上であることに比べると、今後、活躍が期待されている外国人介護人材の質の向上に寄与できているとは言えない現状である。

こうした現状を踏まえ、令和 2 年度の当該研究事業では、介護福祉士国家試験の模擬試験や過去問題に取り組んだ留学生へアンケート・ヒアリングを実施し、留学生の国家試験における科目別理解度の差や得点の高低などの全体傾向を明らかにした。これらの結果を踏まえ、養成校を対象とした「留学生指導についてのガイドライン」を作成することができた。

令和 3 年度の当該研究事業では、留学生だけでなく EPA 介護福祉士候補者も含めた外国人介護人材への国家試験対策における指導の在り方や方策について検討することを目的とし、授業分析を実施し、模擬授業の撮影及び介護教員研修会を実施した。これらの結果を踏まえ、介護教員を対象とした「留学生指導についての指導のポイント」を作成することができた。

令和 4 年度の当該研究事業では、当事者である留学生を対象とした学習のためのハンドブック作成を目的とし、留学生への学習状況や科目に対する意識についてアンケート調査を実施し、現役合格を果たし、現在介護施設で活躍する元留学生へのヒアリングも行った。これらアンケート調査及びヒアリングを基に、学習方法のノウハウを集積した「留学生のためのハンドブック」を作成することとなった。

また、合わせて令和 2 年度作成の「留学生指導についてのガイドライン」について改訂することとした。

## 2. 実施内容

上記の目的を達成するため、本事業では有識者、実務関係者等の 8 名で構成する検討委員会を設置した。検討委員会での討議をもとに、留学生のための「学習ハンドブック」作成のためのアンケート調査及びヒアリングの設計・結果分析・とりまとめを行い、一連の業務を円滑かつ効果的に進めた。

具体的には、以下(1)～(5)の 5 項目について取り組んだ。

- (1) 留学生へのアンケート調査の実施・分析
- (2) 「ガイドライン改訂に関するアンケート調査の実施・検討
- (3) 元留学生及び介護教員へのヒアリング
- (4) 「留学生指導についてのガイドライン」改訂版の作成
- (5) 「留学生のための学習ハンドブック」の作成

以下、それぞれ概要を示す。

## (1) 留学生へのアンケート調査の実施・分析

当アンケートの対象者としては、今年度卒業予定の養成校に在籍する留学生とした。

その主な理由として、養成校に在籍している1年生の場合、未履修科目が多いことが想定された。アンケートの主な調査内容が、学習内容への得意・不得意を問い、また、それら学習に対する勉強方法を問うこととしたため、1年生の段階で答えることが難しい項目も多く、未回答という結果が想定された。

そのため、当協会が毎年実施している定員充足度調査(2年制課程は令和3年度、3年制課程は令和2年度、4年制課程は令和元年度での集計)をもとに、今年度卒業予定の養成校に在籍する留学生へのアンケート調査を実施することとした。

全体数としては、今年度卒業予定の者がいる会員校164校に所属する2,195名へ回答依頼をかけ、回答者数は計995票あった。

図表1：調査の概要

項目	内容
調査名	養成校に所属する留学生の自己学習に関するアンケート調査
実施期間	令和4年11月1日(火)～令和3年11月29日(火)
実施対象	本協会会員施設である養成校に所属する留学生で、令和4年度で卒業予定の留学生(164校に所属する計2,195人名)
悉皆・抽出の区分	悉皆
調査方法	当協会から養成校宛てにメール依頼、WEBにて回収
調査結果主要集計項目	・留学生基礎情報 ・介護の勉強内容・方法 等
督促	未回答の養成校に対してメールによる督促
備考	問い合わせには電話・メールで対応
有効回答数	995票(回収率45.3%)

アンケート調査の分析結果は、以下「(5)「留学生のための学習ハンドブックの作成」の基礎資料として使用した。

なお、本分析結果については、「第2章 留学生へのアンケート調査の実施・分析」に掲載している。

## (2) 「ガイドライン」改訂に関するアンケート調査の実施・検討

令和2年度作成の「留学生指導についてのガイドライン」は、当時、留学生の在籍有無に関わらず、本協会全会員校に向けて郵送、発送を行った。そのため、今回のアンケート調査において、全会員校313校に所属する介護教員を対象とし、「ガイドライン」改訂版に向けた自由記述を中心とした設問項目を作成した。その主な目的としては、①「ガイドライン」の周知状況、②改良を要望する項目についての2項目である。

とりわけ、各章・項目ごとに具体的な修正希望が記載できるように、項目ごとに自由記述欄を設けることとした。また、令和3年度作成の「留学生指導についての指導のポイント」についての記述欄を併せて設けることで、今年度の改訂版に、より多くの内容が盛り込めるよう工夫を行った。

このアンケート調査の結果においては、以下「(4) 「留学生指導についてのガイドライン」改訂版の作成の基礎資料として使用した。

なお、本調査・分析結果については、「第3章 「ガイドライン」改訂に関するアンケート調査の実施・検討」に掲載している。

図表2：調査概要

項目	内容
調査名	「留学生指導についてのガイドライン」についての調査
実施期間	令和4年11月31日（水）～令和4年12月21日（水）
実施対象	本協会会員施設である養成校に所属する介護教員（314校）
悉皆・抽出の区分	悉皆
調査方法	当協会から養成校宛てにメール依頼、Excelにて回収
調査結果主要集計項目	・ガイドライン周知状況 ・ガイドライン要望項目 等
督促	未回答の養成校に対してメールによる督促
備考	問い合わせには電話・メールで対応
有効回答数	45票（回収率14.3%）

## (3) 元留学生及び介護教員へのヒアリング

事業実施にあたり、以下の通り、事前及び本調査の2種類のヒアリングを実施した。

### ① 元留学生及び介護教員へのヒアリングのための事前ヒアリング

「(3) 元留学生及び介護教員へのヒアリング」を実施する前に、実際に留学生への教育経験を持つ介護教員に対するヒアリングを実施し、担当科目での講義内での工夫、個別指導等に関する意見聴取を行った。

図表3：事前ヒアリング調査の概要

実施時期	実施対象	ヒアリング項目
令和4年9月	・外国人留学生への教育経験が豊富な介護教員（2名）	・養成校の基礎情報（学生数、留学生の日本語レベル、教員体制及び人数） ・教員の基礎情報（教員経験年数、担当科目） ・学生支援スキーム（学生への基本的な支援体制、留学生受け入れ後に設けた体制、国試対策への取り組み） ・個別指導（日本人学生への個別指導、留学生への個別指導） ・担当科目での講義内での工夫（介護の専門性を教えるための工夫、授業に集中してもらうための工夫） ・講義外での工夫（自己学習をしてもらうための工夫、授業外での国試対策への取り組み） 等



## ② ハンドブック作成のためのヒアリング

「留学生のための学習ハンドブック」(別冊)を作成するため、実際に現役で国家試験に合格をした元留学生で、現在、介護福祉士として介護福祉施設に勤務する卒業生にヒアリングを実施した。また、元留学生へ指導を行った介護教員へのヒアリングを実施し、養成校全体での取組、現役合格を果たす留学生の特徴等についての意見聴取を行った。

図表4：本ヒアリング調査の概要

実施時期	実施対象	ヒアリング項目
令和4年12月～ 令和5年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優秀な成績で現役合格を果たした元留学生(3名)</li> <li>・来日時の日本語能力がN3程度で、その後学力を伸ばして、現役合格を果たした元留学生(3名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元留学生の基礎情報(年齢、出身、国での最終学歴、学校の成績)</li> <li>・養成校での取組(日ごろの授業、得意・不得意科目)</li> <li>・試験対策への取組(不得意科目対策、スケジュールの立て方、模擬試験の受験回数)</li> <li>・モチベーション維持の方法</li> <li>・「学習ハンドブック」に記載する項目案(留学生が知りたい情報、先輩として後輩に伝えたいこと) など</li> </ul>

実施時期	実施対象	ヒアリング項目
令和4年12月～ 令和5年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現役合格に導いた主任介護教員(2名)</li> <li>・クラス担任として現役合格を引導した介護教員(3名)</li> <li>・国試対策クラスも含め、現役合格に導いた介護教員(1名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成校及び教員の基礎情報(学生数、留学生全体の日本語レベル、教員歴、担当科目)</li> <li>・養成校全体での取組(基本的な学生への支援体制、介護の専門性を伝えるための取組、自己学習をしてもらうための工夫、個別指導の方法)</li> <li>・担当科目内での講義内での工夫(授業に集中してもらうための工夫、授業内での国試対策への取組)</li> <li>・現役合格を果たす留学生の特徴(日ごろの授業での様子、授業外での国試対策への取組)</li> <li>・「学習ハンドブック」に記載する項目案(留学生へ伝えるべきポイント、留学生へのメッセージ) など</li> </ul>

これら事前及び本ヒアリング調査は、以下「(5)「留学生のための学習ハンドブック」の作成」における基礎資料として使用した。

なお、本ヒアリング内容については、付属資料3-1.ヒアリングまとめ(元留学生)及び3-2.ヒアリングまとめ(介護教員)に掲載している。

## (4)「留学生指導についてのガイドライン」改訂版の作成

先述(2)でのアンケート調査の結果を踏まえ、養成校教員が留学生に対し、国家試験に対する学習に向けて、どのように指導していけばよいか等を記載した「ガイドライン」(改訂版)を作成した。

なお、「ガイドライン」(改訂版)の概要については、第4章「ガイドライン」改訂版の作成に掲載している。その内容については、別冊「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生指導についてのガイドライン」(改訂版)を参照のこと。

## (5)「留学生のための学習ハンドブック」の作成

先述の(1)・(3)の実施結果を踏まえ、留学生に対し、日ごろの授業あるいは帰宅後に、どのように国家試験受験を意識しながら、自ら学習していけばよいか等を記載した「学習ハンドブック」を作成した。

なお、「留学生のための学習ハンドブック」の概要については、第5章「留学生のための学習ハンドブックの作成」に掲載している。その内容については、別冊「介護福祉士国家資格取得に向けた留学生のための学習ハンドブック」を参照のこと。

### 3. 実施体制

本事業では有識者、実務関係者等の 8 名で構成する検討委員会を設置し、外国人留学生向けの「学習ハンドブック」作成のための各調査の設計・結果分析・とりまとめについて検討を行った。

#### (1) 検討委員会名簿

<検討委員会名簿>※◎:委員長、五十音順、敬称略、所属等は令和 5 年 3 月時点

氏名	所属・役職
◎井之上 芳雄	日本介護福祉士養成施設協会 副会長
池澤 明日香	神戸医療福祉専門学校中央校 教員
石川 由美	帝京平成大学健康医療スポーツ学部・医療スポーツ学科 准教授
任 セア	東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科 助教
岡本 匡弘	京都保育福祉専門学院 副学院長
小山 晶子	医療介護福祉政策研究フォーラム アドバイザー
黒田 英敏	旭川福祉専門学校 副校長
橋本 由紀江	国際交流&日本語支援 Y 代表理事

#### <オブザーバー>

厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室

#### <事務局>

氏名	所属・役職
山田 洋輔	日本介護福祉士養成施設協会 事務局長
田中 佐千代	同 事務局員

#### <事務局補助>

氏名	所属・役職
安田 純子	PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 シニアマネージャー
岡田 泰治	同 シニアアソシエイト

## (2) 検討委員会 開催実績 及び 検討内容

以下の通り、検討委員会を5回実施した。

### <検討委員会 開催実績及び検討内容>

回数	日程・場所	議事内容
第1回	令和4年8月1日(月) 18:00-20:00 @PwCコンサルティング合同会社 18F Fuji (ZOOM 併用)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本調査・研究にかかる背景および事業の全体概要について</li><li>・ 本年度の実施事項について</li></ul>
第2回	令和4年10月6日(木) 18:00-20:00 @PwCコンサルティング合同会社 18F Fuji (ZOOM 併用)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「学習ハンドブック」項目について</li><li>・ 留学生アンケート調査について</li><li>・ 養成校アンケート調査について</li></ul>
第3回	令和5年1月23日(月) 14:00-16:00 @PwCコンサルティング合同会社 18F Fuji (ZOOM 併用)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 留学生アンケート結果を踏まえた「学習ハンドブック」項目案について</li><li>・ 養成校アンケート結果を踏まえた「ガイドライン」修正方針案について</li><li>・ ヒアリング結果報告</li></ul>
第4回	令和5年2月21日(火) 19:00-21:00 @PwCコンサルティング合同会社 18F Fuji (ZOOM 併用)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 留学生アンケート及びヒアリング結果を踏まえた「学習ハンドブック」初稿案について</li><li>・ 教員アンケート結果を踏まえた「ガイドライン」改訂案について</li><li>・ ヒアリング結果報告</li></ul>
第5回	令和5年3月13日(月) 14:00-16:00 @PwCコンサルティング合同会社 18F Fuji (ZOOM 併用)	「学習ハンドブック」最終案について



## 第2章 留学生へのアンケート調査の実施・分析

※ クロス集計表については、以下の通り色付けを行っています。

- ・平均 10%以上 : **太字赤文字**
- ・平均 5%以上 10%未満 : **赤文字**
- ・平均 5%以下 10%未満 : **太字青文字**
- ・平均 10%以下 : **青文字**

< サンプル >

		n数	必ず合格 したい	できれば 合格した い	今まで合 格したい かどうかを 考えたこと がない
全体		995	71.4	26.9	1.7
学歴	大学・大学院以上	225	79.1	18.2	2.7
	大学の経験なし	770	69.1	29.5	1.4
介護や看護の資格 の保持状況	資格を持っており実務経験有り	106	<b>84.0</b>	<b>14.2</b>	1.9
	資格を持っているが実務経験無し	63	61.9	33.3	4.8
	資格なし	826	70.5	28.1	1.5
日本語能力	N2以上	384	<b>83.3</b>	<b>15.6</b>	1.0
	N2未満	611	63.8	34.0	2.1
介護分野の日本語 の理解度	高	196	<b>86.2</b>	<b>13.3</b>	0.5
	中	721	69.6	28.7	1.7
	低	78	<b>50.0</b>	<b>44.9</b>	5.1
アルバイト経験	介護施設・事業所でのアルバイト経験有り	747	74.6	24.6	0.8
	介護施設・事業所でのアルバイト経験無し	248	61.7	33.9	4.4
キャリアコミットメント (情緒的要素)	高	555	79.5	19.8	0.7
	中	326	64.1	34.7	1.2
	低	113	<b>53.1</b>	<b>38.9</b>	8.0
勉強時間	日平均2 時間以上	364	74.2	25.0	0.8
	日平均1 時間以上2 時間未満	402	74.1	25.1	0.7
	日平均1 時間未満	206	<b>61.2</b>	<b>34.0</b>	4.9

※ 一部、ヒートマップを使用した表を添付しており、以下の通り色付けを行っています。

- ・数値が高いほど **濃い赤色**
- ・数値が低いほど **濃い青色**

< サンプル >

	①勉強の 仕方が分 からない から	②介護の 仕事で役 立つこと が理解で きないか ら	③内容が 嫌い・面白 くないか ら	④知らな いことば かりだか ら	⑤出てくる 言葉が難 しいから	⑥あまり 勉強して いないか ら	⑦その他	「その他」 を除く全設 問の平均 値
人間の尊厳と自立	1.82	1.54	1.58	1.93	2.12	1.68	1.56	1.78
人間関係とコミュニケーション	2.00	2.05	2.15	2.05	2.15	2.15	2.14	2.09
社会の理解	1.72	1.55	1.67	2.11	2.21	1.58	1.39	1.81
介護の基本	2.24	1.84	2.03	1.95	2.08	2.00	1.92	2.01
コミュニケーション技術	1.94	1.56	1.63	1.88	2.13	1.63	1.27	1.79
生活支援技術	1.85	1.85	1.69	2.15	2.38	1.85	1.56	1.96
介護過程	1.78	1.87	1.87	1.67	1.85	1.78	1.50	1.64
発達と老化の理解	1.88	1.67	1.67	2.11	2.25	1.67	1.58	1.88
認知症の理解	1.78	1.83	1.78	2.22	2.30	1.78	1.44	1.95
障害の理解	1.77	1.77	1.66	1.97	1.77	1.74	1.73	1.78
こころからだのしくみ	1.72	1.48	1.55	2.03	2.37	1.67	1.18	1.80
医療的ケア	1.75	1.75	1.68	2.00	2.24	1.71	1.39	1.85
平均	1.85	1.69	1.71	2.01	2.15	1.77	1.56	1.86

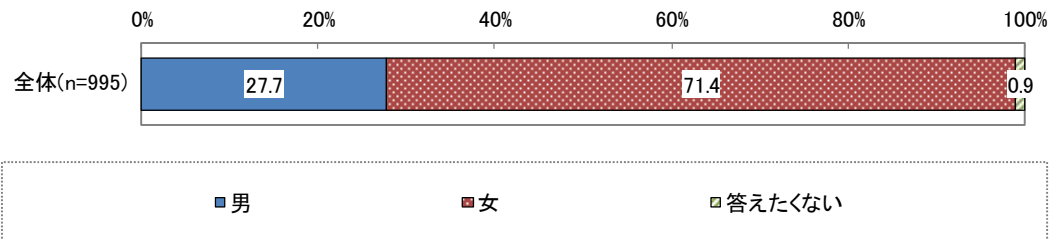
※設問・選択肢によってn数が異なるため、n数の表示はしていません

# 1. 回答者の情報について

## (1) 性別

問2 . あなたの性別は何ですか。

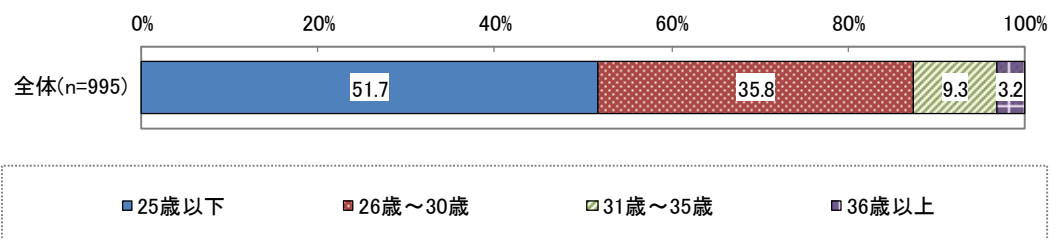
・ 「女」が71.4%、「男」が27.7%であった。



## (2) 年齢

問3 . あなたは何歳ですか。

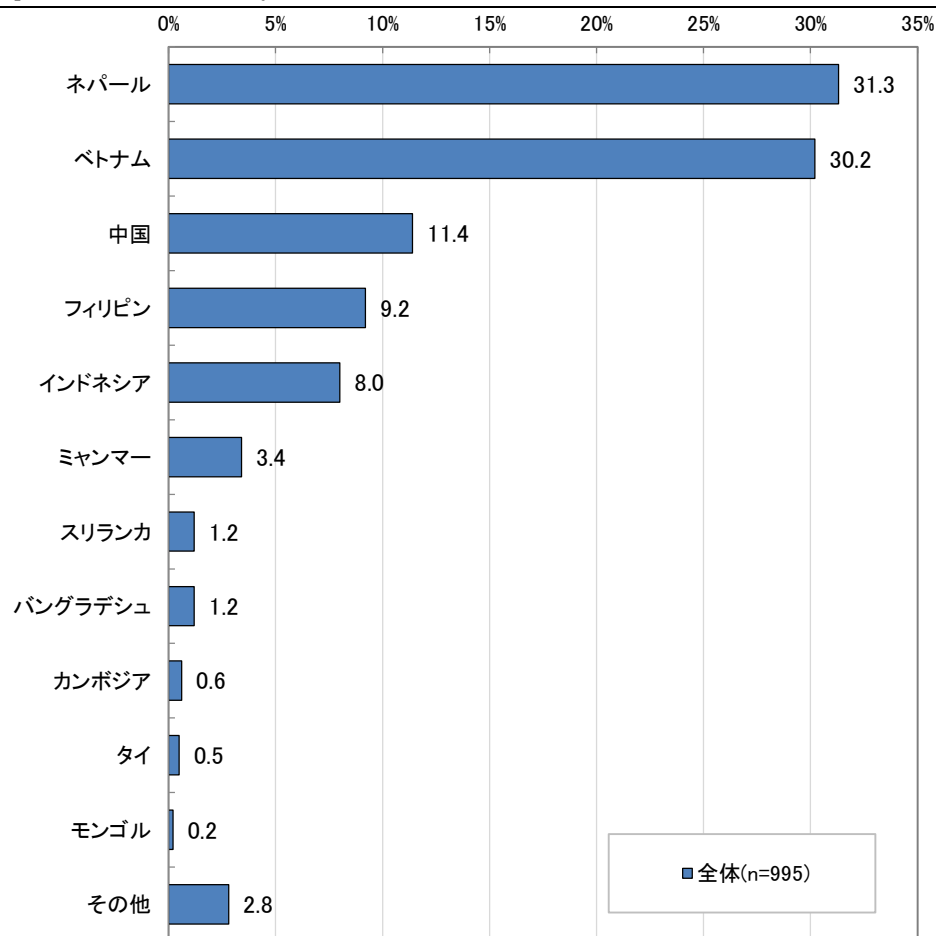
・ 「25歳以下」が51.7%、「26歳～30歳」が35.8%、「31歳～35歳」が9.3%、「36歳以上」が3.2%であった。



### (3) 出身国

問4 . あなたの出身の国はどこですか。

・ 「ネパール」が31.3%と最も高く、「ベトナム」が30.2%、「中国」が11.4%、「フィリピン」が9.2%、「インドネシア」が8.0%となっている。



その他:

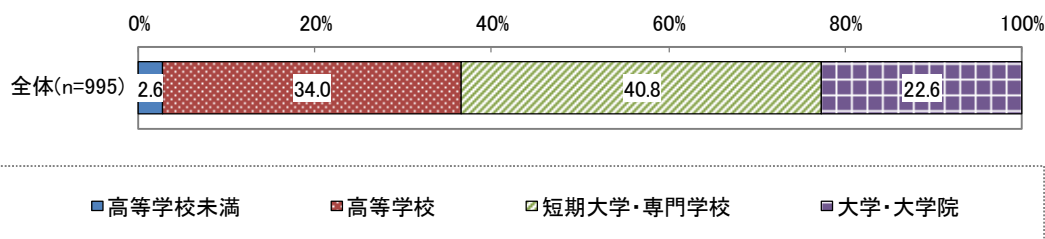
台湾、韓国、香港、ウズベキスタン、ネパール、メキシコ、コロンビア、グアテマラ など



#### (4) 最終学歴

問 5 . あなたの最終学歴は何ですか。

・ 「高等学校未満」が 2.6%、「高等学校」が 34.0%、「短期大学・専門学校」が 40.8%、「大学・大学院」が 22.6%であった。

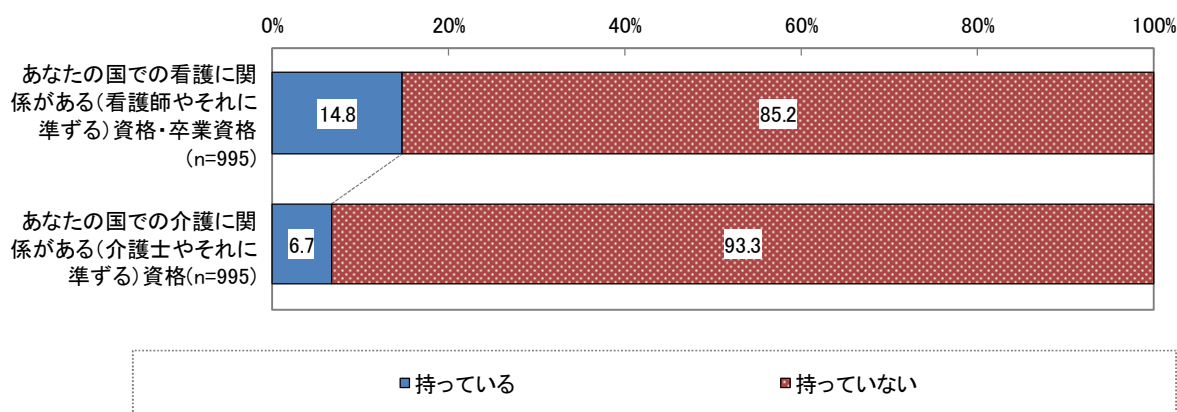


#### (5) 資格・経験

##### ① 保持資格

問 6 あなたの持っている資格について教えてください。

・ <看護に関係がある資格・卒業資格>では「持っている」が 14.8%、一方、「持っていない」が 85.2%であった。  
 ・ <介護に関係がある資格>では「持っている」が 6.7%、一方、「持っていない」が 93.3%であった。

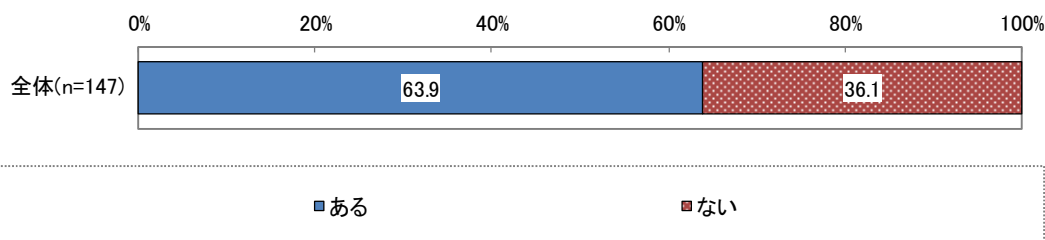


##### ② 仕事の経験

##### <看護の仕事の経験>

問 6-1 .【問 6(1) で「1 . 持っている」を選択した方】あなたは、あなたの国で看護の仕事をした経験がありますか。

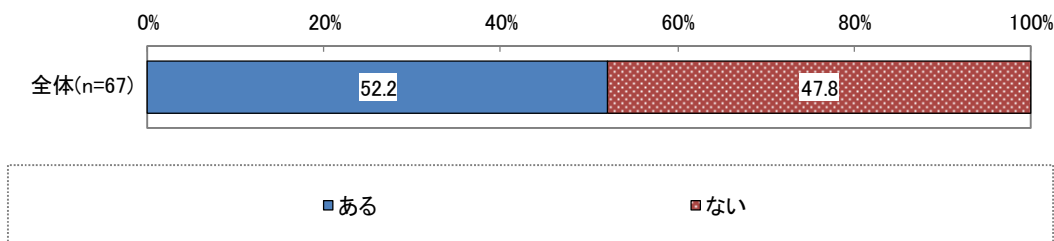
・ 「ある」が 63.9%、「ない」が 36.1%であった。



### <介護の仕事の経験>

問 6-2. 【問 6(2)で「1. 持っている」を選択した方】あなたは、あなたの国で介護の仕事をした経験がありますか。

・ 「ある」が52.2%、「ない」が47.8%であった。



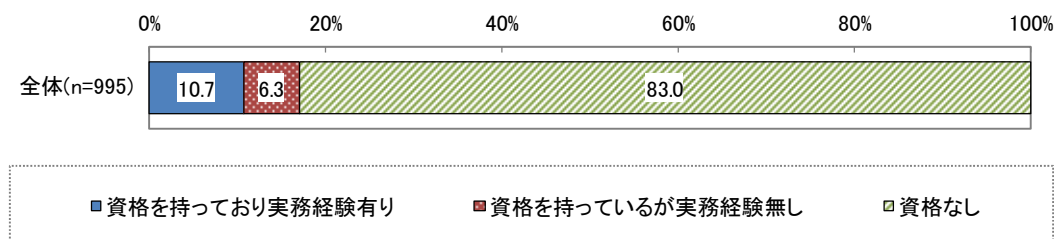
### ③ 資格と経験

問 6 あなたの持っている資格について教えてください。

問 6-1. 【問 6(1)で「1. 持っている」を選択した方】あなたは、あなたの国で看護の仕事をした経験がありますか。

問 6-2. 【問 6(2)で「1. 持っている」を選択した方】あなたは、あなたの国で介護の仕事をした経験がありますか。

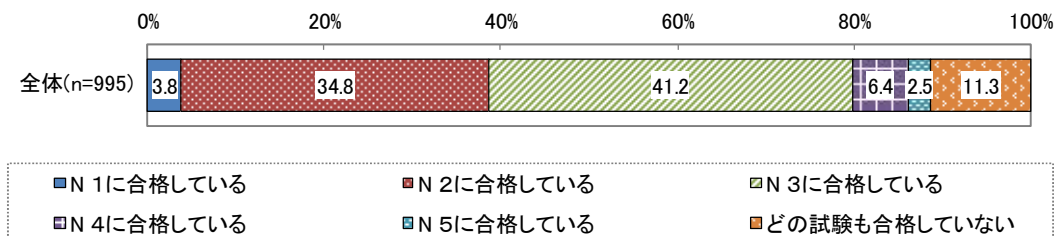
・ 看護もしくは介護の資格の保持状況と実務経験については、「資格を持っており実務経験有り」が10.7%、「資格を持っているが実務経験なし」が6.3%、「資格なし」が83.0%であり、8割近くが資格を保持していなかった。



### (8) 日本語能力試験 (JLPT) のレベル

問 7 . あなたは、現在(2022年10月1日現在)の日本語能力試験 (JLPT) のどのレベルの試験に合格していますか。

・ N2以上に合格している割合は38.6%【「N1に合格している」(3.8%) + 「N2に合格している」(34.8%)】であった。

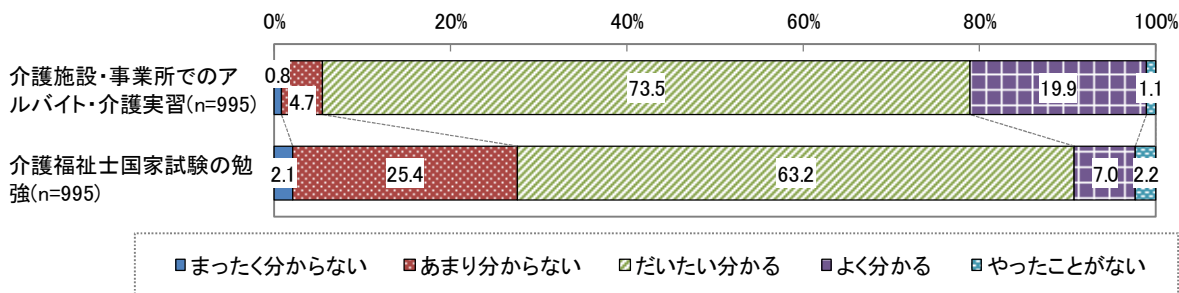
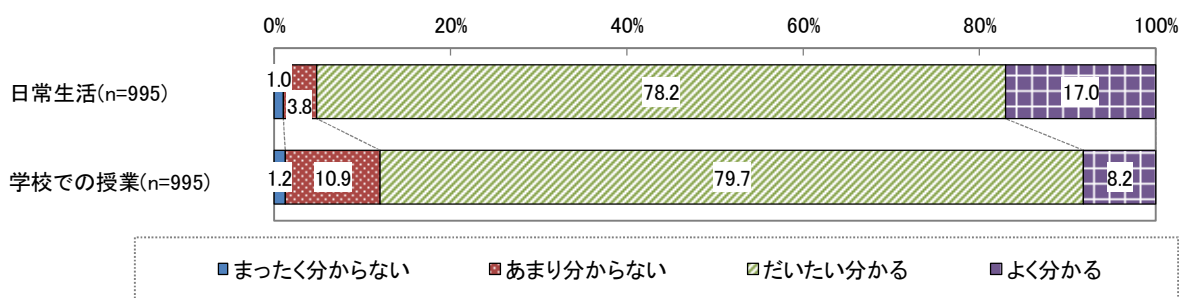


## (9) 日本語の理解度

### ① 状況別日本語の理解度

問 8 あなたは、次の場面で、どのくらい日本語が分かりますか。

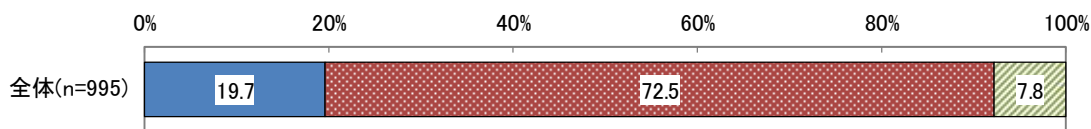
- ・ <日常生活>では、『分かる(計)』(95.2%)【「だいたい分かる」(78.2%)+「よく分かる」(17.0%)を合算】となっている。一方、『分からない(計)』(4.8%)【「まったく分からない」(1.0%)+「あまり分からない」(3.8%)を合算】となっている。
- ・ <学校の授業>では、『分かる(計)』(87.9%)【「だいたい分かる」(79.7%)+「よく分かる」(8.2%)を合算】となっている。一方、『分からない(計)』(12.1%)【「まったく分からない」(1.2%)+「あまり分からない」(10.9%)を合算】となっている。
- ・ <介護施設・事業所でのアルバイト・介護実習>では、『分かる(計)』(93.4%)【「だいたい分かる」(73.5%)+「よく分かる」(19.9%)を合算】となっている。一方、『分からない(計)』(5.5%)【「まったく分からない」(0.8%)+「あまり分からない」(4.7%)を合算】となっている。
- ・ <介護福祉士国家試験の勉強>では、『分かる(計)』(70.2%)【「だいたい分かる」(63.2%)+「よく分かる」(7.0%)を合算】となっている。一方、『分からない(計)』(27.5%)【「まったく分からない」(2.1%)+「あまり分からない」(25.4%)を合算】となっている。



## ② 介護分野の日本語の理解度

問 8 あなたは、次の場面で、どのくらい日本語が分かりますか。

・ <介護施設・事業所でのアルバイト・介護実習>および<介護福祉士国家試験の勉強>の回答で、「よく分かる」：3点、「だいたい分かる」：2点、「あまり分からない」：1点、「全く分からない」・「やったことがない」：0点として点数を算出したところ、平均値 3.8 点、中央値 4 点となった。当該点数を 5～6 点：高、3～4 点：中 0～2 点：低と分類すると、それぞれ 19.7%、72.5%、7.8%となった。



■ 高                      ■ 中                      □ 低

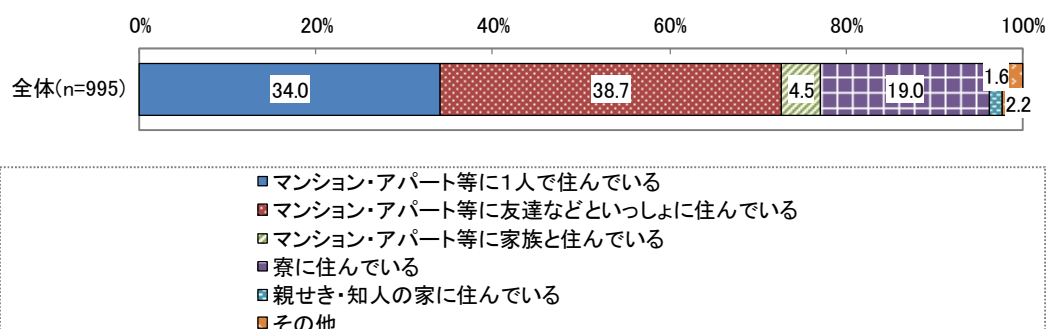
・ 留学生の属性別に介護分野の日本語の理解度を見たところ、学歴が高い留学生、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生、日本語能力が高い留学生、介護施設等でのアルバイト経験がある留学生、介護や国試合格等の意欲が高い留学生、勉強時間が長い留学生、授業の理解度が高い留学生は、介護分野での日本語の理解度が高い傾向にあった。

	n数	高	中	低
全体	995	19.7	72.5	7.8
学歴				
大学・大学院以上	225	24.9	67.1	8.0
大学の経験なし	770	18.2	74.0	7.8
介護や看護の資格の保持状況				
資格を持っており実務経験有り	106	25.5	69.8	4.7
資格を持っているが実務経験無し	63	20.6	68.3	11.1
資格なし	826	18.9	73.1	8.0
日本語能力				
N2以上	384	27.1	68.8	4.2
N2未満	611	15.1	74.8	10.1
アルバイト経験				
介護施設・事業所でのアルバイト経験有り	747	20.1	74.3	5.6
介護施設・事業所でのアルバイト経験無し	248	18.5	66.9	14.5
キャリアコミットメント(情緒的要素)				
高	555	24.0	70.6	5.4
中	326	14.7	76.1	9.2
低	113	13.3	70.8	15.9
国試への合格意欲				
必ず合格したい	710	23.8	70.7	5.5
上記以外	285	9.5	76.8	13.7
勉強時間				
日平均2 時間以上	364	21.2	72.5	6.3
日平均1 時間以上2 時間未満	402	19.2	74.9	6.0
日平均1 時間未満	206	18.4	68.0	13.6
授業の理解度				
よく分かる	259	35.5	61.8	2.7
上位以外	661	13.5	76.6	10.0

## (10) 居住者

問 9 . あなたは、今どのようなところに誰と住んでいますか。

・ 「マンション・アパート等に友達などといっしょに住んでいる」が 38.7%と最も高く、「マンション・アパート等に1人で住んでいる」が 34.0%、「寮に住んでいる」が 19.0%となっている。



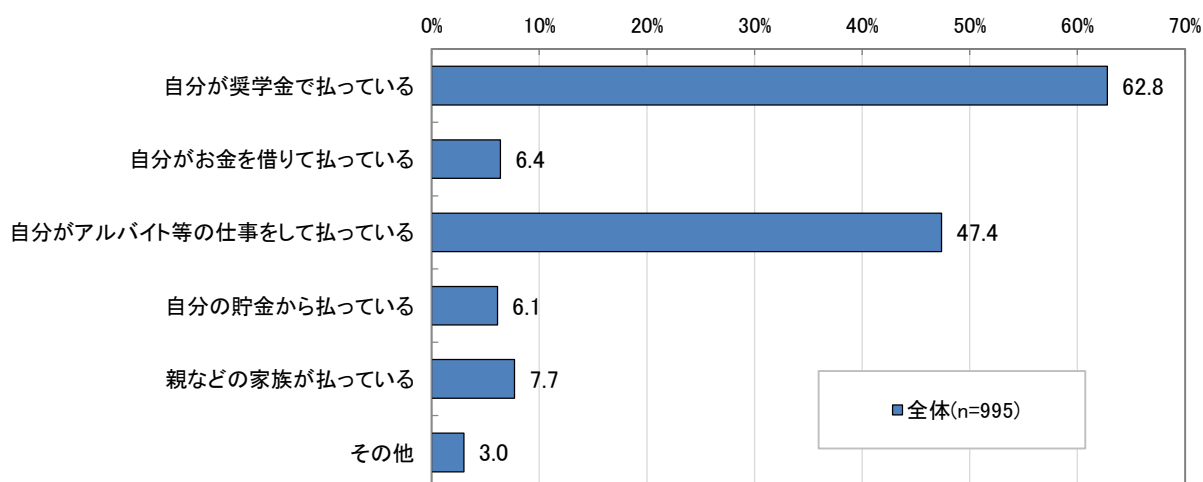
その他：

- ・シェアハウス 等

## (11) 学校の授業料や生活費の支払い方法

問 10. あなたは、学校の授業料や生活費をどうやって払っていますか。(複数選択)

・ 「自分が奨学金で払っている」が 62.8%と最も高く、「自分がアルバイト等の仕事をして払っている」が 47.4%となっている。



その他：

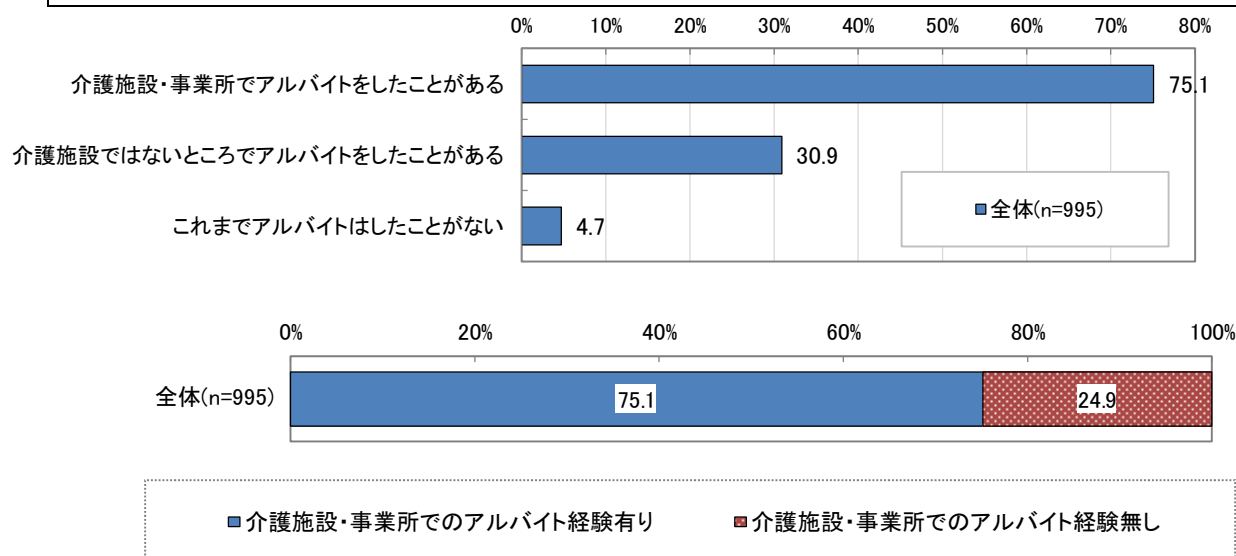
- ・学費は奨学金で払ってもらう
- ・生活費は自分のアルバイトから払っている
- ・これから勤める会社から奨学金をもらい、生活費はアルバイトをしている
- ・市からもらった金で学費を払ってバイトの金は生活費 等

## (12) アルバイトの経験

### ① アルバイト経験

問 11. あなたのこれまでのアルバイト経験について教えてください。(複数選択)

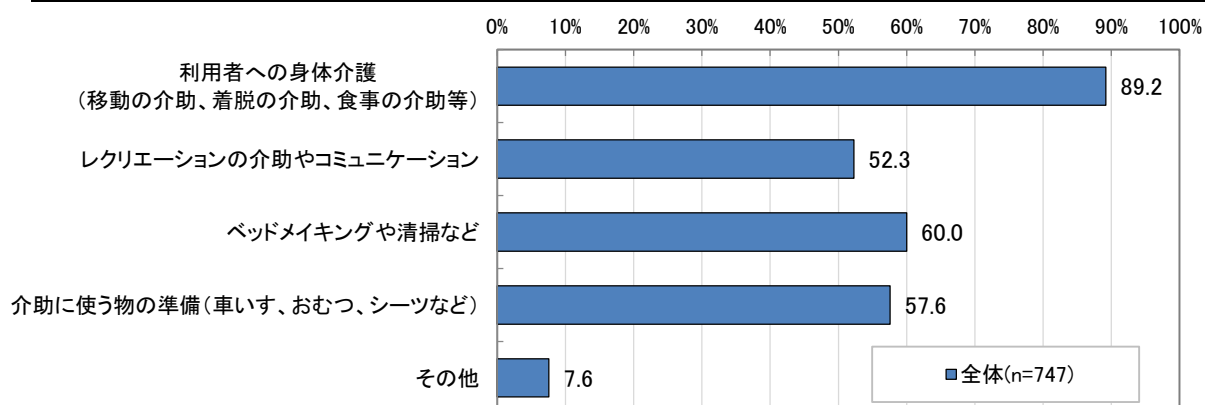
- 「介護施設・事業所でアルバイトをしたことがある」が75.1%と最も高く、「介護施設ではないところでアルバイトをしたことがある」が30.9%となっている。一方、「これまでアルバイトはしたことがない」が4.7%となっている。また、介護施設でのアルバイト経験の有無については、75.1%が有となっている。



### ② 介護施設のアルバイトにおける仕事経験

問 11-1. 【問 11 で「1 . 介護施設・事業所でアルバイトをしたことがある」を選択した方】あなたは、介護施設で、どのような仕事をしていましたか。(複数選択)

- 「利用者への身体介護（移動の介助、着脱の介助、食事の介助等）」が89.2%と最も高く、「ベッドメイキングや清掃など」が60.0%、「介助に使う物の準備（車いす、おむつ、シーツなど）」が57.6%、「レクリエーションの介助やコミュニケーション」が52.3%となっている。



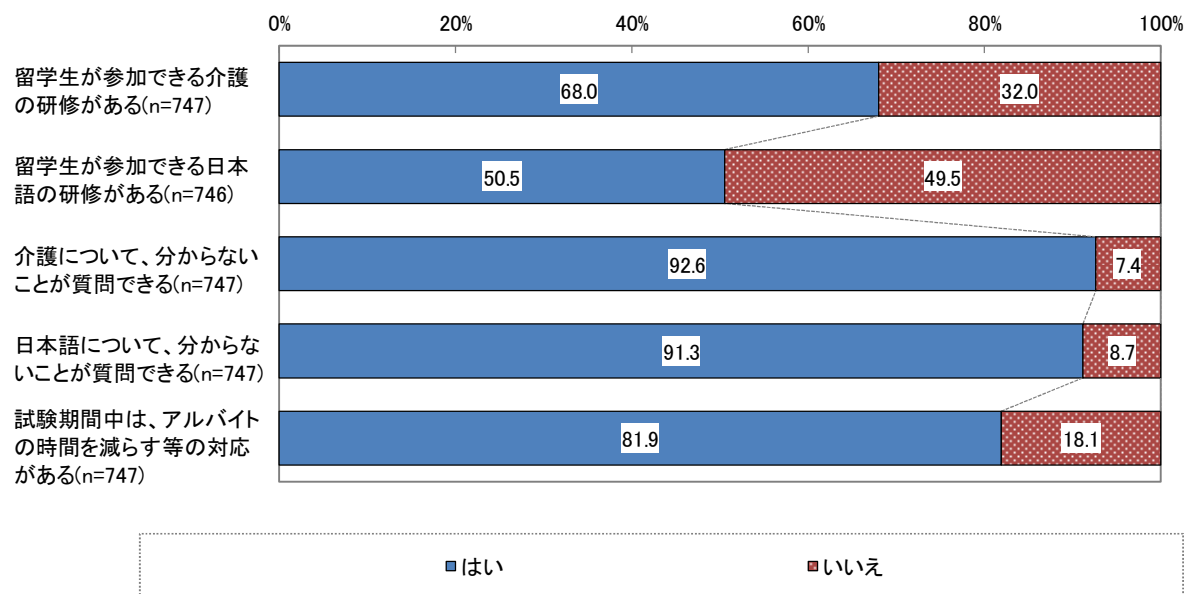
その他：

- ・入浴介助、口腔ケア、体操、食事準備
- ・全部やる、職員のレベルによる 等

### ③ アルバイト先の介護施設の環境

問 11-2 【問 11 で 1 を選択した方】あなたがアルバイトをしている介護施設の環境について、教えてください。

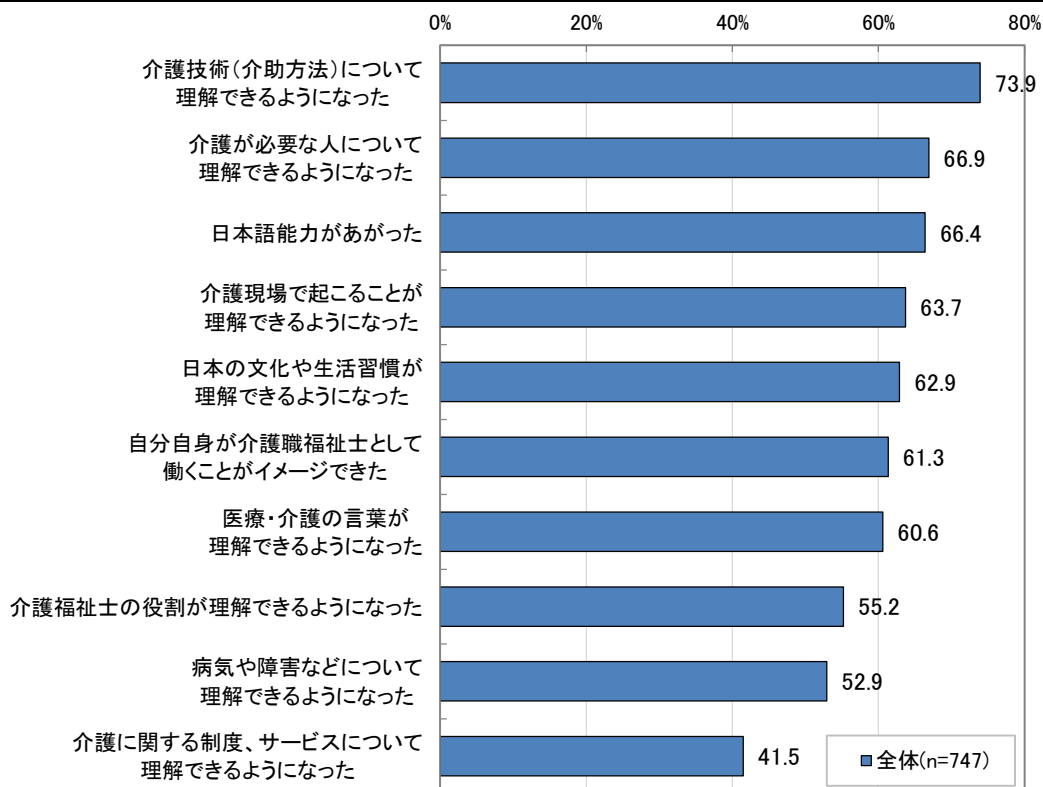
・ <介護について、分からないことが質問できる>では「はい」が92.6%、<日本語について、分からないことが質問できる>では91.3%となっている。また<試験期間中は、アルバイトの時間を減らす等の対応がある>は81.9%となっている。



#### ④ 介護施設のアルバイトによるメリット

問 11-3. 【問 11 で「1 . 介護施設・事業所でアルバイトをしたことがある」を選択した方】あなたが介護施設でアルバイトをして、どのような良いことがありましたか。(複数選択)

・ 「介護技術(介助方法)について理解できるようになった」が73.9%と最も高く、「介護が必要な人について理解できるようになった」が66.9%、「日本語能力があがった」が66.4%、「介護現場で起こることが理解できるようになった」が63.7%、「日本の文化や生活習慣が理解できるようになった」が62.9%、「自分自身が介護職福祉士として働くことがイメージできた」が61.3%、「医療・介護の言葉が理解できるようになった」が60.6%となっている。

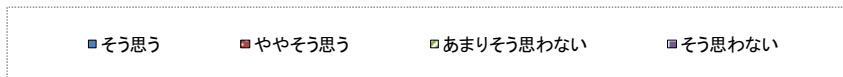
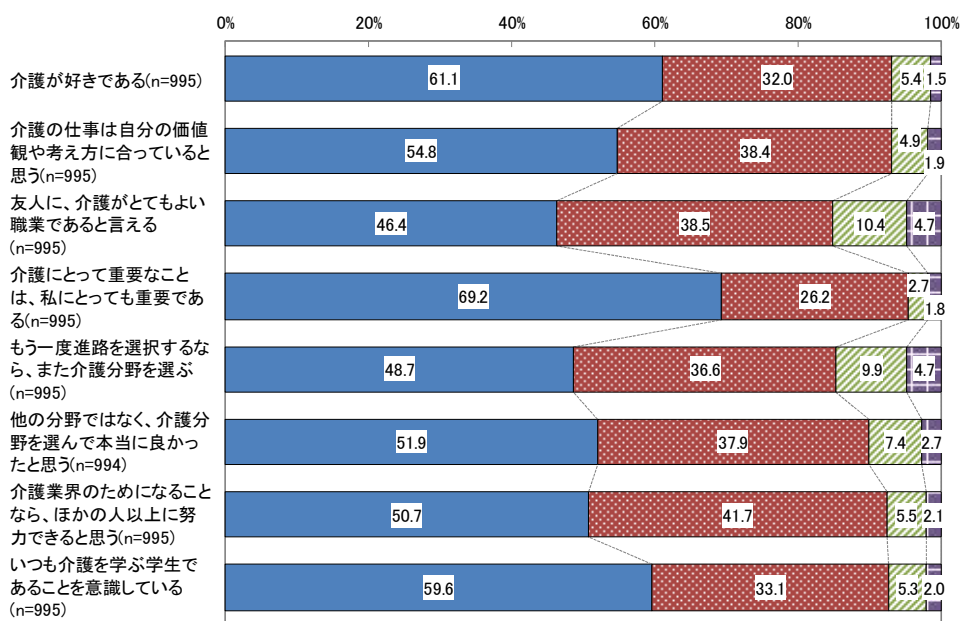
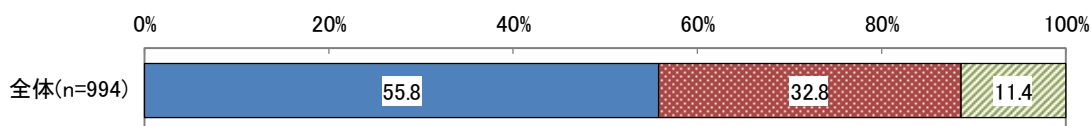




### (13) キャリアコミットメント

問 12 あなたが、介護について考えていることを教えてください。

- 「キャリアコミットメント」とは、Blau<sup>1</sup>によって、「専門分野に対する個人の態度のこと」と定義され、仕事そのものに対して魅力を感じているかについて尺度化されたものである。井上<sup>2</sup>によると、認知症グループホームに勤務する介護職員の職場継続意志の強さに、キャリアコミットメントが有意な関連があると示されており、留学生においても、本概念が介護を継続して学ぶ上でのモチベーションに影響することが想定されたため、本設問を設けた。選択肢は、山口ら<sup>3</sup>が看護学生向けに活用した項目のうち、情緒的要素に関する項目について、「看護」を「介護」に文言修正、および留学生向けに平易な文章にして使用した。
- 「そう思う」：3点、「ややそう思う」：2点、「あまりそう思わない」：1点、「そう思わない」：0点として点数を算出したところ、平均値 19.5 点、中央値 20 点となった。当該点数を 20 点以上：高、15～19 点：中、0～14 点：低と分類すると、それぞれ 19.7%、72.5%、7.8%となった。



1 Blau GJ.(1985), "The measurement and prediction of career commitment.", *Journal Of Occupational Psychology*, 58(4), pp.277-288  
 2 井上由美・西田真寿美(2016),「認知症グループホーム介護職員の職場継続意志とコミットメントとの関連」,『日本認知症ケア学会誌』15(3), pp.613-623  
 3 山口さつき・山田直行・吉澤裕子(2022),「看護学生の看護師イメージとキャリアコミットメント—1年時から2年時への変化」,『旭川大学保健福祉学部紀要』Vol.14, pp.11-19

- 留学生の属性別にキャリアコミットメントの多寡を見たところ、介護分野の日本語能力・国試への合格意欲・授業の理解度が高い留学生・勉強時間が多い留学生・授業の理解度が高い留学生は、キャリアコミットメントが高い傾向にあった。

		n数	高	中	低
全体		994	55.8	32.8	11.4
介護分野の日本語の理解度	高	196	67.9	24.5	7.7
	中	720	54.4	34.4	11.1
	低	78	38.5	38.5	23.1
国試への合格意欲	必ず合格したい	710	62.1	29.4	8.5
	上記以外	284	40.1	41.2	18.7
勉強時間	日平均2 時間以上	364	65.7	26.6	7.7
	日平均1 時間以上2 時間未満	402	54.2	35.6	10.2
	日平均1 時間未満	206	41.7	37.9	20.4
授業の理解度	よく分かる	259	72.6	21.6	5.8
	上位以外	661	48.3	37.7	14.1

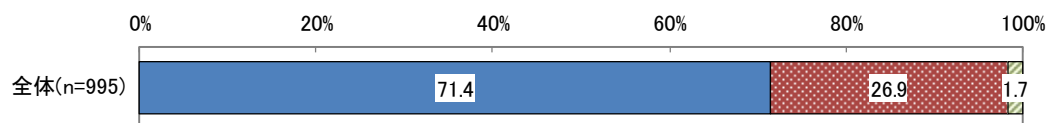
- なお、本キャリアコミットメントの数値を、山口（2022）エラー! ブックマークが定義されていません。の研究により行われた看護学生のキャリアコミットメントの数値と比較したところ、看護学生の数値と比べ、留学生の数値がやや高い傾向が見られた。しかしながら、看護学生の調査のローデータについては入手不可であり、数値間の母平均の差の検定は行っていないため、留意が必要である。

項目	本調査 (介護分野・留学生)	山口による看護調査 (看護系大学: 1年時)	山口による看護調査 (看護系大学: 2年時)
1. 設問文	情緒的要素計8項目 ① 介護が好きである ② 介護の仕事は自分の価値観や考え方に合っていると思う ③ 友人に、介護がとてよい職業であると言える ④ 介護にとって重要なことは、私にとっても重要である ⑤ もう一度進路を選択するならば、また介護分野を選ぶ ⑥ 他の分野ではなく、介護分野を選んで本当に良かったと思う ⑦ 介護業界のためになることなら、ほかの人以上に努力できると思う ⑧ いつも介護を学ぶ学生であることを意識している	情緒的要素計8項目 1) 看護が好きである。 2) 看護の仕事は私の価値観や考え方に合っていると思う。 3) 友人に、看護が素晴らしい職業であると言える。 4) 看護にとって重要なことは、私にとっても重要である。 5) もう一度進路を選択するならば、また看護領域を選ぶ。 6) 他の領域ではなく、看護領域を選んで本当に良かったと思う。 7) 看護の発展のためなら、人並み以上の努力を喜んで払うつもりだ。 8) いつも看護学生であることを意識している。	
2. リッカート尺度/数値算出法	4件法 ・そう思う: 3点 ・ややそう思う: 2点 ・あまりそう思わない: 1点 ・そう思わない: 0点	5件法 ・そう思う: 5点 ・ややそう思う: 4点 ・どちらともいえない: 3点 ・あまりそう思わない: 2点 ・そう思わない: 1点	
3. 理論最大値	24点 (最大3点 × 8項目)	40点 (最大5点 × 8項目)	40点 (最大5点 × 8項目)
4. 調査対象数(n数)	994	13	13
5. 調査結果(平均値)	19.5	30.7	29.0
6. 標準点数(5. ÷ 3. × 100)	81.25	76.75	72.5

## (14)介護福祉士国家試験の合格意向

問 13. あなたは、介護福祉士国家試験に合格したいですか。

・ 「必ず合格したい」が71.4%、「できれば合格したい」が26.9%、「今まで合格したいかどうかを考えたことがない」が1.7%であった。



■必ず合格したい    ■できれば合格したい    □今まで合格したいかどうかを考えたことがない

・ 留学生の属性別に介護福祉士国家試験の合格意向を見たところ、学歴が高い留学生、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生、日本語能力や介護分野の日本語の理解度が高い留学生、介護施設等でのアルバイト経験がある留学生、キャリアコミットメントが高い留学生、勉強時間が長い留学生、授業の理解度が高い留学生は、合格意向が高い傾向にあった。

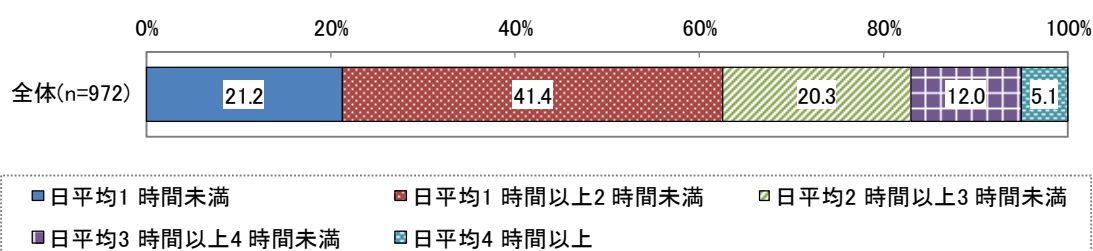
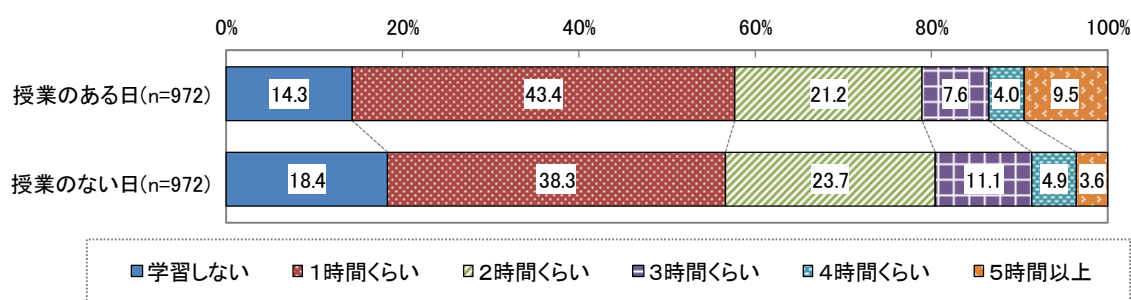
	n数	必ず合格したい	できれば合格したい	今まで合格したいかどうかを考えたことがない
全体	995	71.4	26.9	1.7
学歴				
大学・大学院以上	225	79.1	18.2	2.7
大学の経験なし	770	69.1	29.5	1.4
介護や看護の資格の保持状況				
資格を持っており実務経験有り	106	84.0	14.2	1.9
資格を持っているが実務経験無し	63	61.9	33.3	4.8
資格なし	826	70.5	28.1	1.5
日本語能力				
N2以上	384	83.3	15.6	1.0
N2未満	611	63.8	34.0	2.1
介護分野の日本語の理解度				
高	196	86.2	13.3	0.5
中	721	69.6	28.7	1.7
低	78	50.0	44.9	5.1
アルバイト経験				
介護施設・事業所でのアルバイト経験有り	747	74.6	24.6	0.8
介護施設・事業所でのアルバイト経験無し	248	61.7	33.9	4.4
キャリアコミットメント(情緒的要素)				
高	555	79.5	19.8	0.7
中	326	64.1	34.7	1.2
低	113	53.1	38.9	8.0
勉強時間				
日平均2時間以上	364	74.2	25.0	0.8
日平均1時間以上2時間未満	402	74.1	25.1	0.7
日平均1時間未満	206	61.2	34.0	4.9
授業の理解度				
よく分かる	259	83.8	14.7	1.5
上位以外	661	66.6	31.6	1.8

## 2. 介護の勉強について

### (1) 介護の勉強時間

問 14 あなたは、毎日 “授業・補講以外で” どのくらい介護の勉強(予習や復習、課題等)をしていますか。

- ・ <授業のある日>では、「学習しない」が 14.3%、「1時間くらい」が 43.4%、「2時間くらい」が 21.2%、「3時間くらい」が 7.6%、「4時間くらい」が 4.0%、「5時間以上」が 9.5%であった。
- ・ <授業のない日>では、「学習しない」が 18.4%、「1時間くらい」が 38.3%、「2時間くらい」が 23.7%、「3時間くらい」が 11.1%、「4時間くらい」が 4.9%、「5時間以上」が 3.6%であった。
- ・ <授業のある日>、<授業のない日>の数値を「5時間以上」：5時間、「4時間くらい」：4時間、「3時間くらい」：3時間、「2時間くらい」：2時間、「1時間くらい」：1時間、「学習しない」：0時間、とし、<授業のある日>×5+<授業のない日>×2÷7として1日当たりの勉強時間を算出したところ、平均値 1.7時間、中央値 1.3時間となった。当該時間を「日平均1時間未満」、「日平均1時間以上2時間未満」、「日平均2時間以上3時間未満」、「日平均3時間以上4時間未満」、「日平均4時間以上」と分類すると、「日平均1時間以上2時間未満」が最も高く、41.4%となっている。



- ・ 介護の勉強時間の多寡を「日平均1時間未満」、「日平均1時間以上2時間未満」、「日平均2時間以上」の3分類で留学生の属性別に確認したところ、介護分野の日本語の理解度が高い留学生、キャリアコミットメントが高い留学生、国試の合格意欲が高い留学生、授業の理解度が高い留学生は、介護の勉強時間が長い高い傾向にあった。

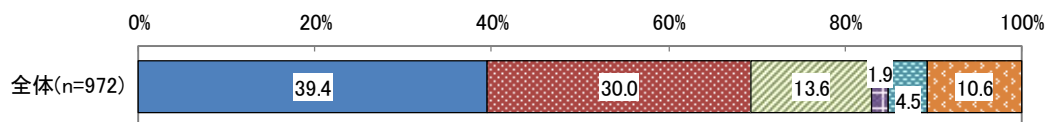
		n数	日平均2 時間以上	日平均1 時間以上 2時間未 満	日平均1 時間未満
全体		972	37.4	41.4	21.2
介護分野の日本語 の理解度	高	192	40.1	40.1	19.8
	中	705	37.4	42.7	19.9
	低	75	30.7	32.0	37.3
キャリアコミットメント (情緒的要素)	高	543	44.0	40.1	15.8
	中	318	30.5	45.0	24.5
	低	111	25.2	36.9	37.8
国試への合格意欲	必ず合格したい	694	38.9	42.9	18.2
	上記以外	278	33.8	37.4	28.8
授業の理解度	よく分かる	259	47.1	37.8	15.1
	上位以外	661	33.7	42.4	23.9

## (2) 授業以外の補講の参加

### ① 補講の参加状況

問 15. あなたは、あなたが参加しなければならない学校の介護の補講に参加していますか。

・ 『参加している(計)』(83.0%)【「全部参加している」(39.4%)+「だいたい参加している」(30.0%)+「時々参加している」(13.6%)を合算】となっている。また「自分の学校には、補講がない」が10.6%となっている。



- 全部参加している
- だいたい参加している
- 時々参加している
- 参加は求められているが、ほとんど参加していない
- 補講の対象となっていないため、参加していない
- 自分の学校には、補講がない

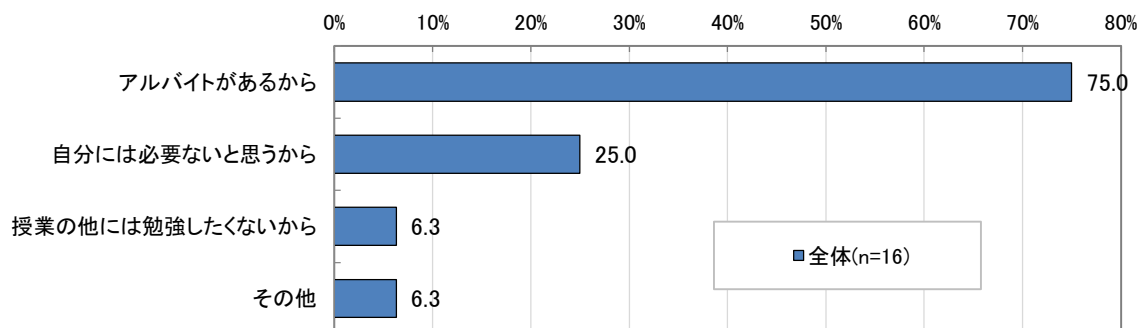
・ 留学生の属性別に補講の参加状況を見たところ、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生、日本語能力が高い留学生、介護施設等でのアルバイト経験がある留学生、キャリアコミットメントが高い留学生、国試の合格意欲が高い留学生、勉強時間が長い留学生、授業の理解度が高い留学生は、補講によく参加している傾向にあった。

	n数	全部参加している	だいたい参加している	時々参加している	参加は求められているが、ほとんど参加していない	補講の対象となっていないため、参加していない	自分の学校には、補講がない
全体	972	39.4	30.0	13.6	1.9	4.5	10.6
介護や看護の資格の保持状況	資格を持っており実務経験有り	44.7	33.0	8.7	0.0	5.8	7.8
	資格を持っているが実務経験無し	50.0	24.1	17.2	0.0	1.7	6.9
	資格なし	38.0	30.1	13.9	2.2	4.6	11.2
日本語能力	N2以上	44.8	29.6	12.3	2.7	6.4	4.3
	N2未満	36.0	30.3	14.4	1.3	3.4	14.6
アルバイト経験	介護施設・事業所でのアルバイト経験有り	42.1	26.5	12.9	2.1	5.1	11.4
	介護施設・事業所でのアルバイト経験無し	31.1	40.7	15.8	1.2	2.9	8.3
キャリアコミットメント(情緒的要素)	高	46.6	29.8	10.1	1.1	4.6	7.7
	中	31.8	33.3	17.3	2.8	4.7	10.1
	低	26.1	21.6	19.8	2.7	3.6	26.1
国試への合格意欲	必ず合格したい	44.1	28.5	12.1	1.4	4.9	8.9
	上記以外	27.7	33.8	17.3	2.9	3.6	14.7
勉強時間	日平均2時間以上	44.5	31.3	13.2	1.1	1.9	8.0
	日平均1時間以上2時間未満	37.3	31.8	14.2	2.7	6.0	8.0
	日平均1時間未満	34.5	24.3	13.1	1.5	6.3	20.4
授業の理解度	よく分かる	49.4	32.4	8.5	1.2	3.1	5.4
	上位以外	35.7	29.3	15.3	2.0	5.1	12.6

## ② 補講に参加しない理由

問 15-1. 【問 15 で「4 . 参加は求められているが、ほとんど参加していない」を選択した方】参加がしなければならないにもかかわらず、補講に参加しない理由は何ですか。(複数選択)

・ 「アルバイトがあるから」が 75.0%と最も高く、「自分には必要ないと思うから」が 25.0%、「授業の他には勉強したくないから」が 6.3%となっている。



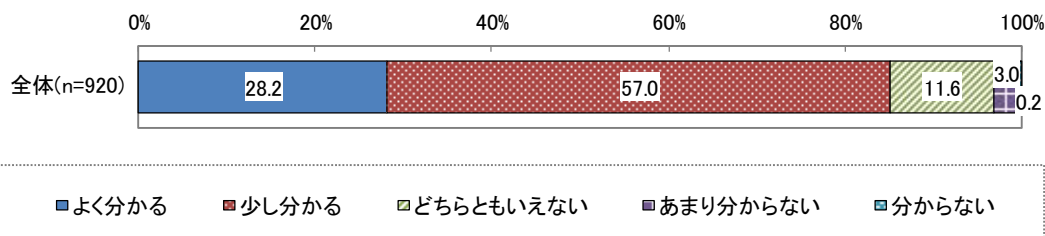
その他：

- ・ 時間がない 等

### (3) 学校の授業の理解度

問 16. あなたは、学校の授業の内容について、どのくらい分かりますか。

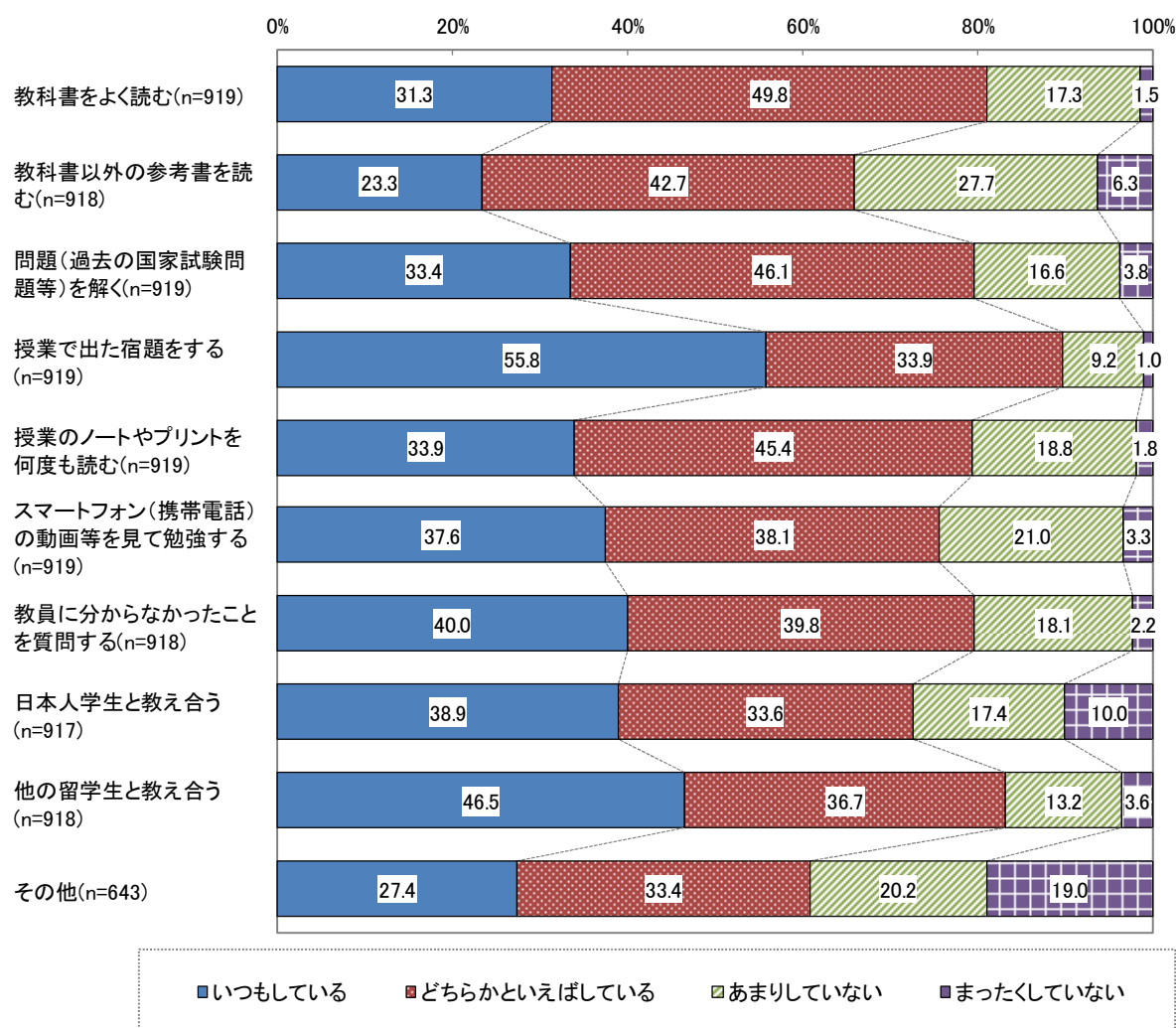
・ 『分かる(計)』(85.2%)【「よく分かる」(28.2%)+「少し分かる」(57.0%)を合算】となっている。一方、『分からない(計)』(3.2%)【「あまり分からない」(3.0%)+「分からない」(0.2%)を合算】となっている。



### (4) 学校の授業を理解するために行っていること

問 17 授業が分かるようになるために、あなたが行っていることは何ですか。

・ <授業で出た宿題をする>では、「いつもしている」が55.8%と他に比べて最も高くなっている。また<他の留学生と合う>では46.5%となっている。一方、<教科書以外の参考書を読む>は23.3%と他に比べて低くなっている。





・ 授業を理解するために行っていることについて、いつもしている：3点、どちらかといえばしている：2点、あまりしていない：1点、まったくしていない：0点として各項目の点数を算出し、留学生の属性別に傾向を確認したところ、「学歴」、「資格の保持状況」、「アルバイト経験」においては違いが見られなかったが、「日本語能力」、「介護分野の日本語の理解度」、「キャリアコミットメント（情緒的要素）」、「国試への合格意欲」、「授業の理解度」については、ほとんどの項目において、能力・意欲・理解度等が高い留学生の方が、低い留学生に比べて取り組んでいる傾向がうかがえた。

		①教科書をよく読む	②教科書以外の参考書を読む	③問題（過去の国家試験問題等）を解く	④授業で出た宿題をする	⑤授業のノートやプリントを何度も読む	⑥スマートフォン（携帯電話）の動画等を見て勉強する	⑦教員に分からなかったことを質問する	⑧日本人学生と教え合う	⑨他の留学生と教え合う	⑩その他	「その他」を除く全設問の平均値
全体		2.11	1.83	2.09	2.45	2.11	2.10	2.18	2.01	2.26	1.69	2.13
学歴	大学・大学院以上	2.02	1.91	2.17	2.45	2.13	2.17	2.20	1.95	2.13	1.61	2.12
	大学の経験なし	2.14	1.81	2.07	2.44	2.11	2.08	2.17	2.03	2.30	1.71	2.13
介護や看護の資格の保持状況	資格を持っており実務経験有り	2.10	1.91	2.15	2.56	2.28	2.29	2.25	2.15	2.33	1.69	2.23
	資格を持っているが実務経験無し	2.06	1.93	2.06	2.41	2.13	2.11	2.00	2.09	2.20	1.41	2.11
	資格なし	2.11	1.81	2.09	2.43	2.09	2.08	2.18	1.99	2.26	1.71	2.11
日本語能力	N2以上	2.14	1.86	2.19	2.54	2.06	2.06	2.21	2.09	2.28	1.71	2.16
	N2未満	2.09	1.81	2.03	2.38	2.15	2.13	2.15	1.96	2.25	1.68	2.10
介護分野の日本語の理解度	高	2.20	2.01	2.33	2.65	2.23	2.14	2.37	2.23	2.39	1.85	2.28
	中	2.12	1.82	2.09	2.43	2.10	2.11	2.16	1.97	2.25	1.68	2.12
	低	1.84	1.45	1.56	2.11	1.93	1.89	1.86	1.88	2.08	1.49	1.84
アルバイト経験	介護施設・事業所でのアルバイト経験有り	2.09	1.84	2.11	2.46	2.12	2.11	2.17	1.99	2.26	1.65	2.13
	介護施設・事業所でのアルバイト経験無し	2.16	1.79	2.05	2.41	2.11	2.08	2.18	2.09	2.27	1.82	2.13
キャリアコミットメント（情緒的要素）	高	2.27	2.03	2.24	2.59	2.31	2.22	2.35	2.18	2.41	1.85	2.29
	中	2.00	1.64	2.01	2.35	1.97	2.06	2.05	1.94	2.23	1.55	2.03
	低	1.66	1.42	1.62	2.04	1.59	1.65	1.69	1.45	1.67	1.27	1.64
国試への合格意欲	必ず合格したい	2.19	1.90	2.21	2.55	2.17	2.14	2.25	2.09	2.32	1.73	2.20
	上記以外	1.91	1.66	1.79	2.19	1.97	2.02	1.98	1.83	2.11	1.61	1.94
勉強時間	日平均2時間以上	2.29	2.03	2.26	2.56	2.28	2.24	2.28	2.13	2.27	1.82	2.26
	日平均1時間以上2時間未満	2.12	1.85	2.15	2.44	2.17	2.13	2.21	2.05	2.30	1.73	2.16
	日平均1時間未満	1.77	1.42	1.68	2.25	1.72	1.79	1.92	1.74	2.16	1.38	1.83
授業の理解度	よく分かる	2.41	2.12	2.45	2.70	2.39	2.29	2.48	2.22	2.42	1.90	2.39
	上位以外	1.99	1.72	1.95	2.35	2.01	2.03	2.06	1.93	2.20	1.60	2.02

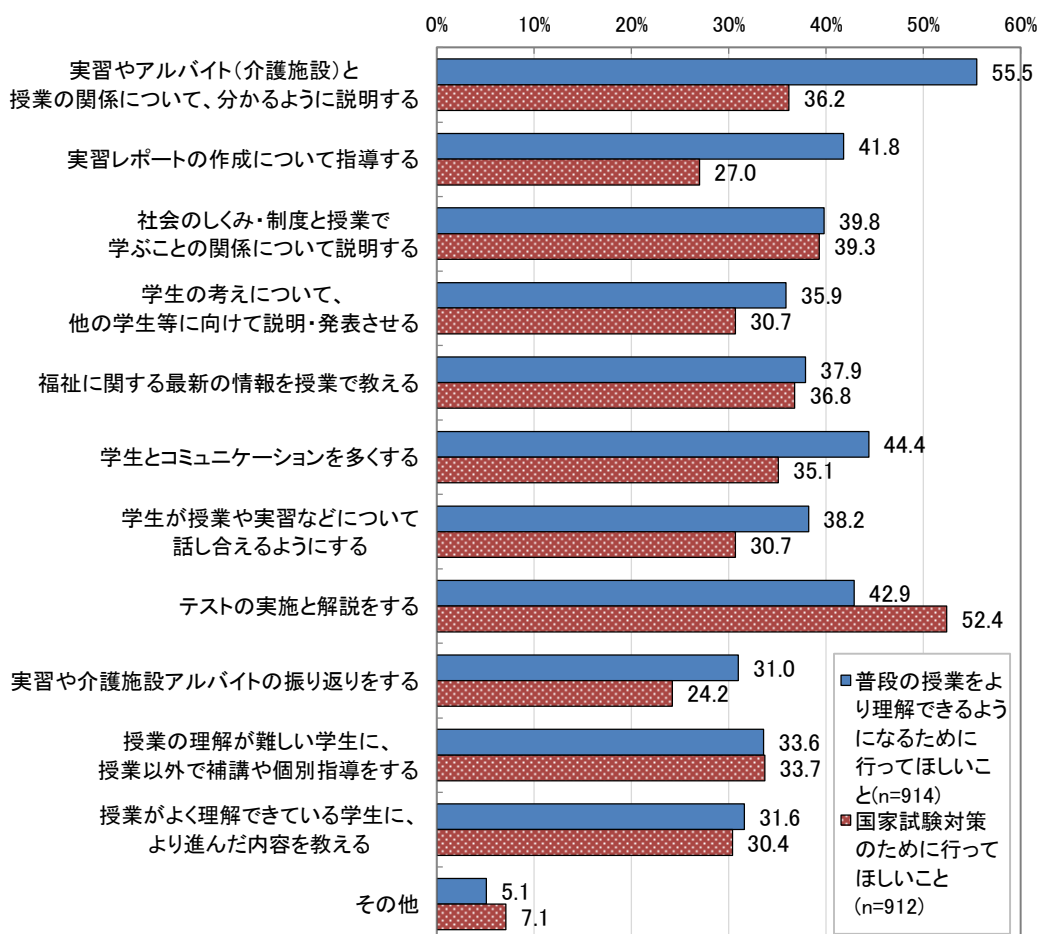
※設問・選択肢によってn数が異なるため、n数の表示はしていません

## (5) 教員に授業で行ってほしいこと

問 18 あなたが、先生方に授業で行ってほしいことについて、「普段の授業をより理解できるようになるために行ってほしいこと」「国家試験のために行ってほしいこと」それぞれの目的別に教えてください。

(複数選択)

- ・ 普段の授業をより理解できるようになるために行ってほしいことでは、「実習やアルバイト（介護施設）と授業の関係について、分かるように説明する」が55.5%と最も高く、「学生とコミュニケーションを多くする」が44.4%、「テストの実施と解説をする」が42.9%、「実習レポートの作成について指導する」が41.8%となっている。
- ・ 国家試験のために行ってほしいことでは、「テストの実施と解説をする」が52.4%と最も高く、「社会のしくみ・制度と授業で学ぶことの関係について説明する」が39.3%、「福祉に関する最新の情報を授業で教える」が36.8%、「実習やアルバイト（介護施設）と授業の関係について、分かるように説明する」が36.2%となっている。



- 留学生の属性別に先生方に授業で行ってほしいことを見たところ、＜普段の授業をより理解できるようになるために行ってほしいこと＞、＜国家試験対策のために行ってほしいこと＞共に、学歴が高い留学生、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生において、ほとんどの項目で教員に対する要望傾向が高かった。

＜普段の授業をより理解できるようになるために行ってほしいこと＞

	n数	実習やアルバイト(介護施設)と授業の関係について、分かるように説明する	実習レポートの作成について指導する	社会のしくみ・制度と授業で学ぶことの関係について説明する	学生の考えについて、他の学生等に向けて説明・発表させる	福祉に関する最新の情報を授業で教える	学生とコミュニケーションを多くする	学生が授業や実習などについて話し合えるようにする	テストの実施と解説をする	実習や介護施設アルバイトの振り返りをする	授業の理解が難しい学生に、授業以外で補講や個別指導をする	授業がよく理解できている学生に、より進んだ内容を教える	その他
全体	914	55.5	41.8	39.8	35.9	37.9	44.4	38.2	42.9	31.0	33.6	31.6	5.1
学歴													
大学・大学院以上	211	61.6	46.0	44.1	37.0	49.8	40.3	37.9	45.5	37.4	36.5	36.0	4.3
大学の経験なし	703	53.6	40.5	38.5	35.6	34.3	45.7	38.3	42.1	29.0	32.7	30.3	5.4
介護や看護の資格の保持状況													
資格を持っており実務経験有り	99	58.6	49.5	48.5	41.4	45.5	57.6	56.6	48.5	36.4	34.3	44.4	4.0
資格を持っているが実務経験無し	54	59.3	35.2	37.0	29.6	25.9	40.7	27.8	42.6	31.5	27.8	25.9	11.1
資格なし	761	54.8	41.3	38.9	35.6	37.7	43.0	36.5	42.2	30.2	33.9	30.4	4.9

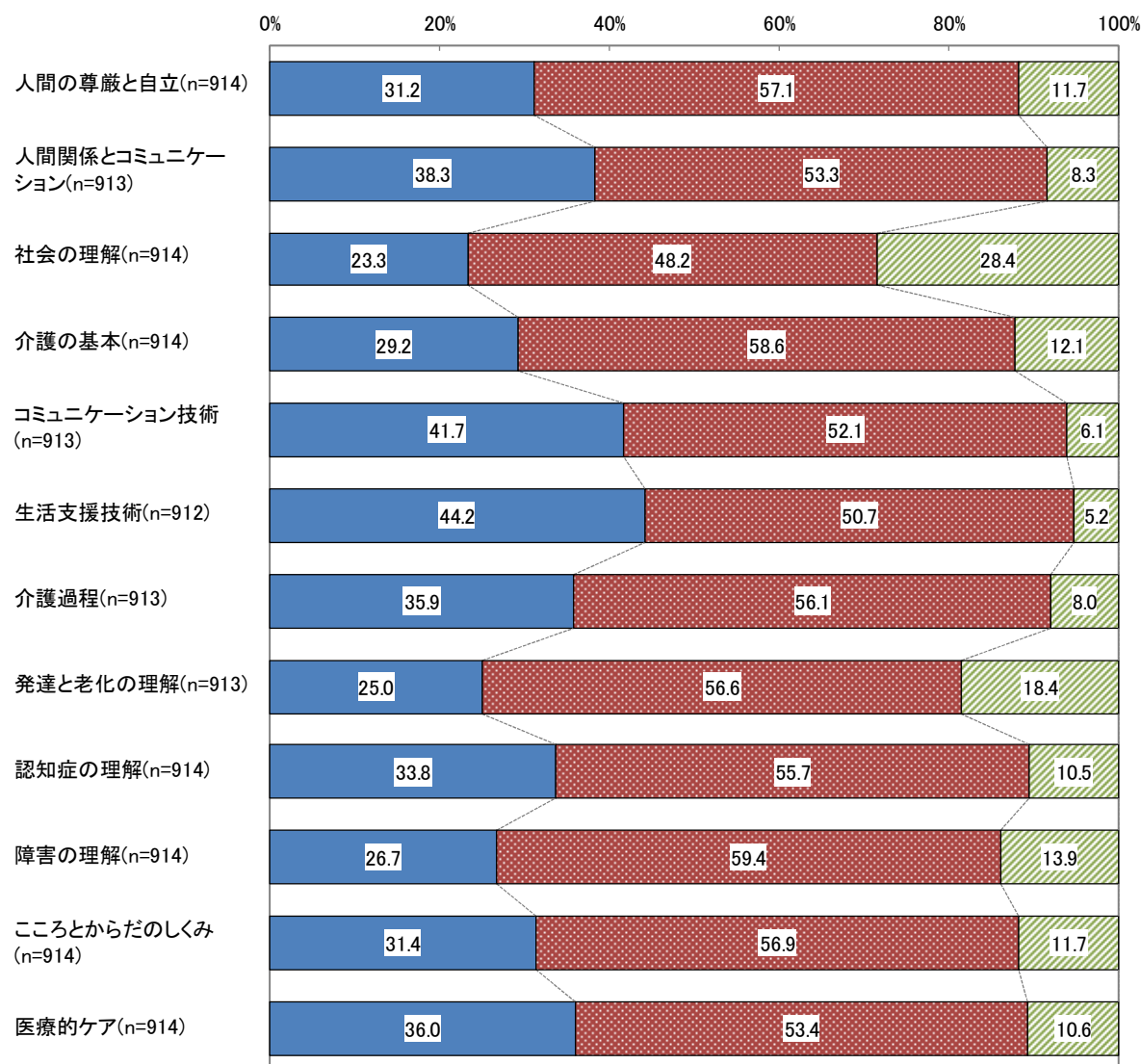
＜国家試験対策のために行ってほしいこと＞

	n数	実習やアルバイト(介護施設)と授業の関係について、分かるように説明する	実習レポートの作成について指導する	社会のしくみ・制度と授業で学ぶことの関係について説明する	学生の考えについて、他の学生等に向けて説明・発表させる	福祉に関する最新の情報を授業で教える	学生とコミュニケーションを多くする	学生が授業や実習などについて話し合えるようにする	テストの実施と解説をする	実習や介護施設アルバイトの振り返りをする	授業の理解が難しい学生に、授業以外で補講や個別指導をする	授業がよく理解できている学生に、より進んだ内容を教える	その他
全体	912	36.2	27.0	39.3	30.7	36.8	35.1	30.7	52.4	24.2	33.7	30.4	7.1
学歴													
大学・大学院以上	211	37.0	28.0	46.4	31.8	39.8	33.2	30.8	48.8	29.4	31.3	31.3	5.2
大学の経験なし	701	35.9	26.7	37.1	30.4	35.9	35.7	30.7	53.5	22.7	34.4	30.1	7.7
介護や看護の資格の保持状況													
資格を持っており実務経験有り	99	49.5	36.4	59.6	42.4	48.5	47.5	50.5	60.6	37.4	38.4	36.4	0.0
資格を持っているが実務経験無し	54	38.9	25.9	44.4	27.8	42.6	31.5	27.8	48.1	24.1	35.2	33.3	5.6
資格なし	759	34.3	25.8	36.2	29.4	34.9	33.7	28.3	51.6	22.5	32.9	29.4	8.2

## (6) 科目別の得意不得意

問 19 あなたは、学校の授業の科目について、どのように感じていますか。

・ <生活支援技術>では「得意」が44.2%、次いで<コミュニケーション技術>では41.7%、<人間関係とコミュニケーション>では38.3%となっている。一方、<社会の理解>では「不得意」が28.4%と他に比べて高くなっている。



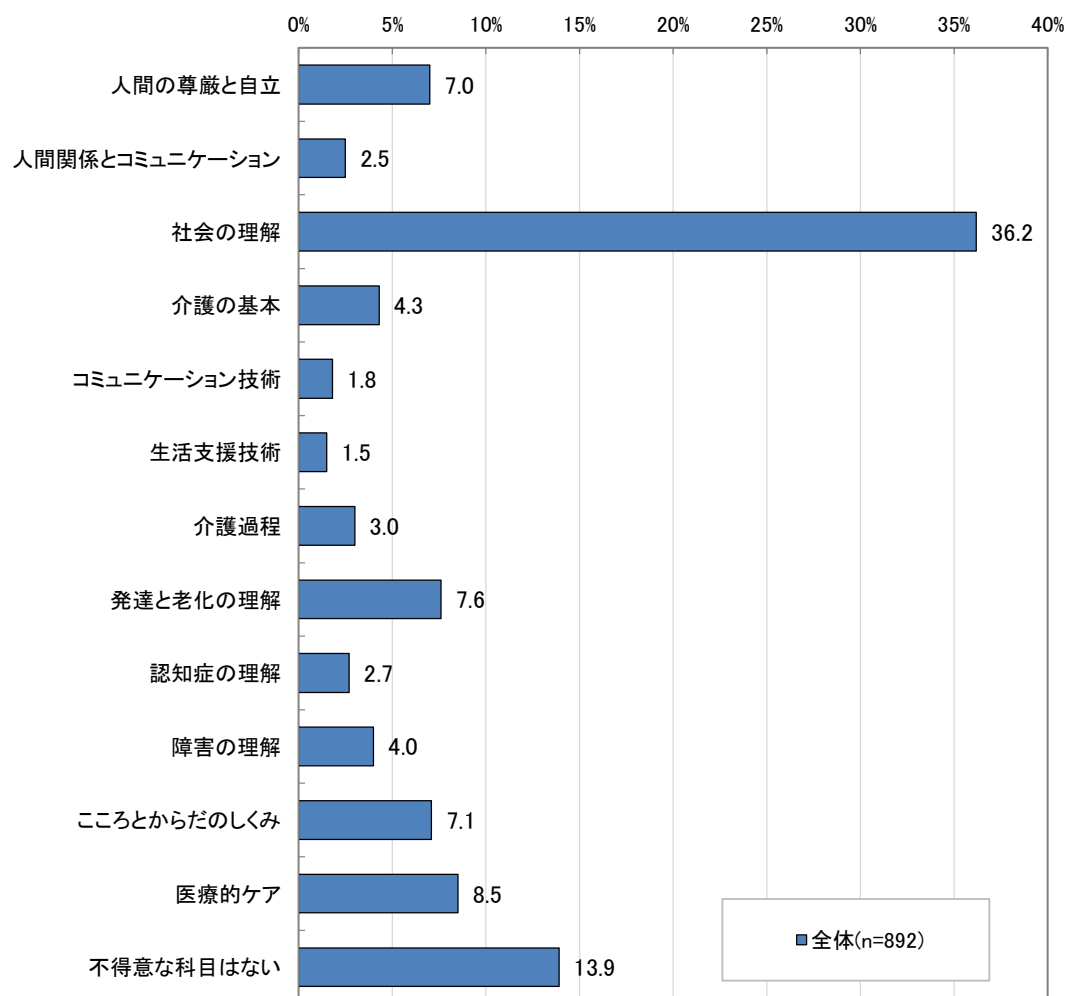
■得意      ■どちらでもない      □不得意

## (7)最も「不得意」な科目

### ① 最も不得意な科目

問 20. あなたが、最も「不得意」な科目は何ですか。

- 全体では、「社会の理解」が36.2%と最も高く、「医療的ケア」が8.5%、「発達と老化の理解」が7.6%、「こころとからだのしくみ」が7.1%となっている。一方、「不得意な科目はない」が13.9%となっている。



- 留学生の属性別に最も不得意な科目を見たところ、学歴が高い留学生、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生、日本語能力や介護分野の日本語の理解度が高い留学生が、「社会の理解」を苦手とする傾向にあった。

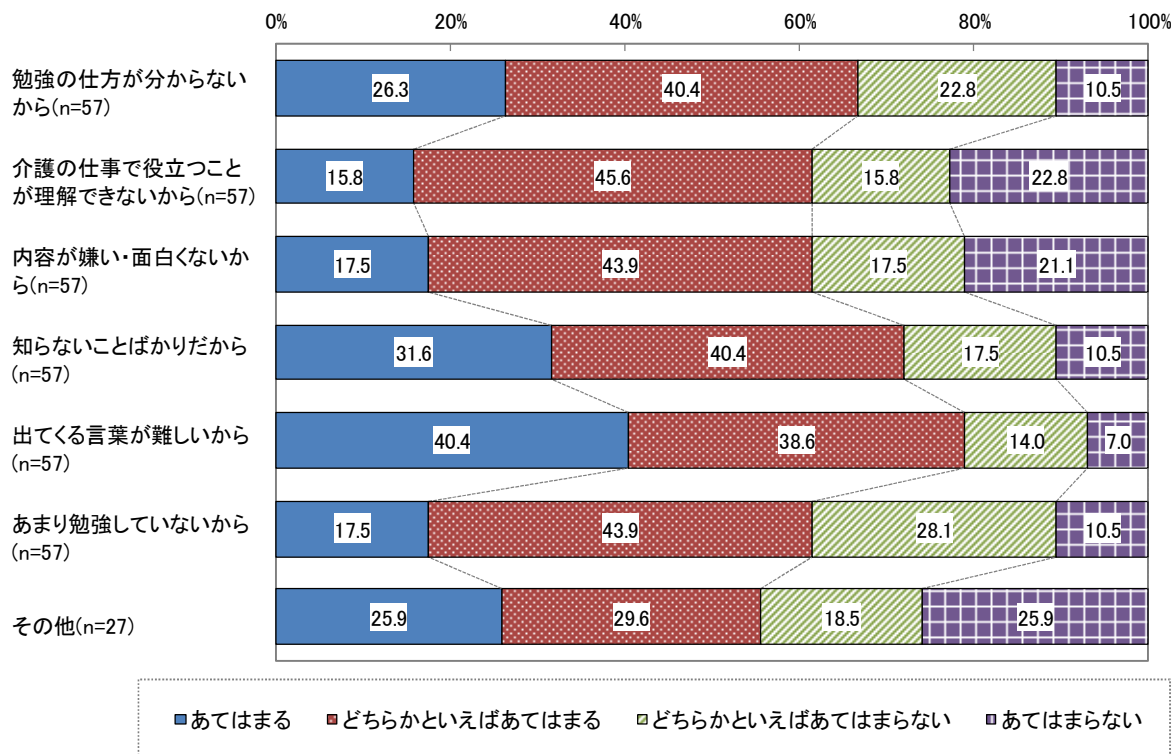
	n数	人間の尊厳と自立	人間関係とコミュニケーション	社会の理解	介護の基本	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	発達と老化の理解	認知症の理解	障害の理解	こころとからだのしくみ	医療的ケア	不得意な科目はない
全体	892	7.0	2.5	36.2	4.3	1.8	1.5	3.0	7.6	2.7	4.0	7.1	8.5	13.9
学歴														
大学・大学院以上	207	6.3	2.4	41.5	4.8	1.4	1.4	3.4	6.3	1.4	4.8	8.2	8.2	9.7
大学の経験なし	685	7.2	2.5	34.6	4.1	1.9	1.5	2.9	8.0	3.1	3.8	6.7	8.6	15.2
介護や看護の資格の保持状況														
資格を持っており実務経験有り	98	14.3	3.1	45.9	3.1	0.0	3.1	3.1	6.1	0.0	6.1	1.0	4.1	10.2
資格を持っていないが実務経験無し	53	7.5	5.7	43.4	5.7	3.8	1.9	1.9	1.9	1.9	3.8	7.5	9.4	5.7
資格なし	741	5.9	2.2	34.4	4.3	1.9	1.2	3.1	8.2	3.1	3.8	7.8	9.0	15.0
日本語能力														
N2以上	346	6.6	0.9	44.8	5.5	0.9	1.4	2.0	9.2	2.3	5.5	4.6	4.6	11.6
N2未満	546	7.1	3.5	30.8	3.5	2.4	1.5	3.7	6.6	2.9	3.1	8.6	11.0	15.4
介護分野の日本語の理解度														
高	175	7.4	0.6	39.4	4.6	2.3	1.1	4.0	2.3	1.1	5.1	6.3	8.6	17.1
中	646	6.7	2.8	36.5	4.3	1.7	1.2	3.1	9.0	2.8	3.6	7.3	8.8	12.2
低	71	8.5	4.2	25.4	2.8	1.4	4.2	0.0	8.5	5.6	5.6	7.0	5.6	21.1

## ② 最も不得意な科目である理由

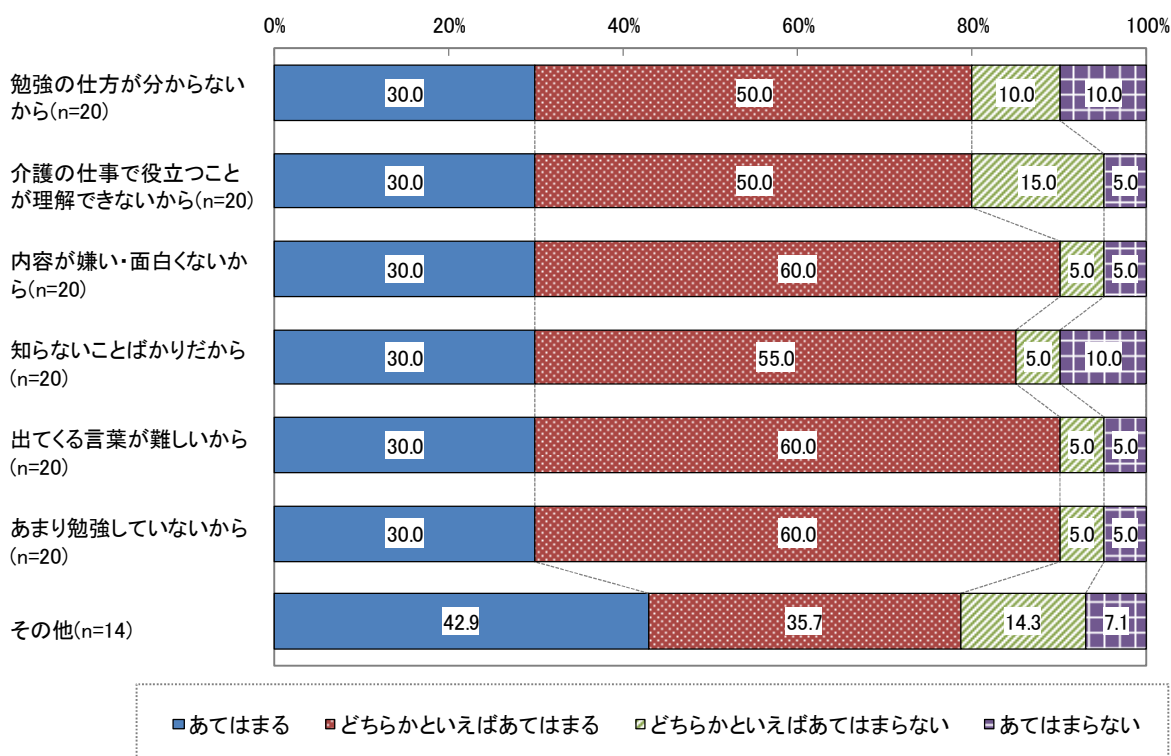
問 20-1. なぜその科目を最も不得意と感じているのですか。

以下、不得意と感じる理由についての科目別の項目別分類図を掲載する。

### 1. 人間の尊厳と自立

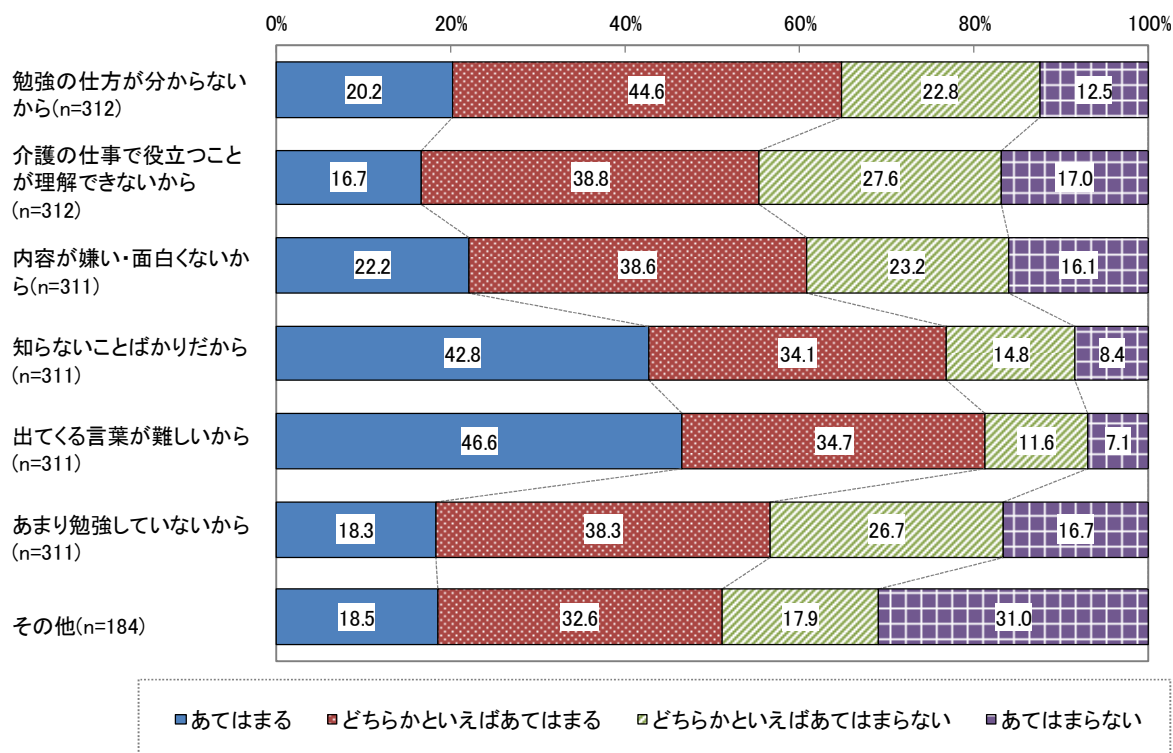


### 2. 人間関係とコミュニケーション

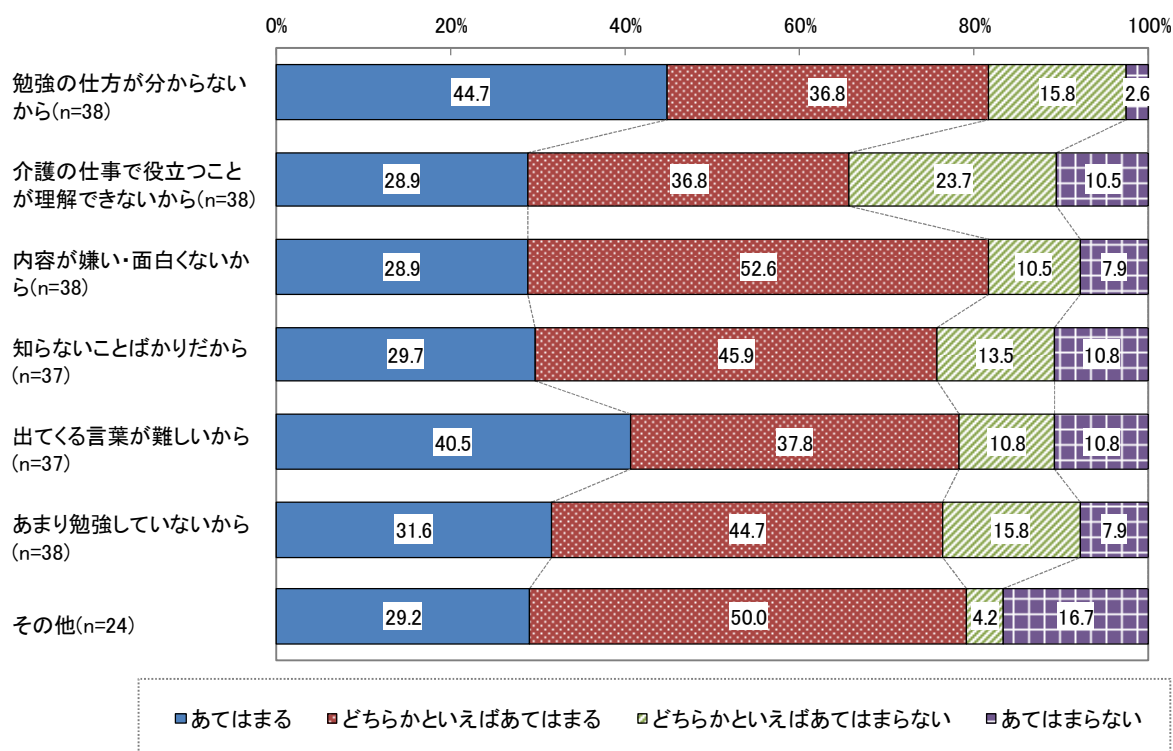




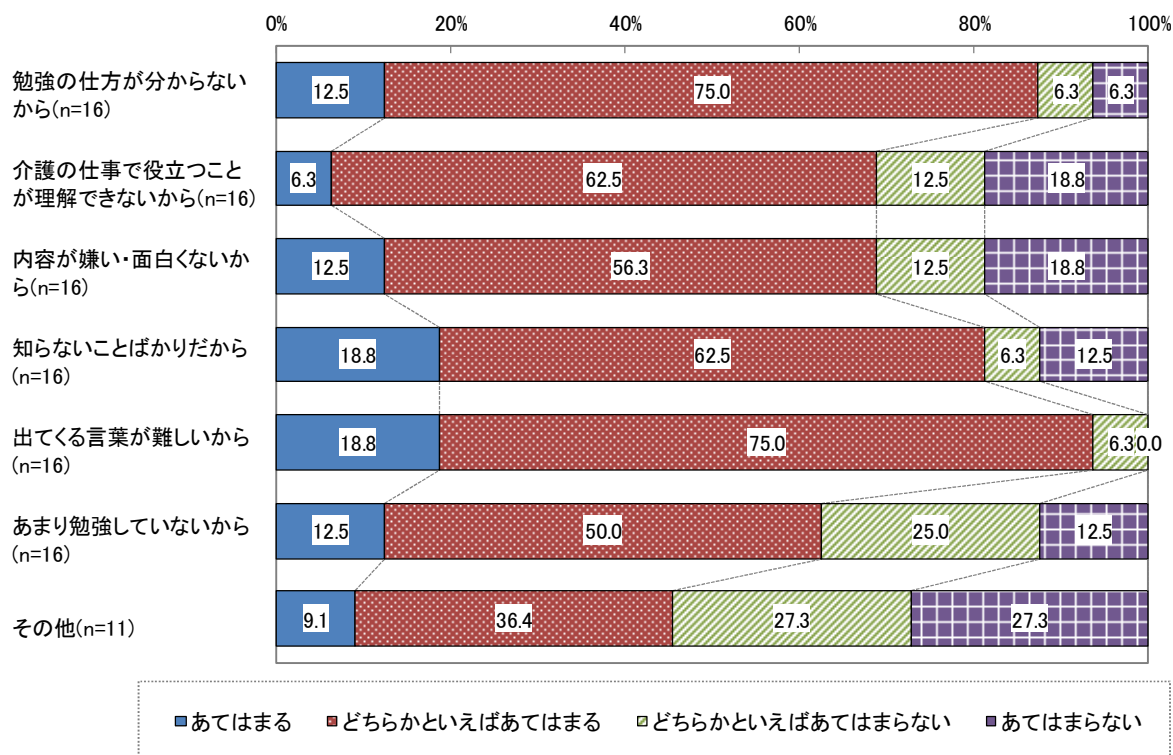
### 3. 社会の理解



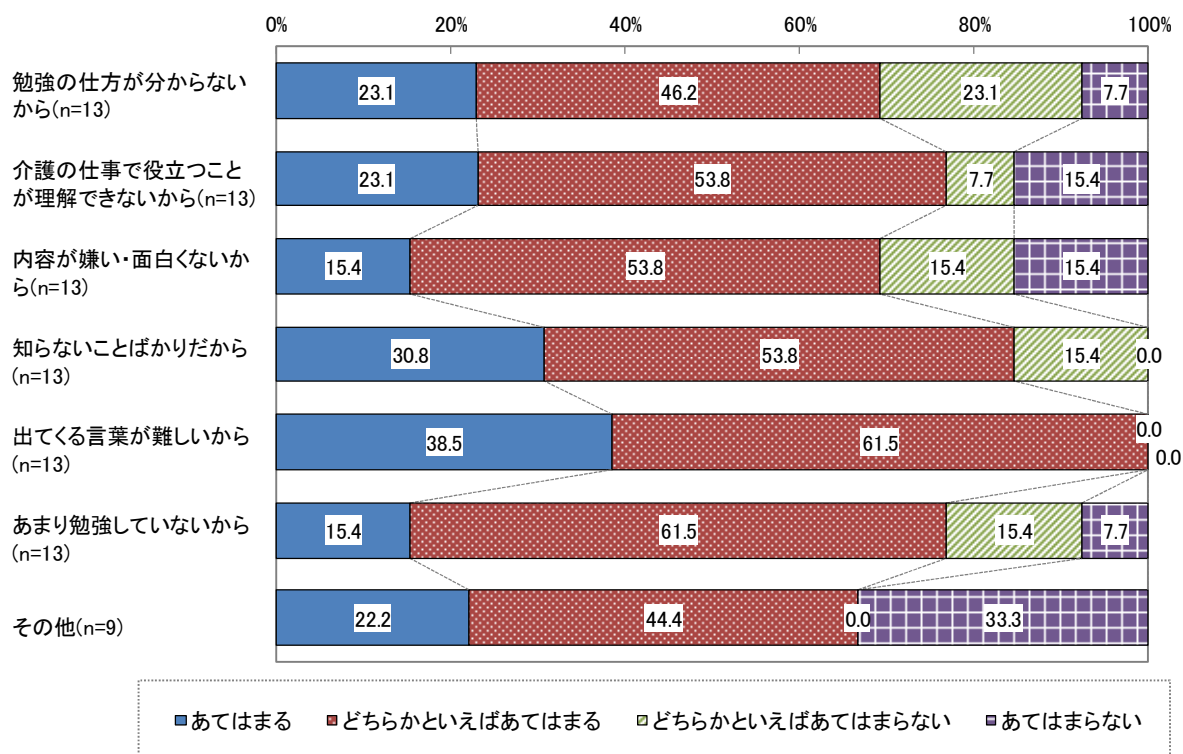
### 4. 介護の基本



## 5. コミュニケーション技術

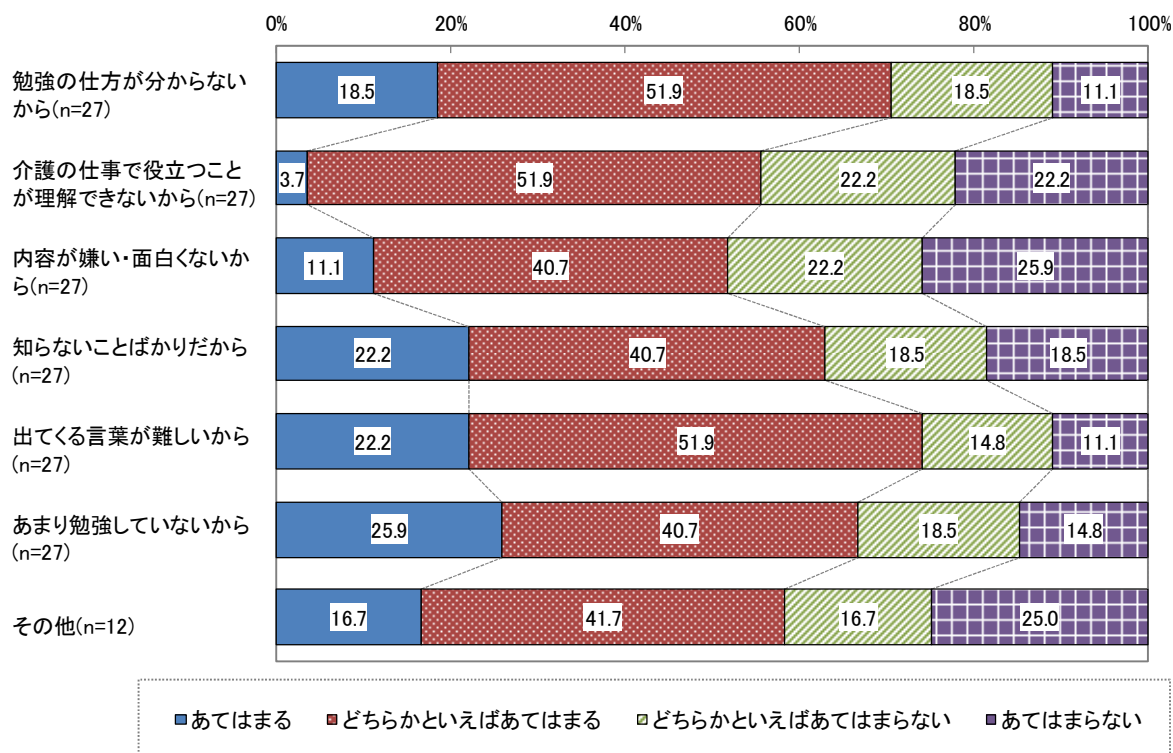


## 6. 生活支援技術

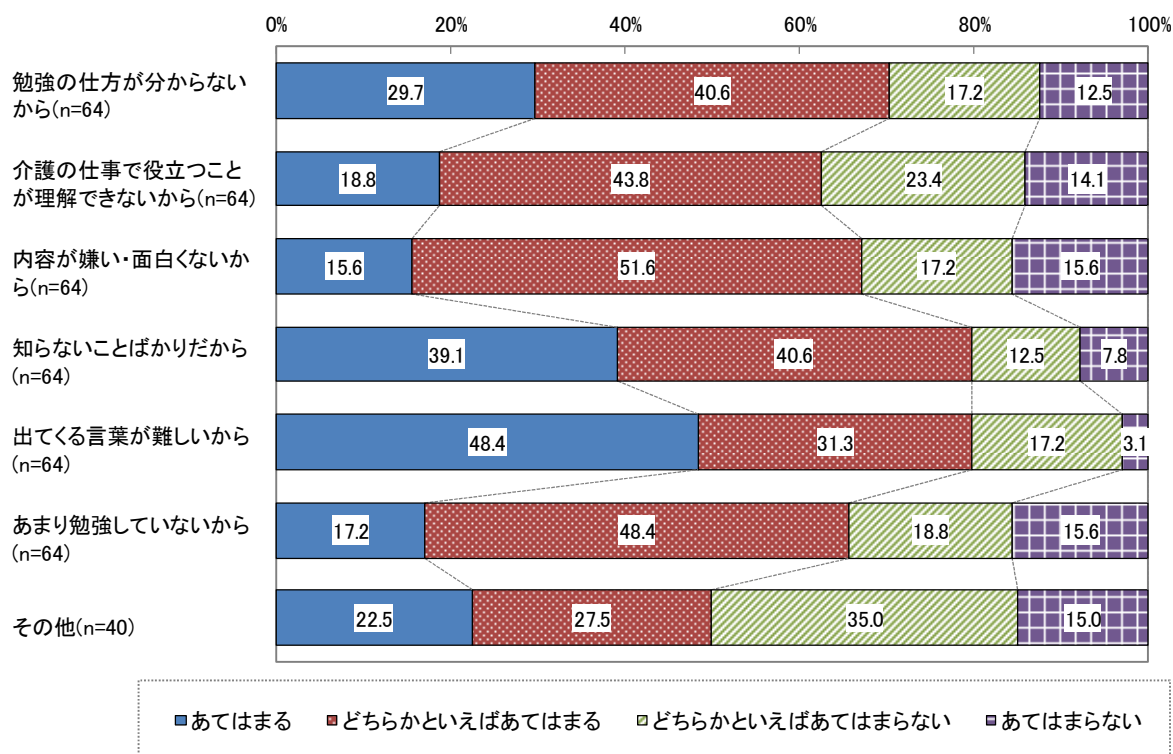




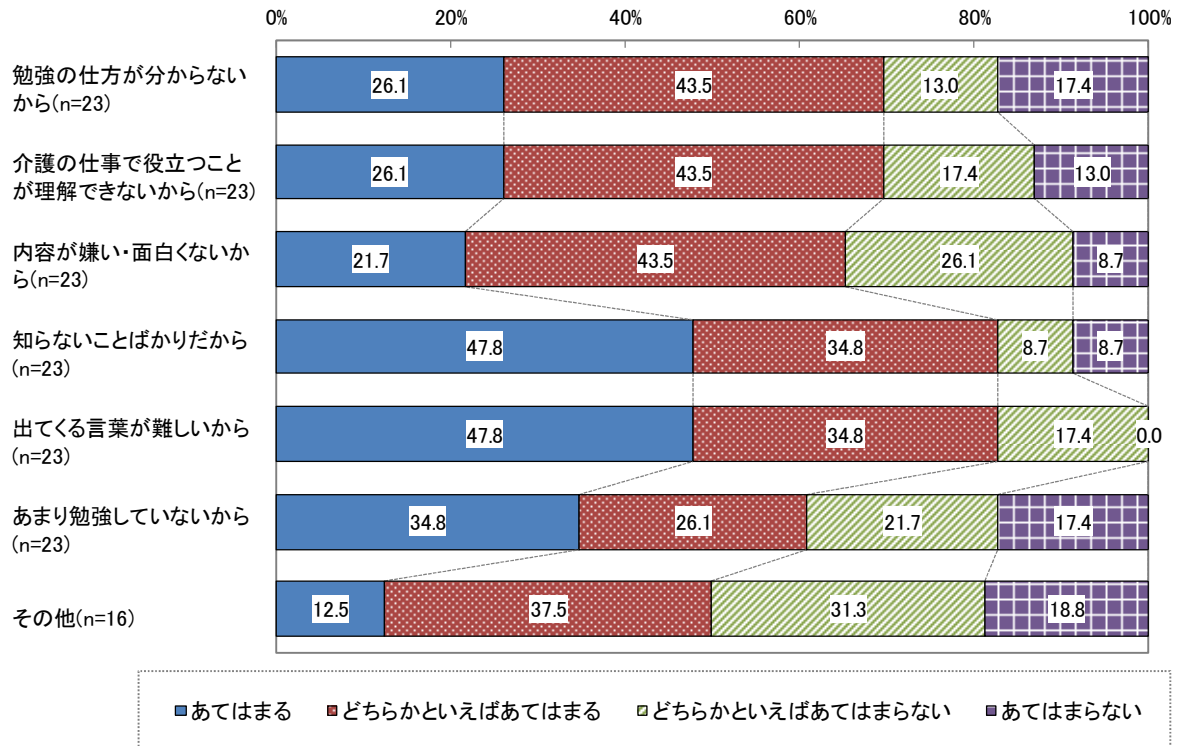
## 7. 介護過程



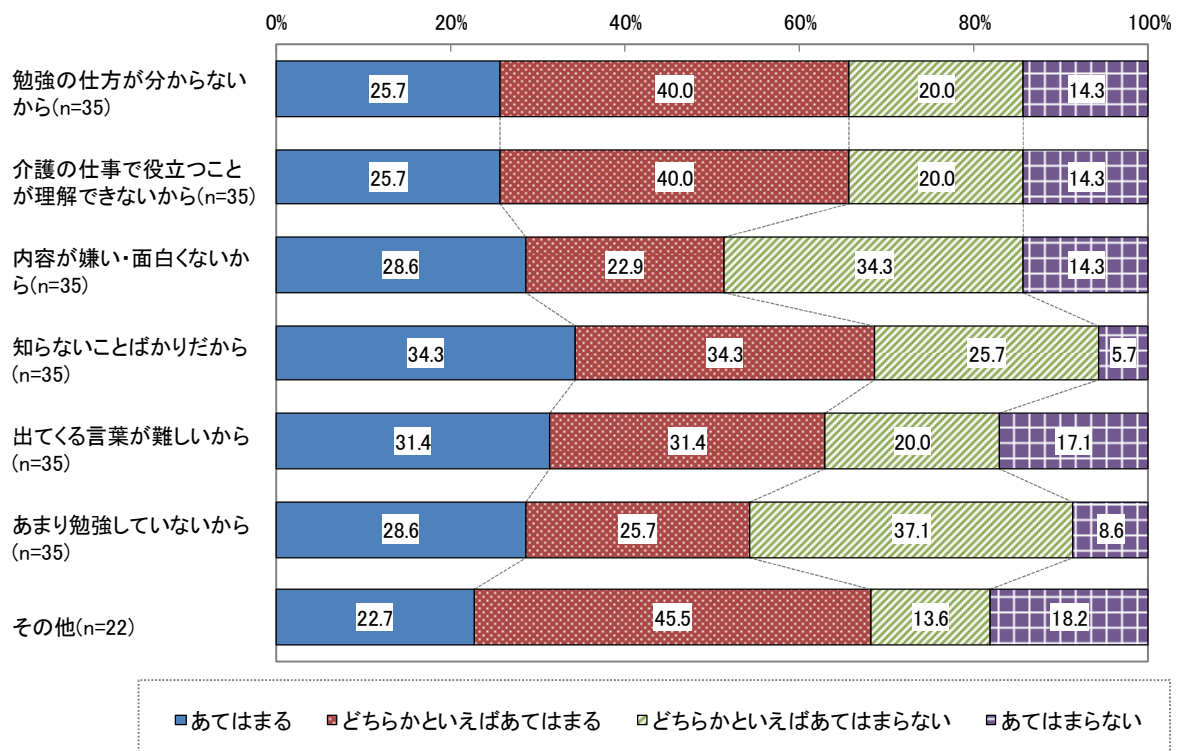
## 8. 発達と老化の理解



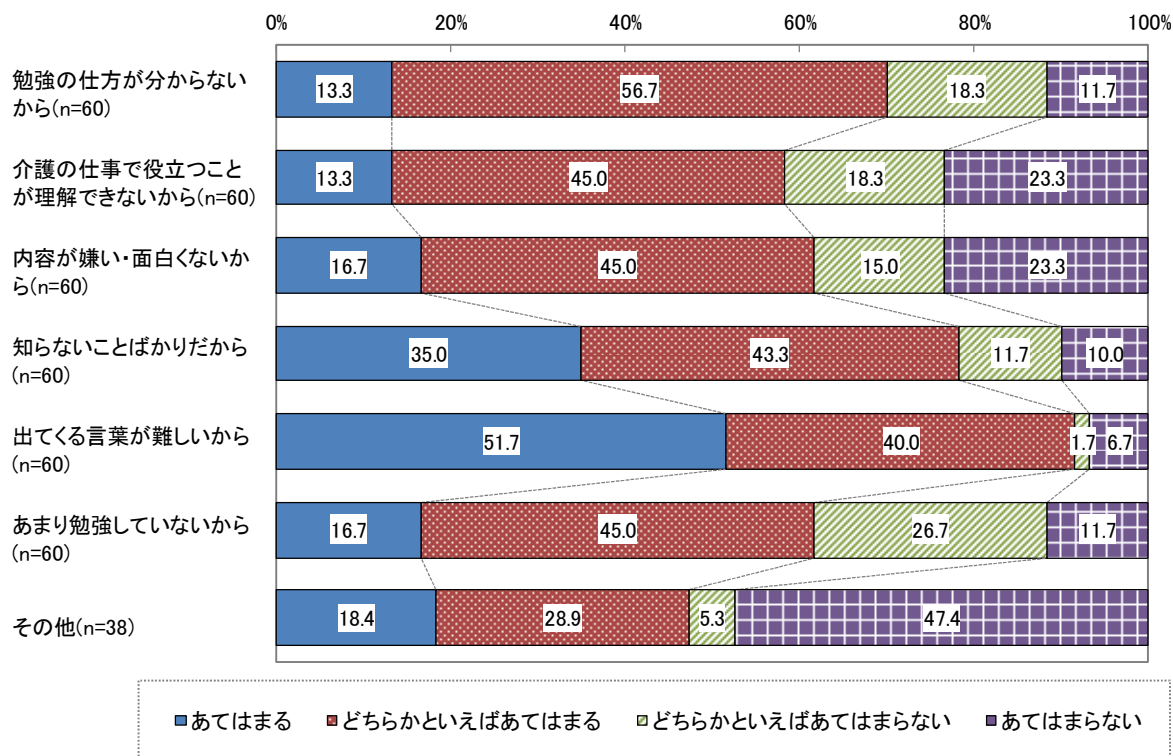
## 9. 認知症の理解



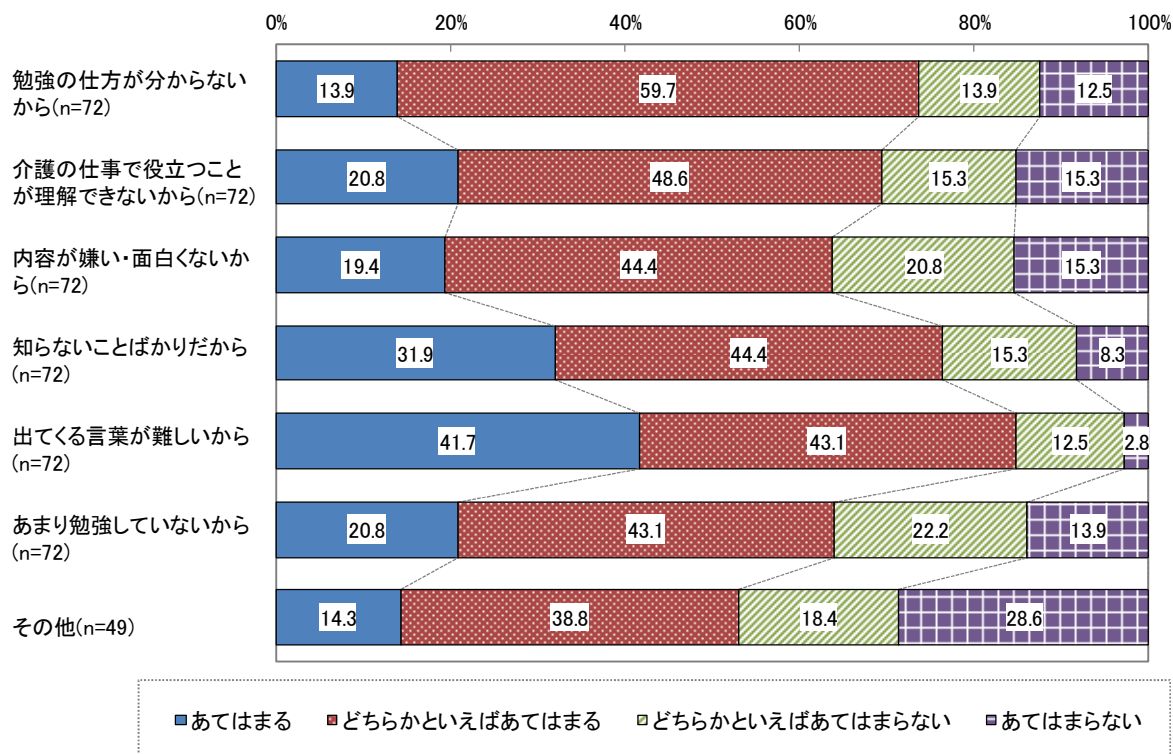
## 10. 障害の理解



## 11. ころとからだのしくみ



## 12. 医療的ケア

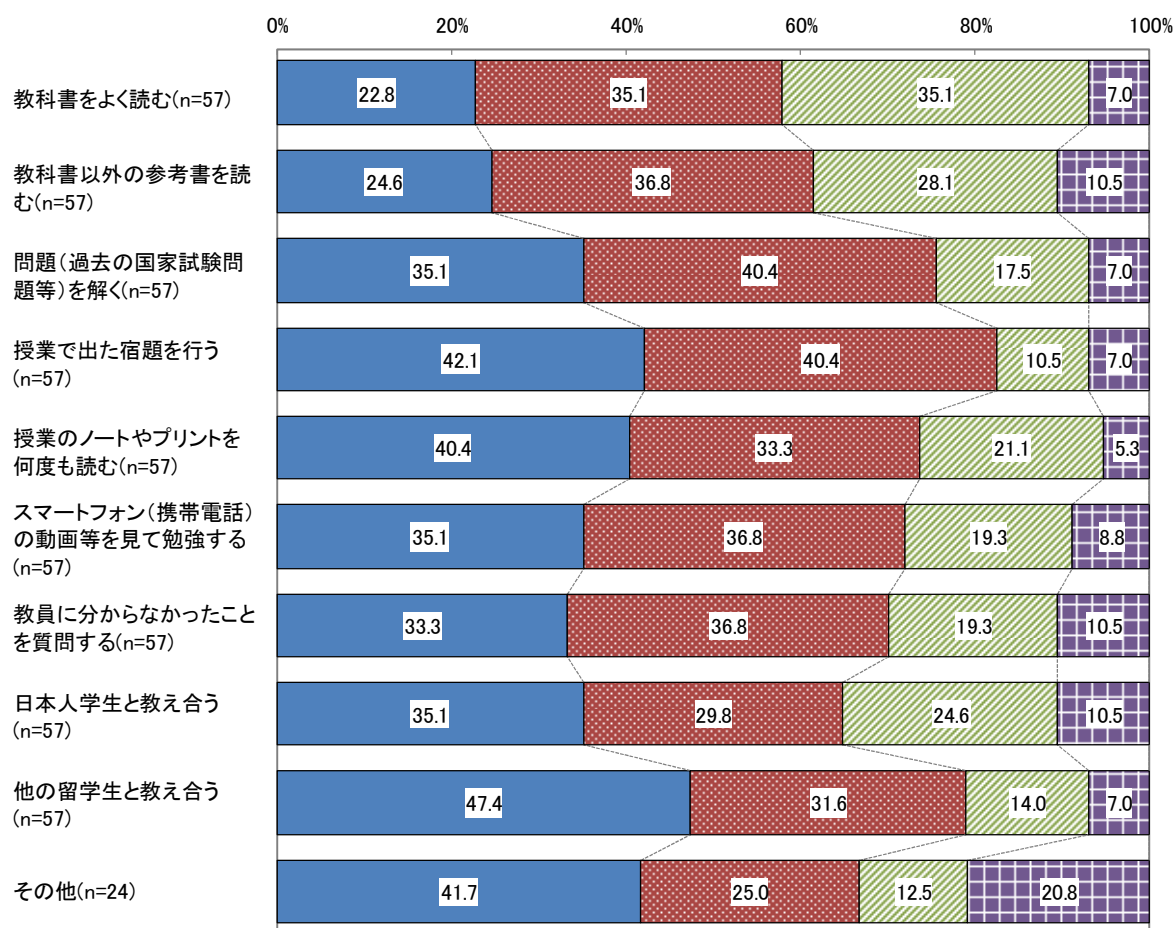


### ③ 最も不得意な科目の勉強方法

問 20-1. 最も不得意な科目について、あなたは“授業以外で”どのように勉強していますか。

・ 以下、最も不得意な科目の勉強方法についての科目別の項目別分類図を掲載する。

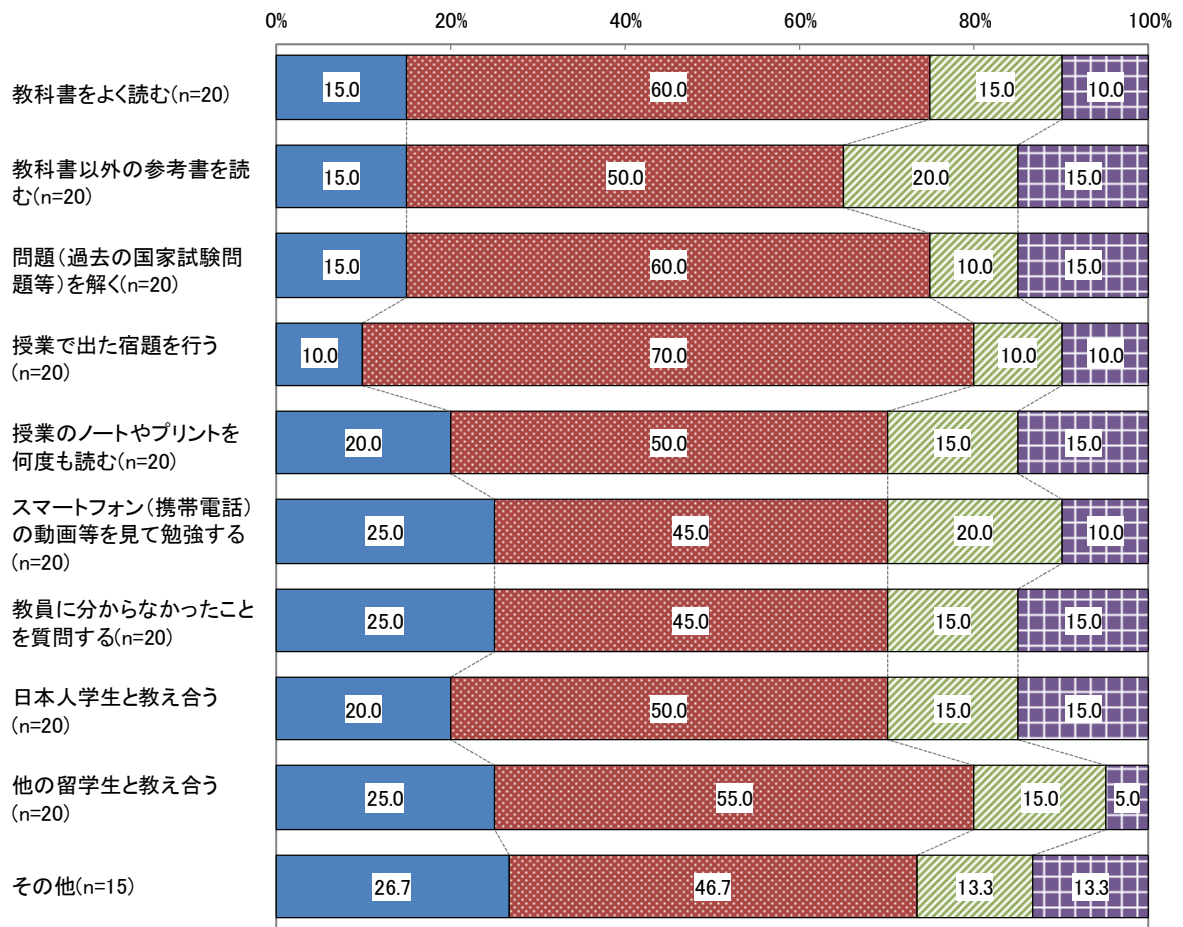
#### 1. 人間の尊厳と自立



■いつもしている    ■どちらかといえばしている    □あまりしていない    ■まったくしていない

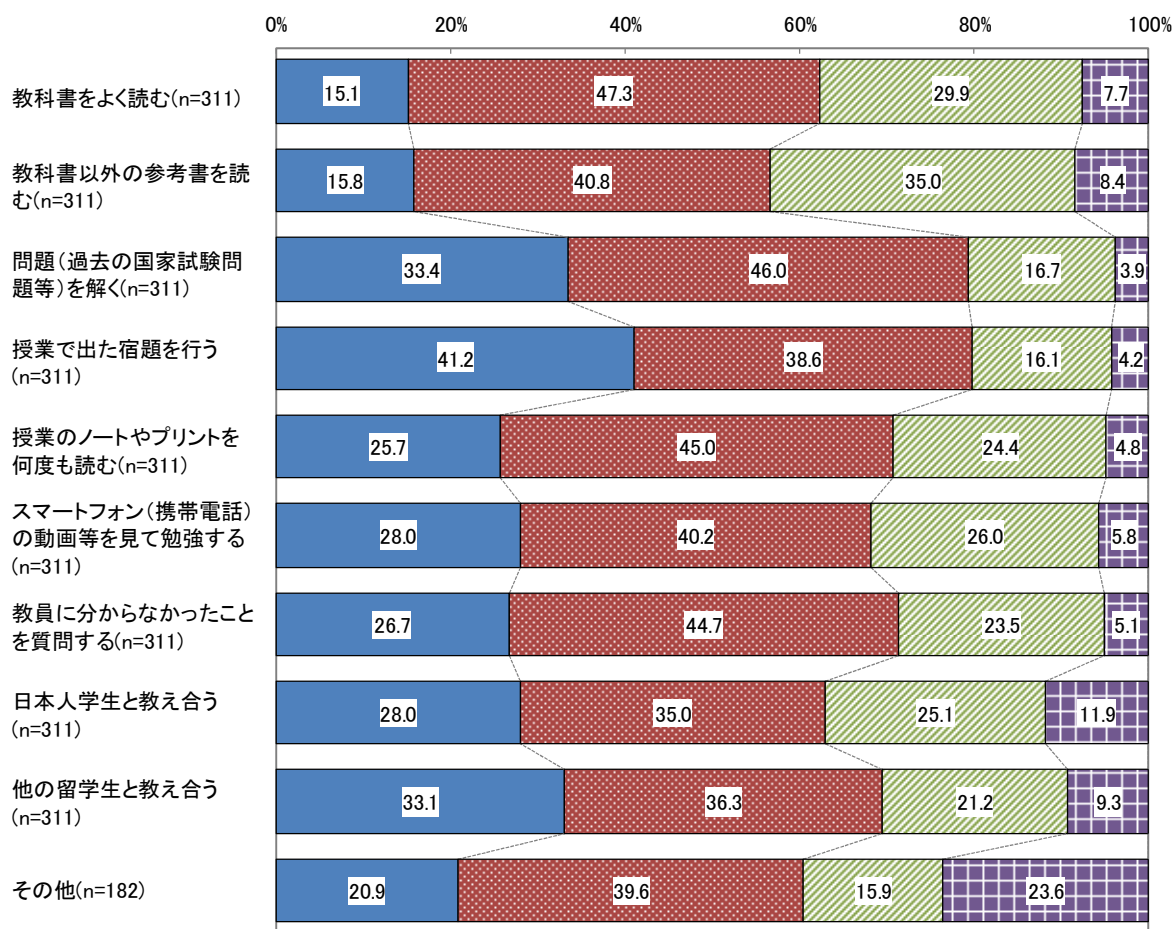


## 2. 人間関係とコミュニケーション



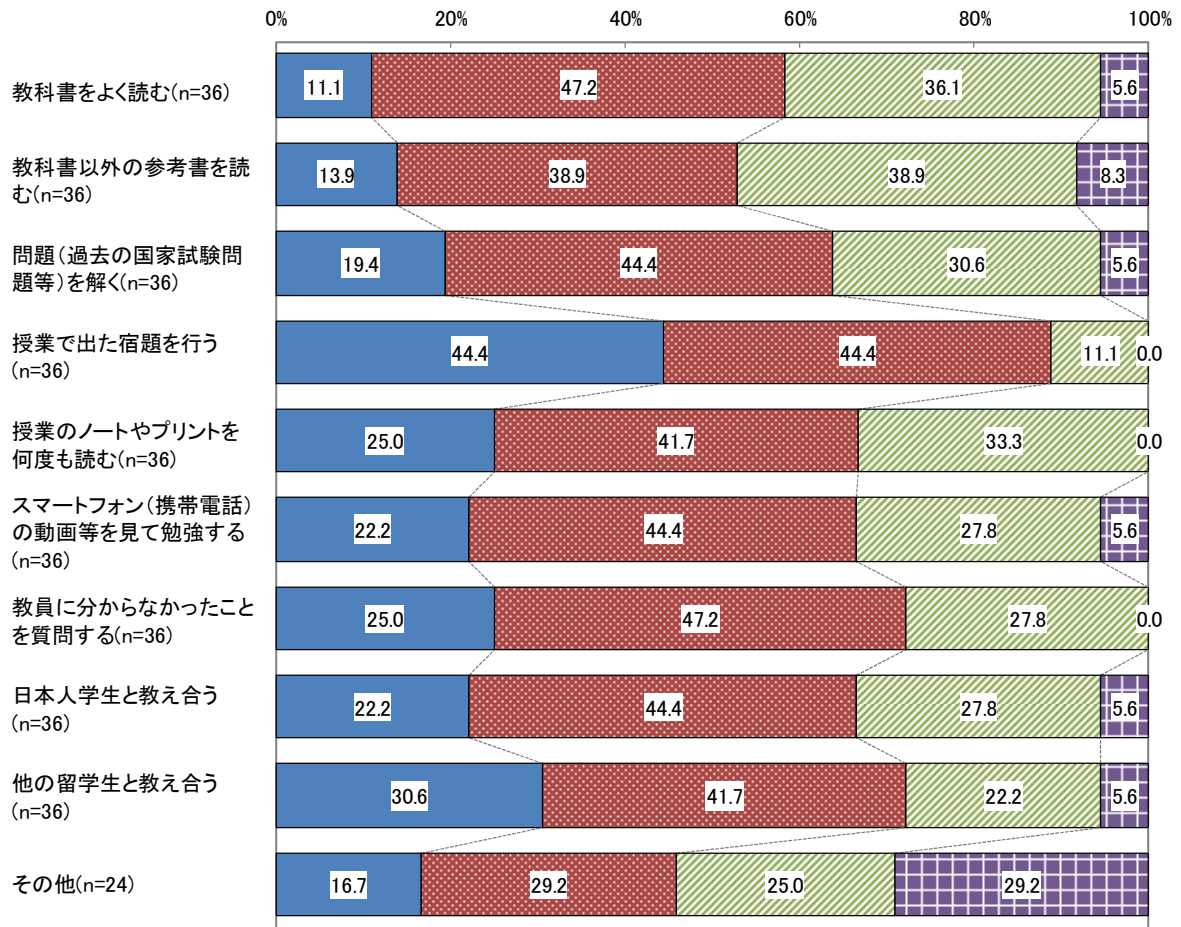
■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

### 3. 社会の理解



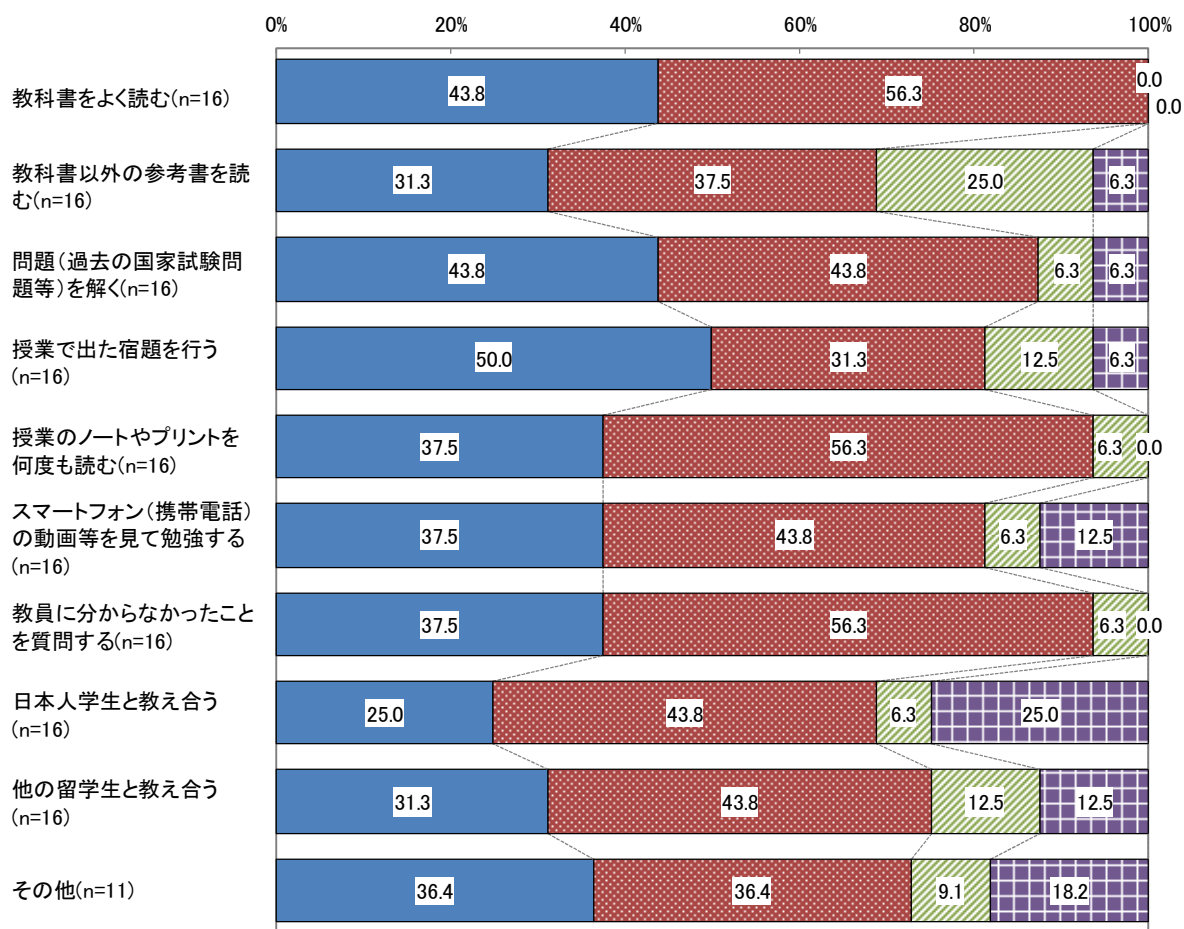
■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

#### 4. 介護の基本



■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

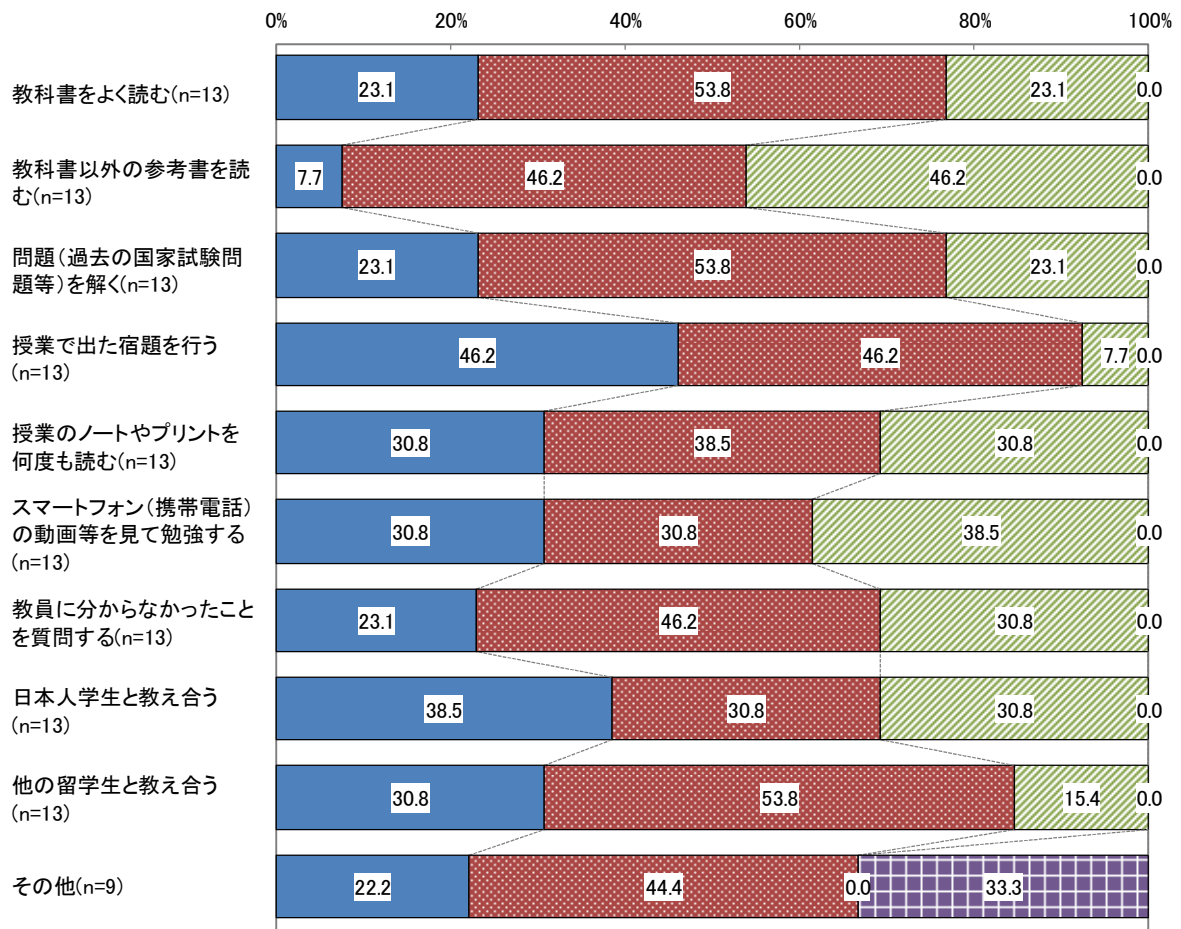
## 5. コミュニケーション技術



■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

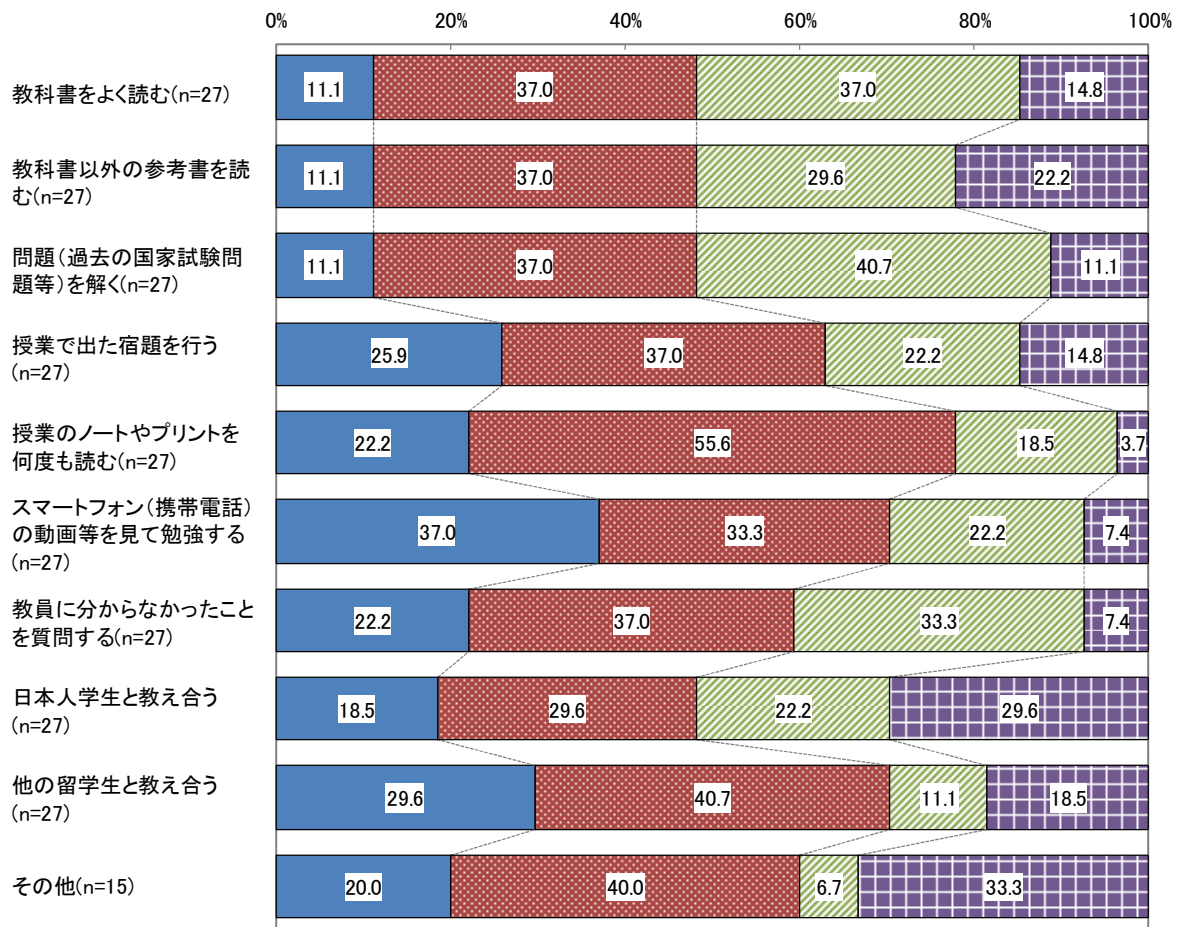


## 6. 生活支援技術



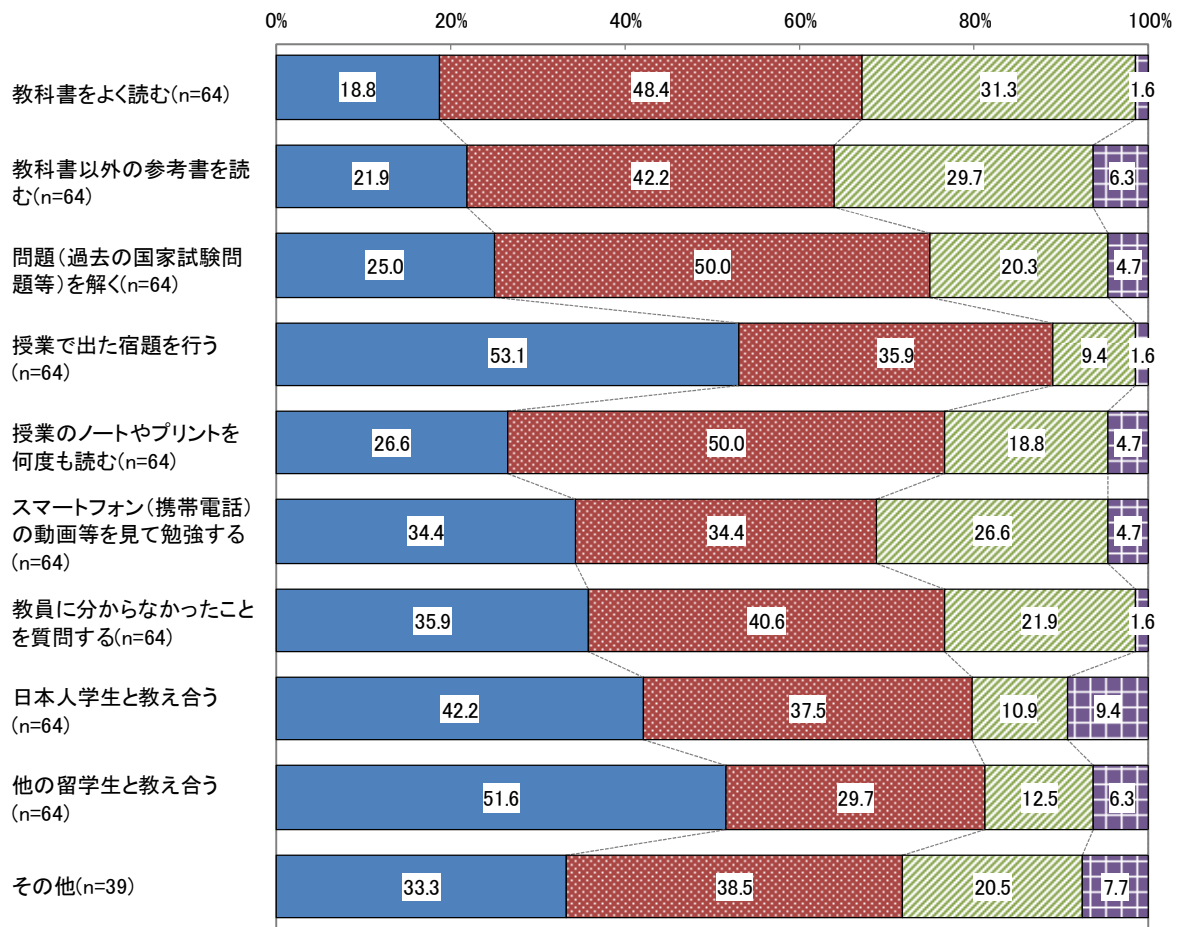
■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

## 7. 介護過程



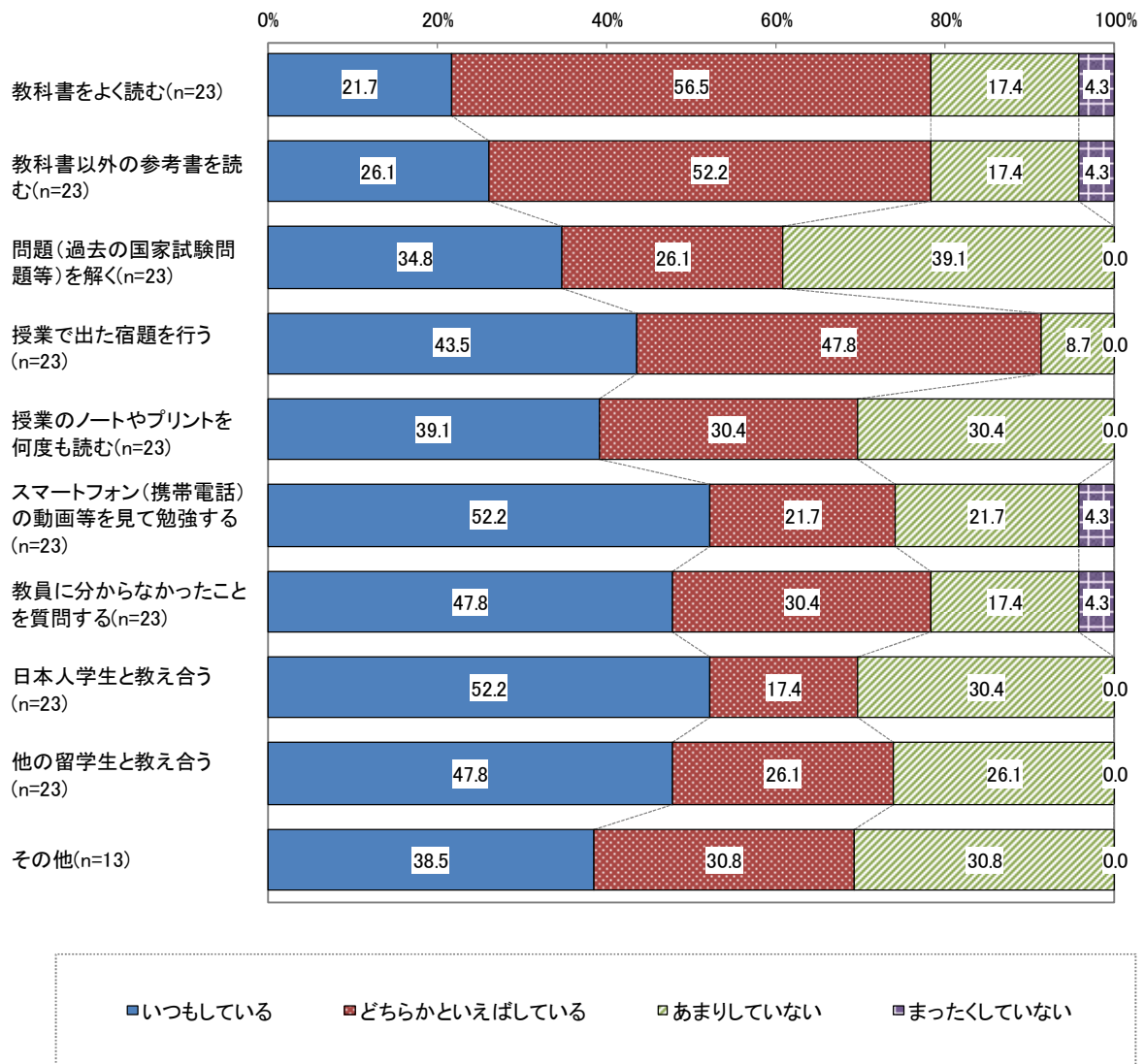
■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

## 8. 発達と老化の理解

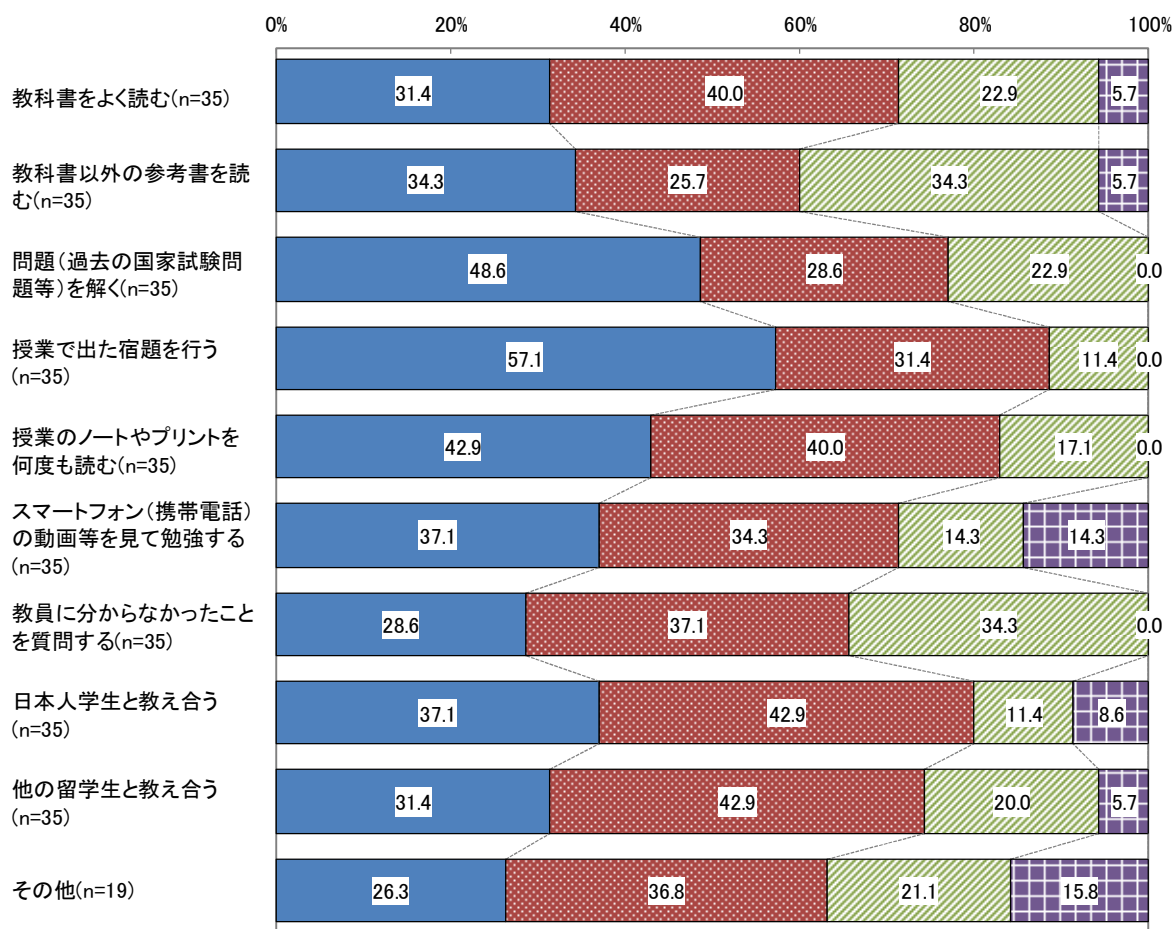


■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

## 9. 認知症の理解



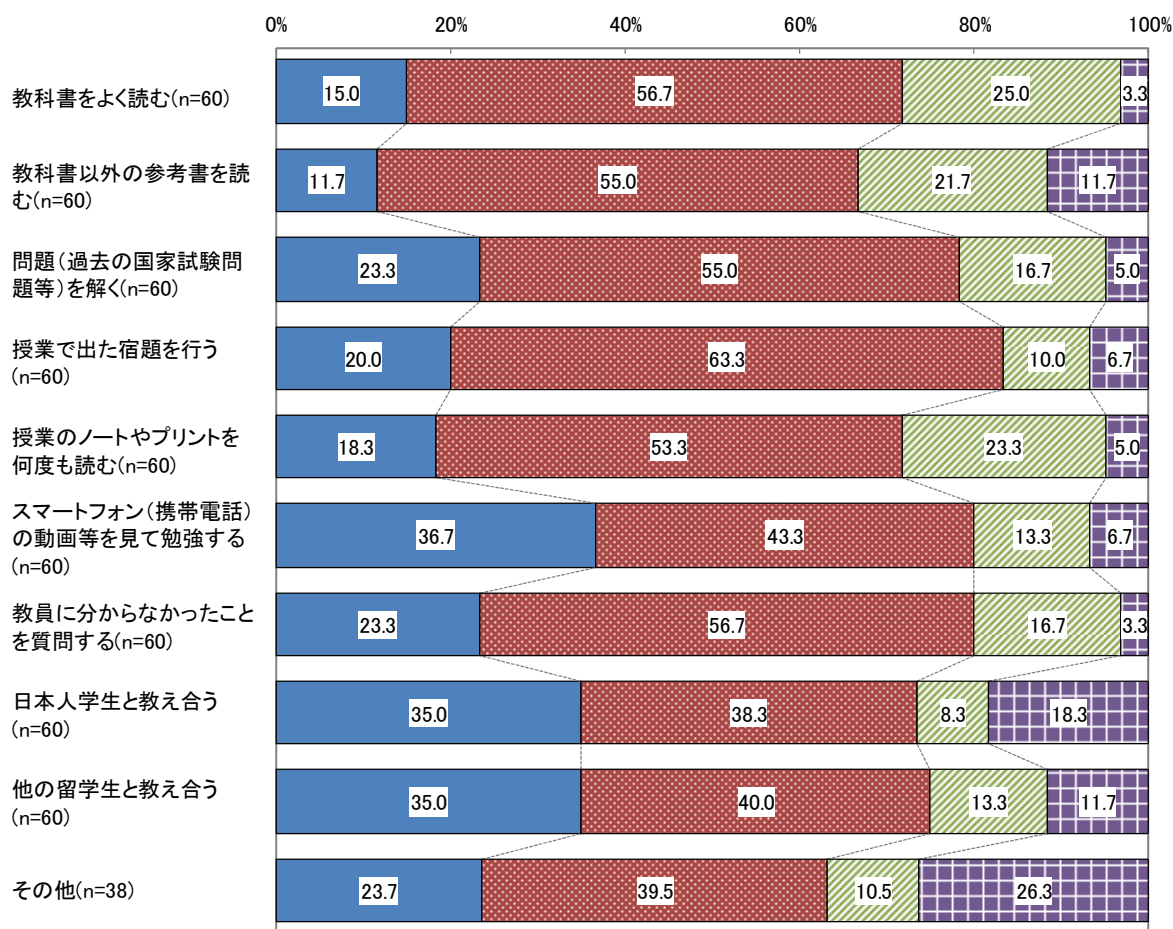
## 10. 障害の理解



■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

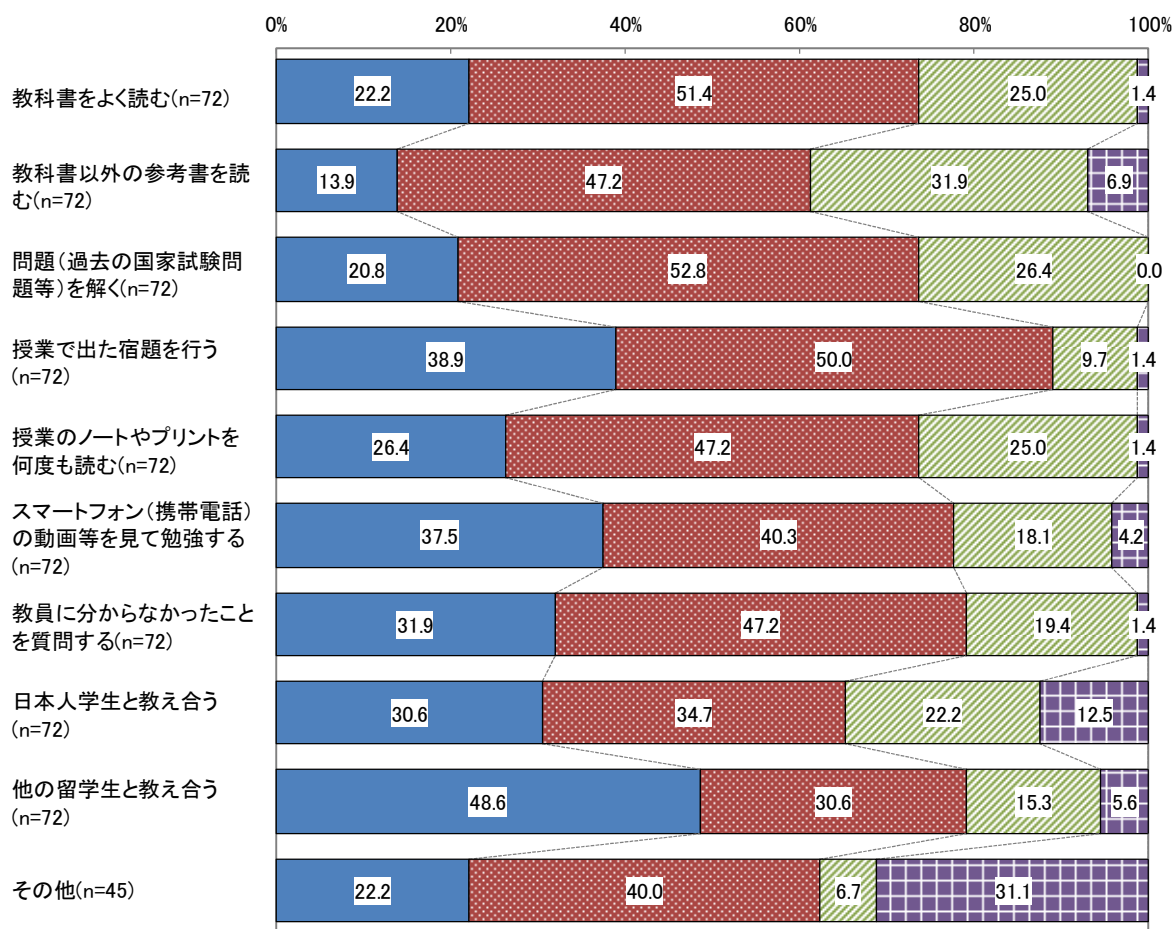


## 11. ころとからだのしくみ



■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

## 12. 医療的ケア



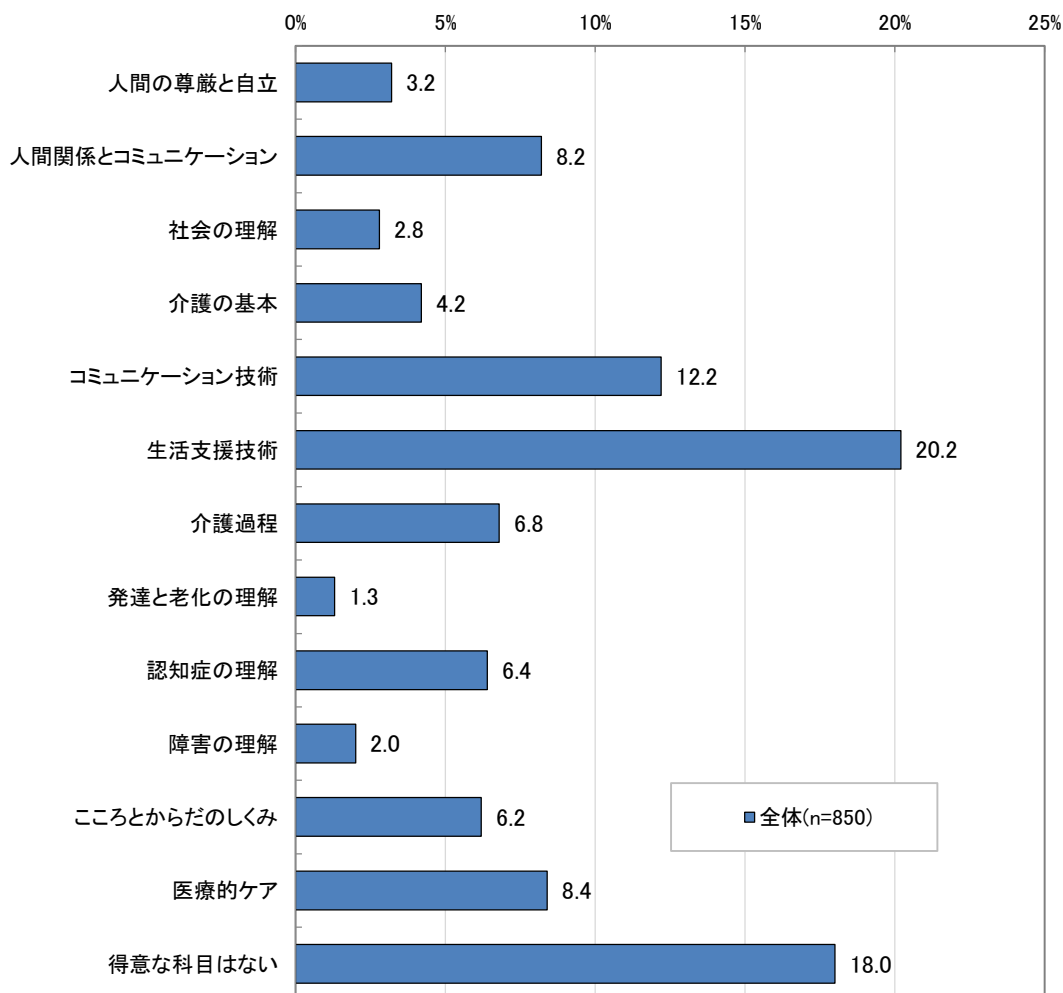
■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

## (8)最も「得意」な科目

### ① 最も得意な科目

問 21. あなたが、最も「得意」な科目は何ですか。

- 全体では、「生活支援技術」が20.2%と最も高く、「コミュニケーション技術」が12.2%、「医療的ケア」が8.4%、「人間関係とコミュニケーション」が8.2%となっている。一方、「得意な科目はない」が18.0%となっている。



- 留学生の属性別に最も得意な科目を見たところ、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生は、「生活支援技術」、「ところとからだのしくみ」、「医療的ケア」を得意とする傾向にあり、介護分野の日本語の理解度が高い留学生は、「生活支援技術」を得意とする傾向にあった。

	n数	人間の尊厳と自立	人間関係とコミュニケーション	社会の理解	介護の基本	コミュニケーション技術	生活支援技術	介護過程	発達と老化の理解	認知症の理解	障害の理解	ところとからだのしくみ	医療的ケア	得意な科目はない
全体	850	3.2	8.2	2.8	4.2	12.2	20.2	6.8	1.3	6.4	2.0	6.2	8.4	18.0
介護や看護の資格の保持状況														
資格を持っており実務経験有り	96	6.3	6.3	1.0	0.0	8.3	27.1	5.2	0.0	4.2	2.1	11.5	17.7	10.4
資格を持っているが実務経験無し	49	6.1	6.1	4.1	2.0	8.2	20.4	8.2	0.0	4.1	0.0	12.2	6.1	22.4
資格なし	705	2.6	8.7	3.0	5.0	13.0	19.3	7.0	1.6	6.8	2.1	5.1	7.2	18.7
介護分野の日本語の理解度														
高	167	3.6	9.0	1.8	2.4	15.6	27.5	9.0	0.6	3.6	1.2	6.6	6.6	12.6
中	615	2.8	8.1	3.1	4.4	11.1	18.7	6.8	1.5	7.5	2.1	6.2	8.6	19.2
低	68	5.9	7.4	2.9	7.4	14.7	16.2	1.5	1.5	2.9	2.9	5.9	10.3	20.6

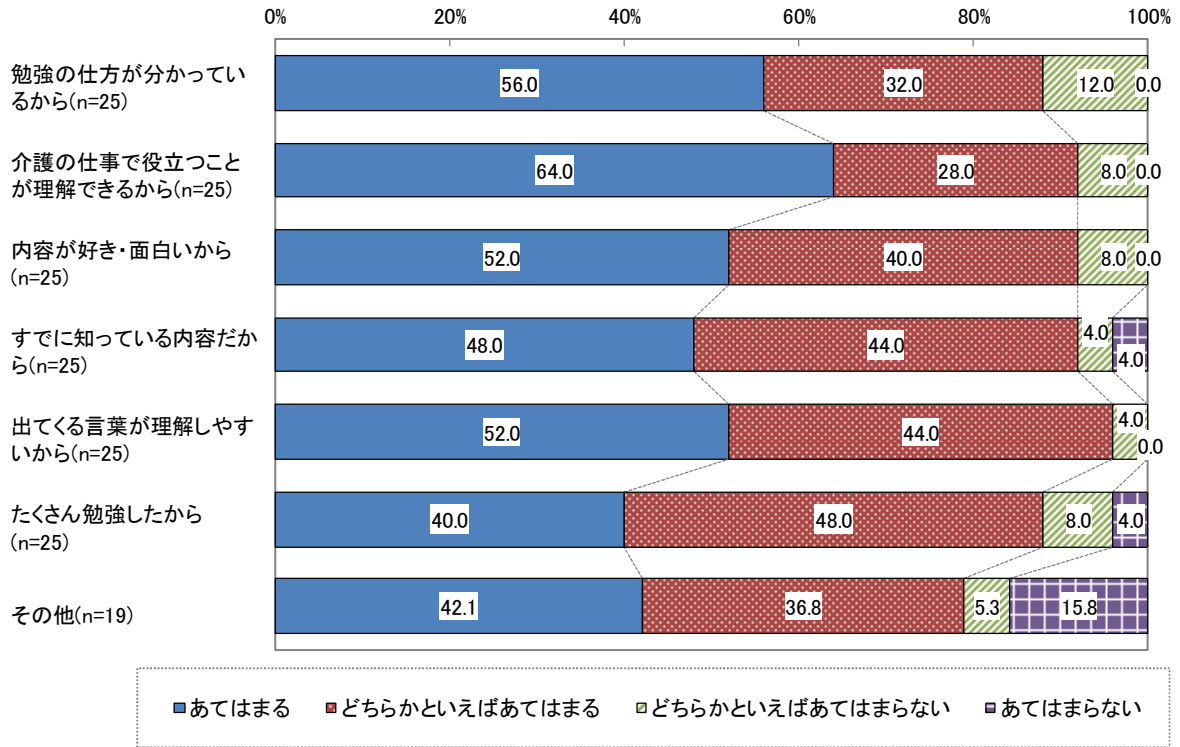


② 最も得意な科目である理由

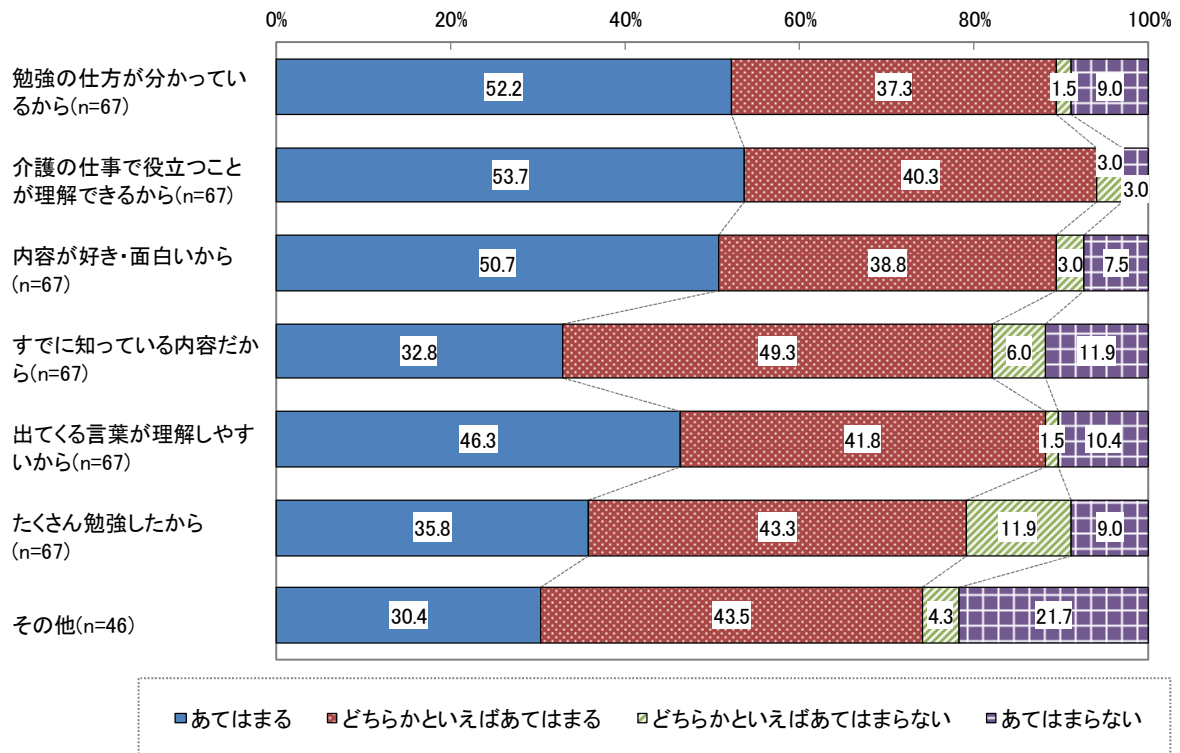
問 21-1. なぜその科目を最も得意と感じているのですか。

・ 以下、得意と感じる理由についての科目別の項目別分類図を掲載する。

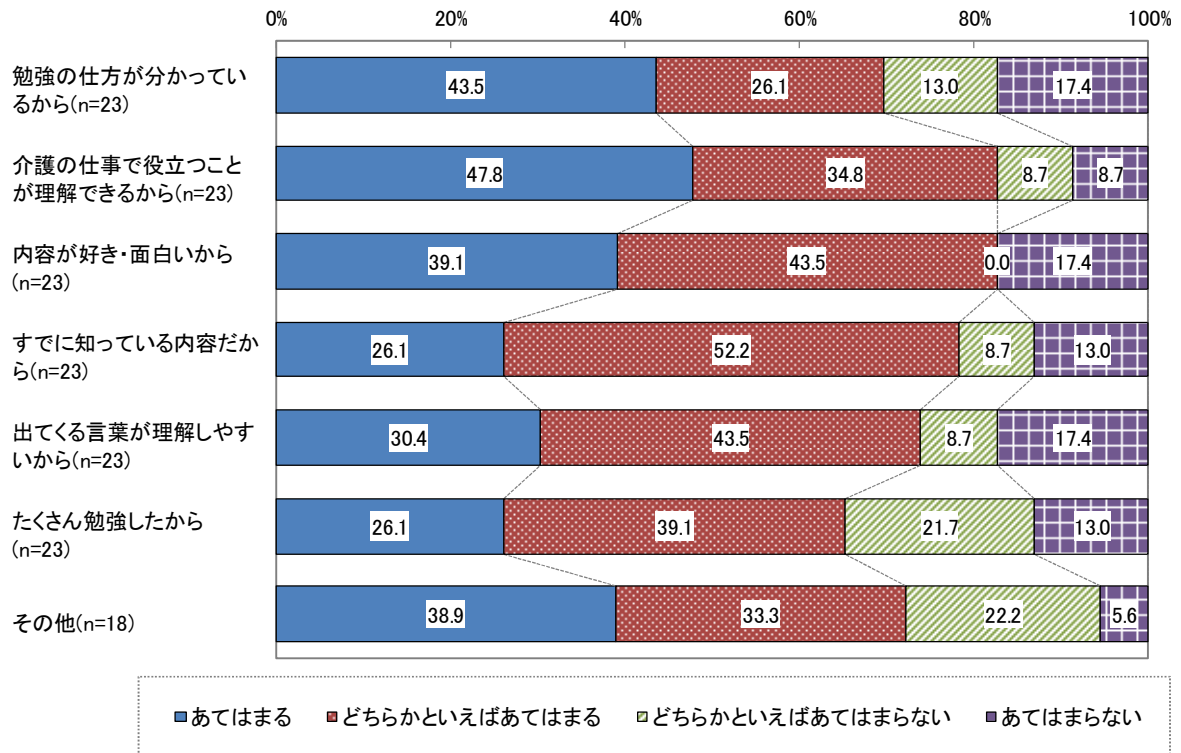
1. 人間の尊厳と自立



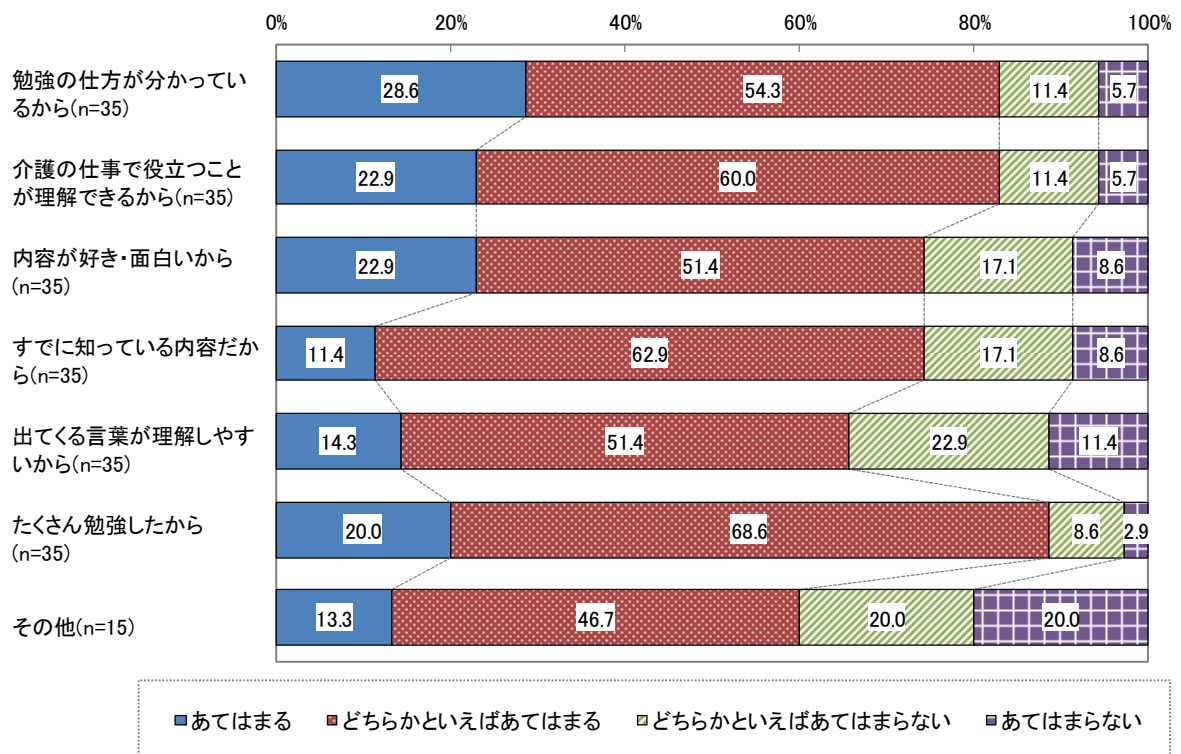
2. 人間関係とコミュニケーション



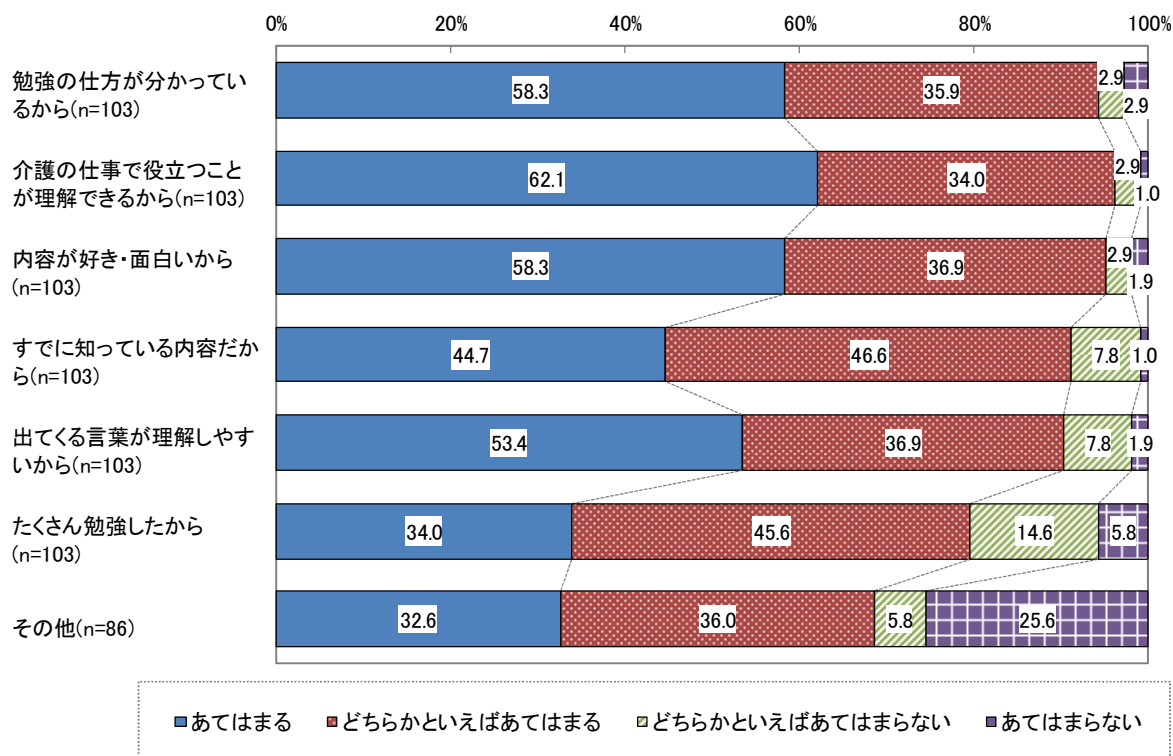
### 3. 社会の理解



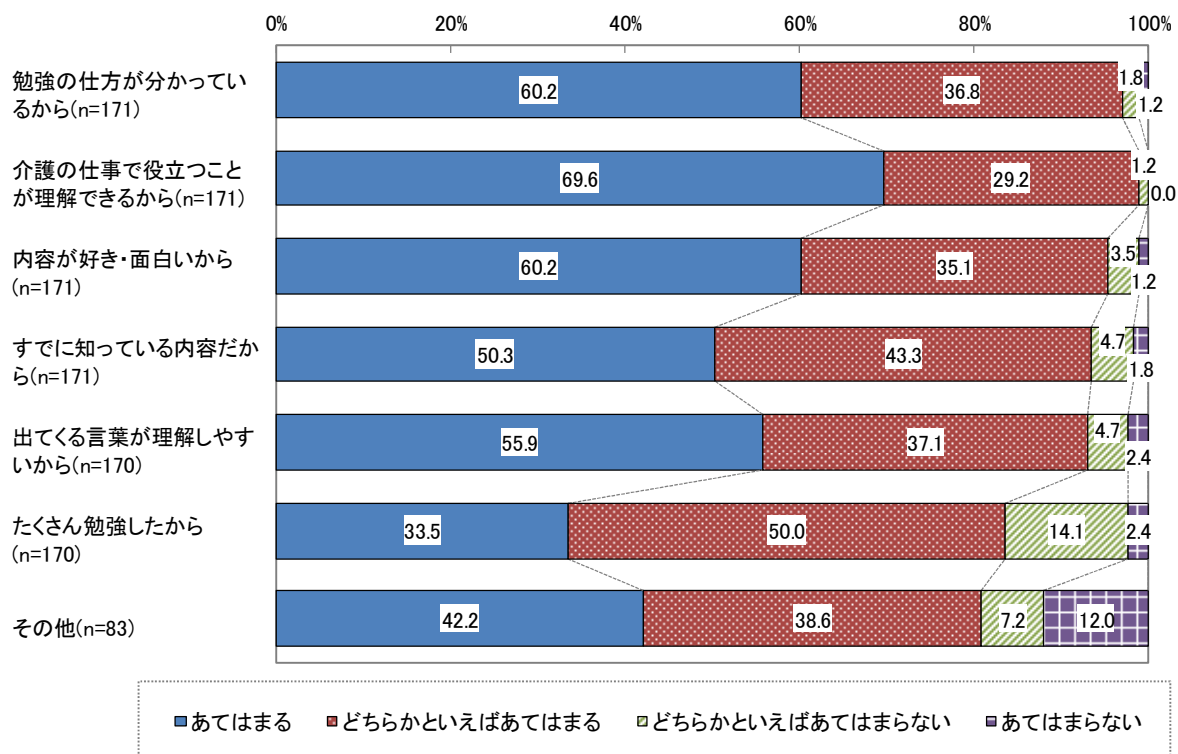
### 4. 介護の基本



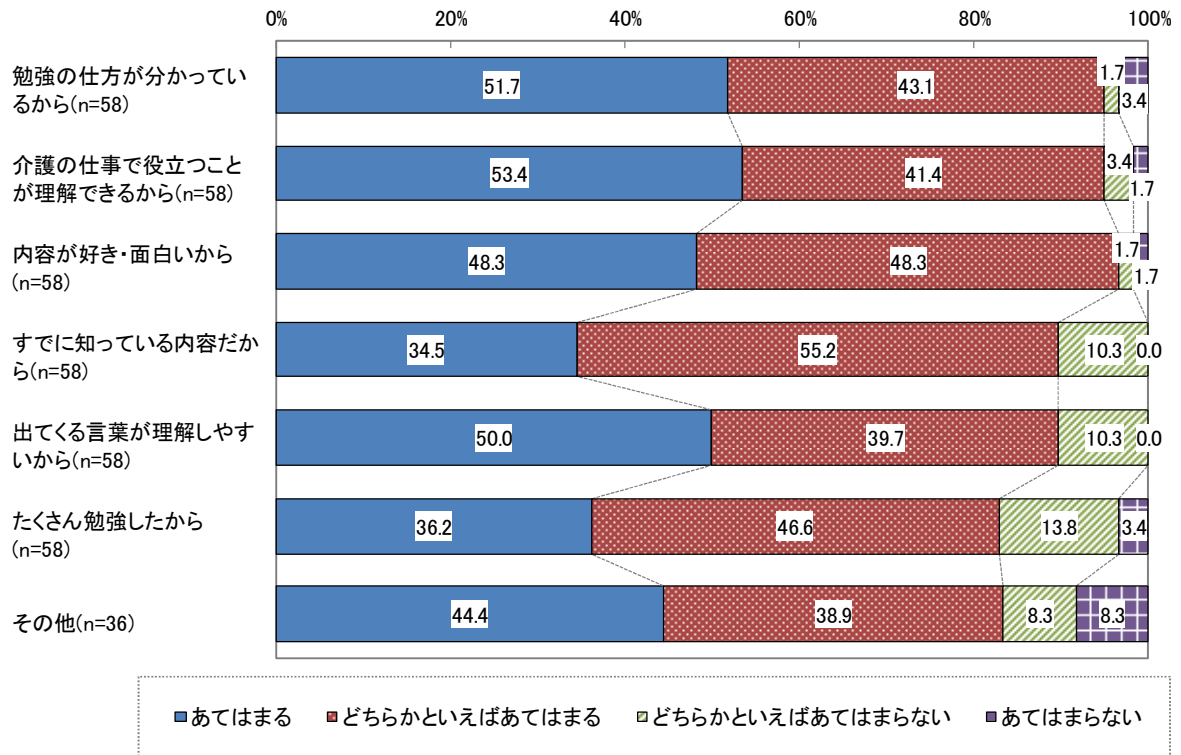
## 5. コミュニケーション技術



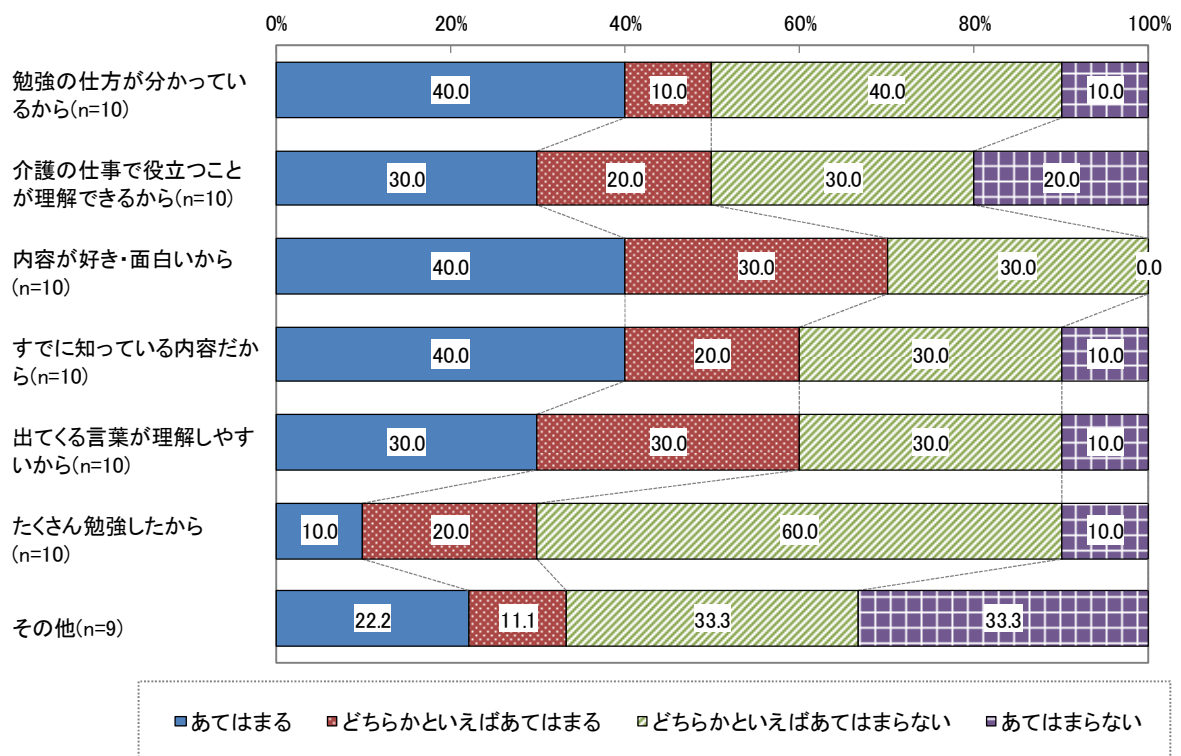
## 6. 生活支援技術



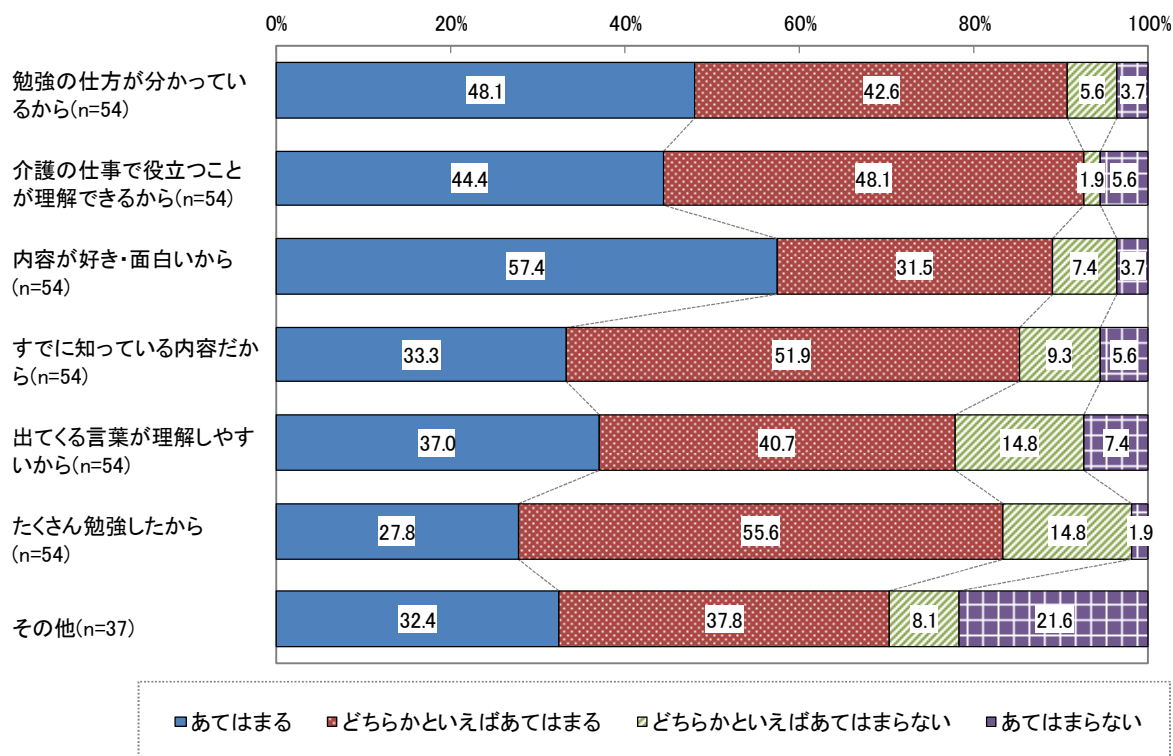
## 7. 介護過程



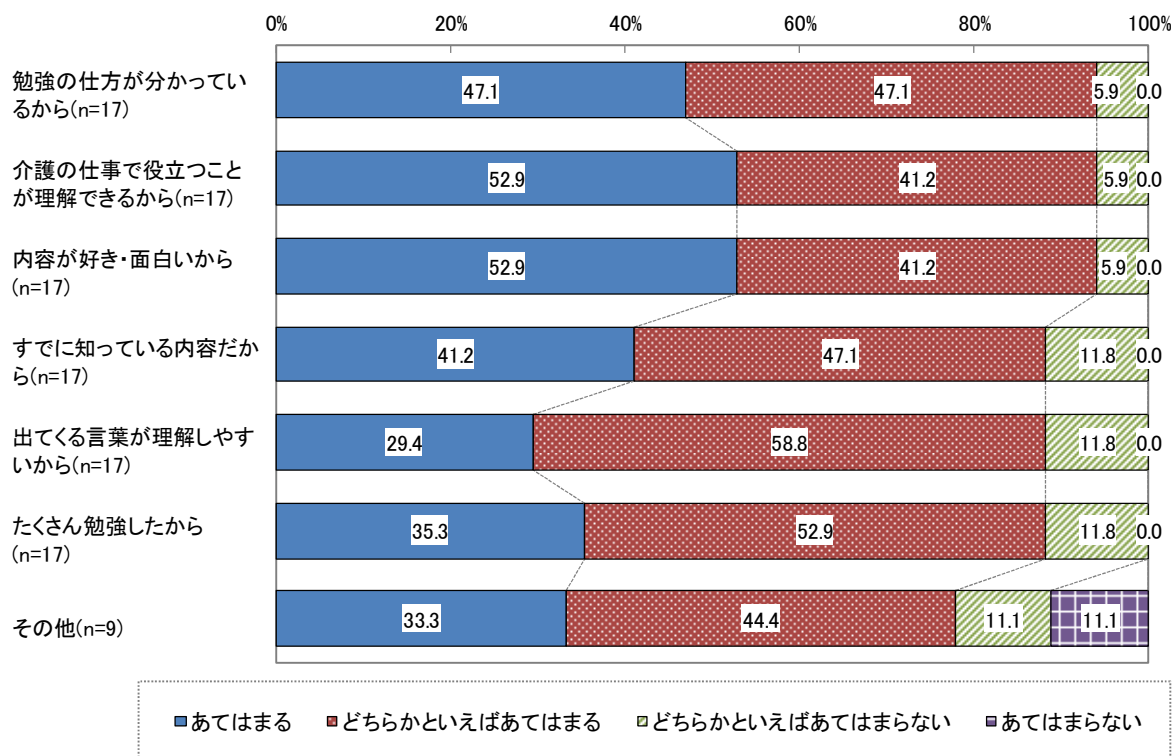
## 8. 発達と老化の理解



## 9. 認知症の理解

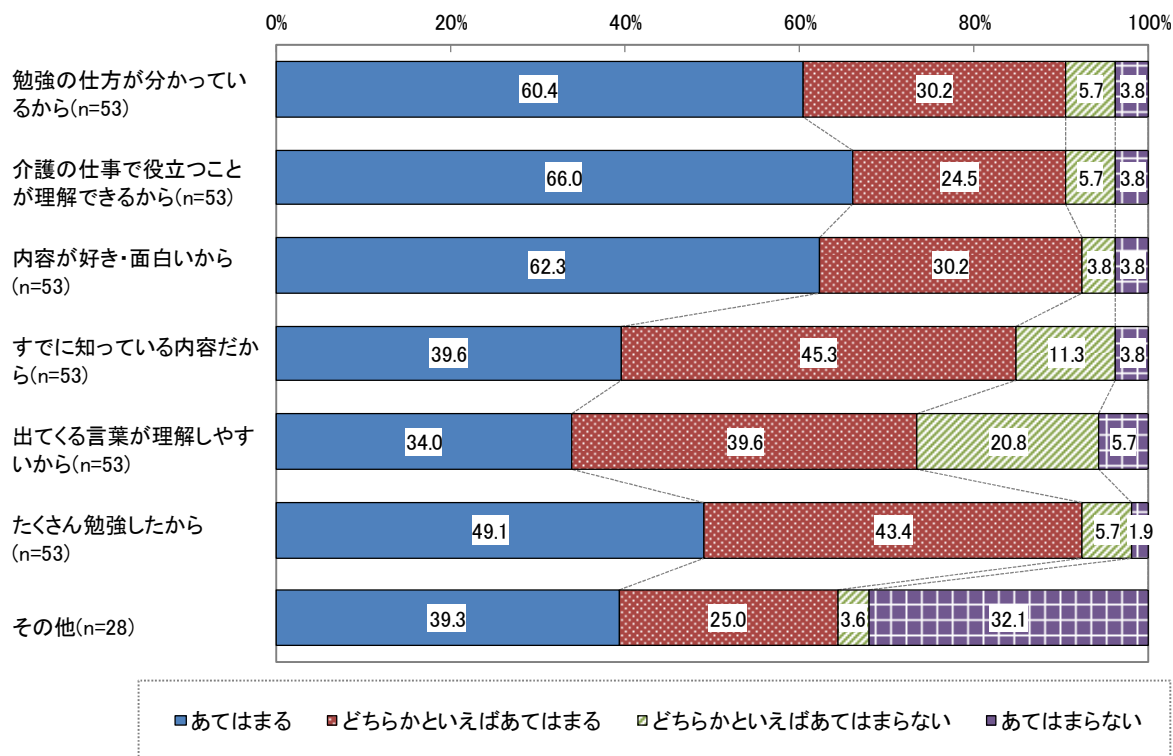


## 10. 障害の理解

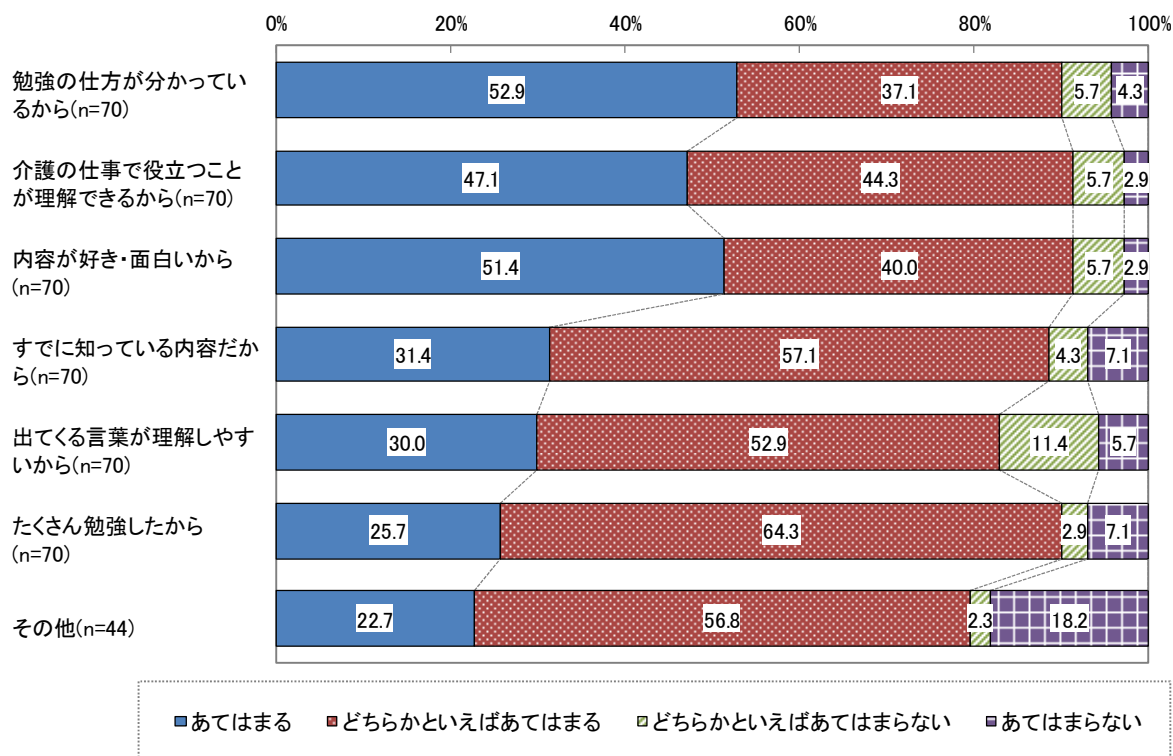




## 11. ころとからだのしくみ



## 12. 医療的ケア

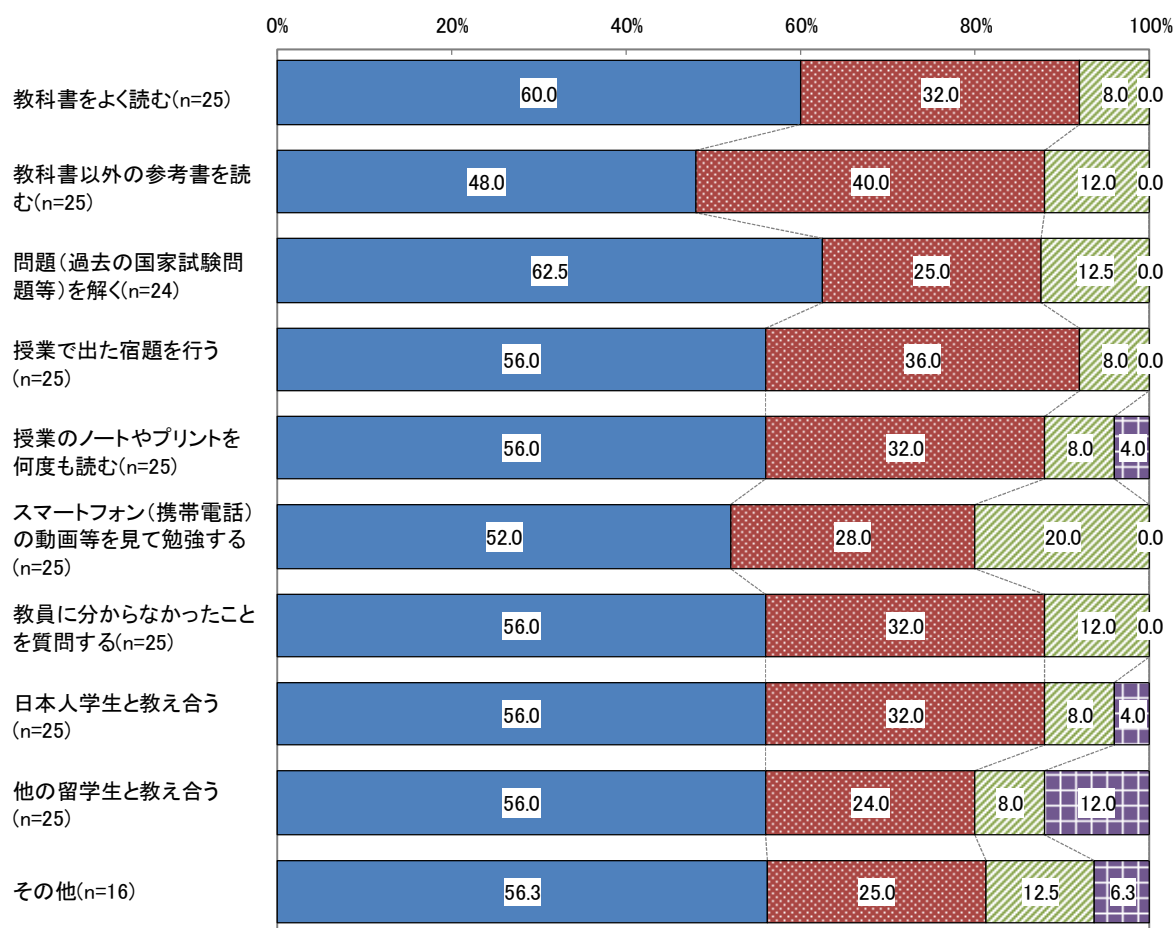


### ③ 最も得意な科目の勉強方法

問 21-1. 最も得意な科目について、あなたは“授業以外で”どのように勉強していますか。

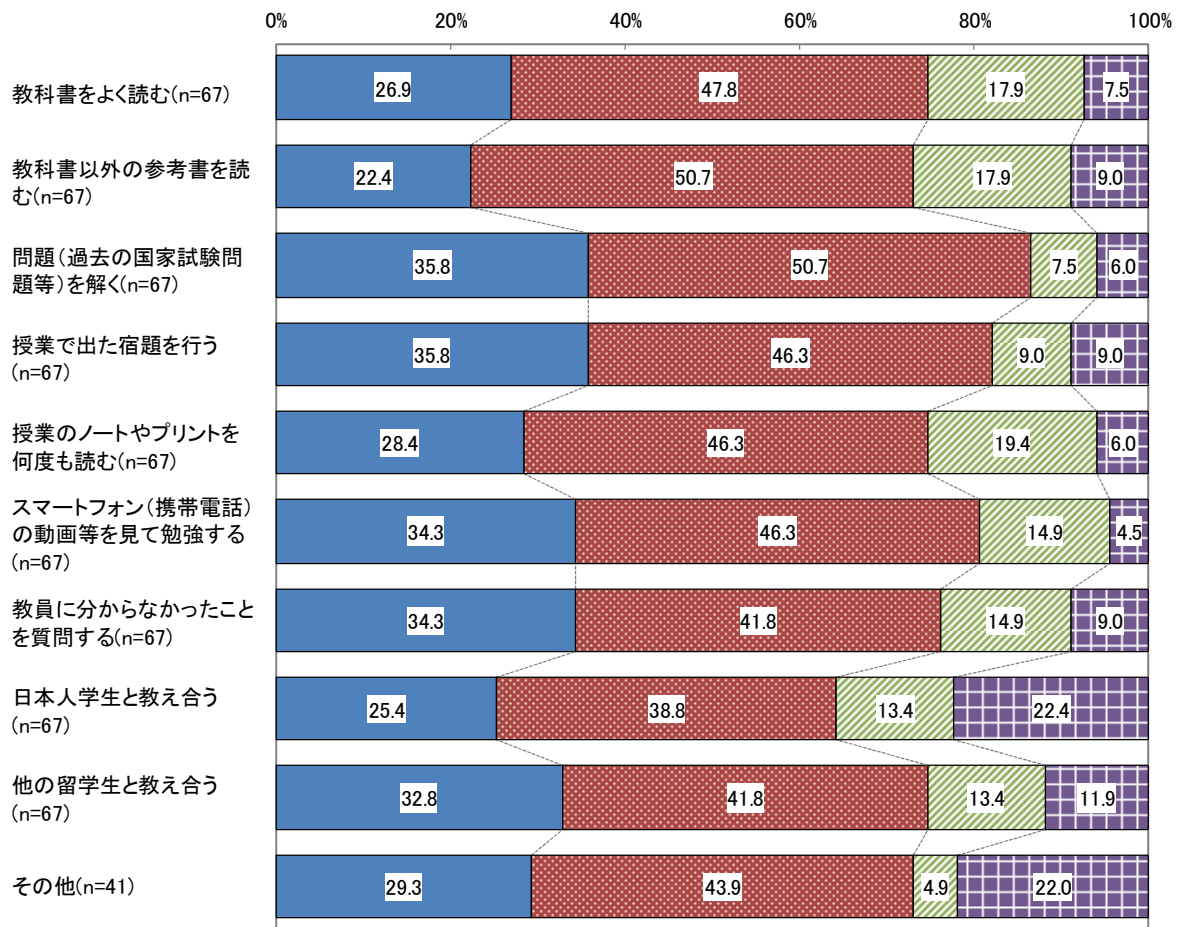
・ 以下、最も得意な科目の勉強方法についての科目別の項目別分類図を掲載する。

#### 1. 人間の尊厳と自立



■いつもしている   ■どちらかといえばしている   □あまりしていない   ■まったくしていない

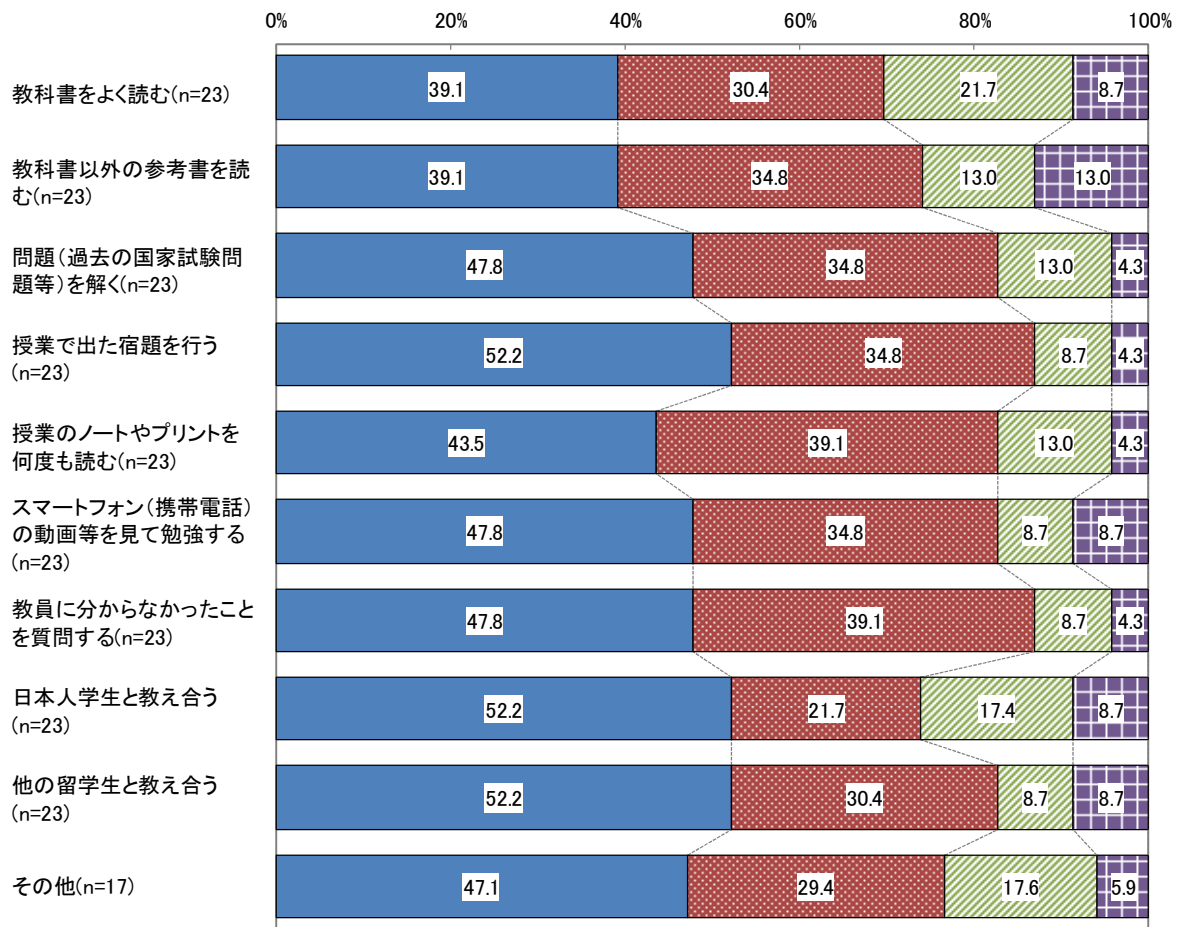
## 2. 人間関係とコミュニケーション



■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

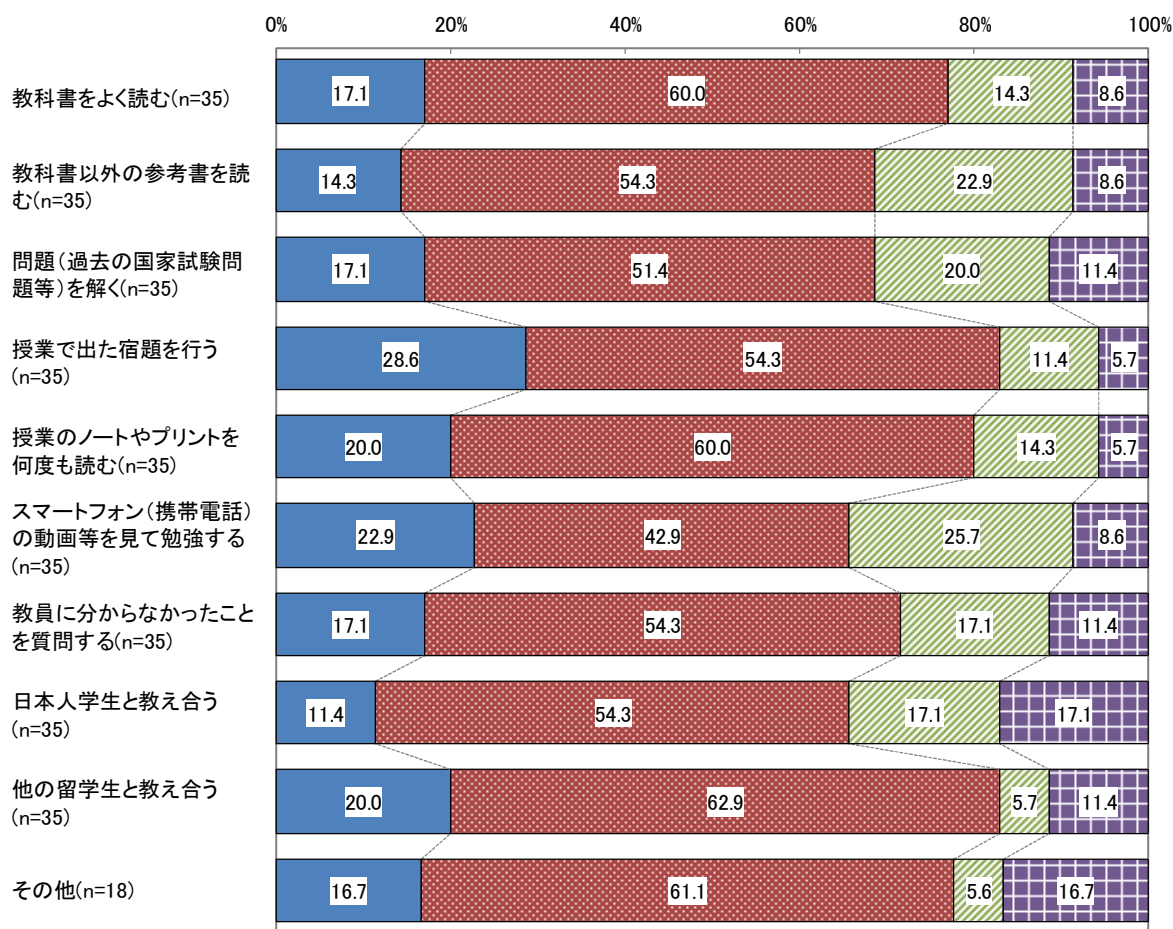


### 3. 社会の理解



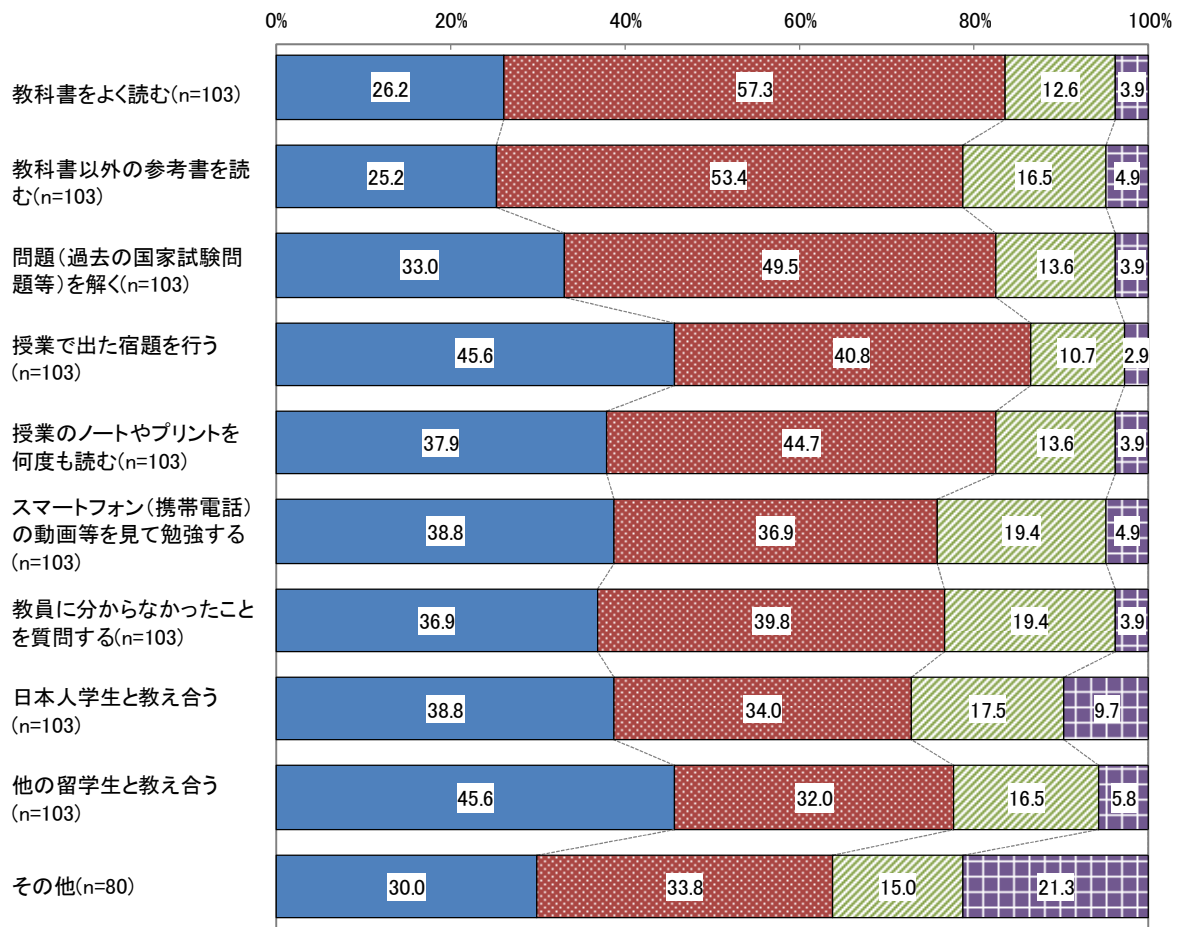
■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

#### 4. 介護の基本



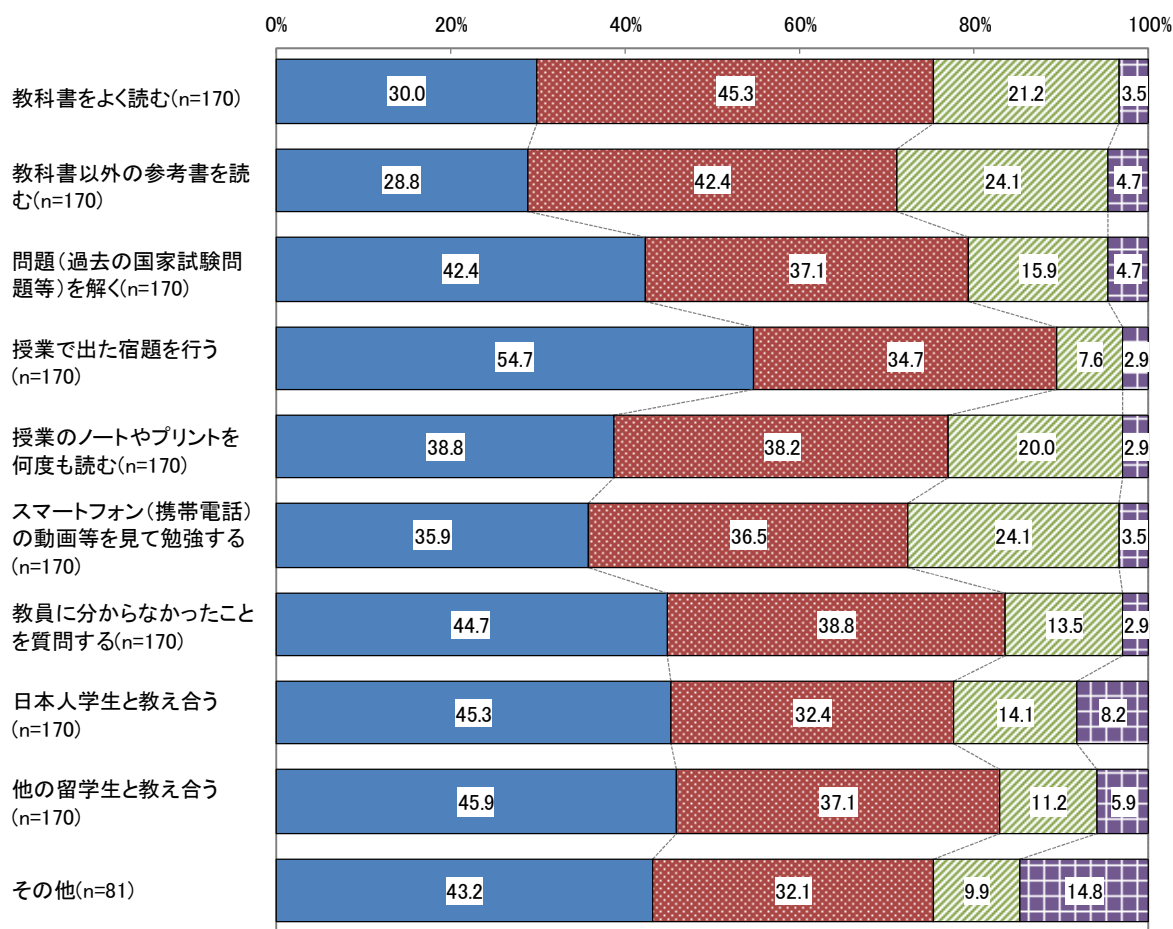
■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

## 5. コミュニケーション技術



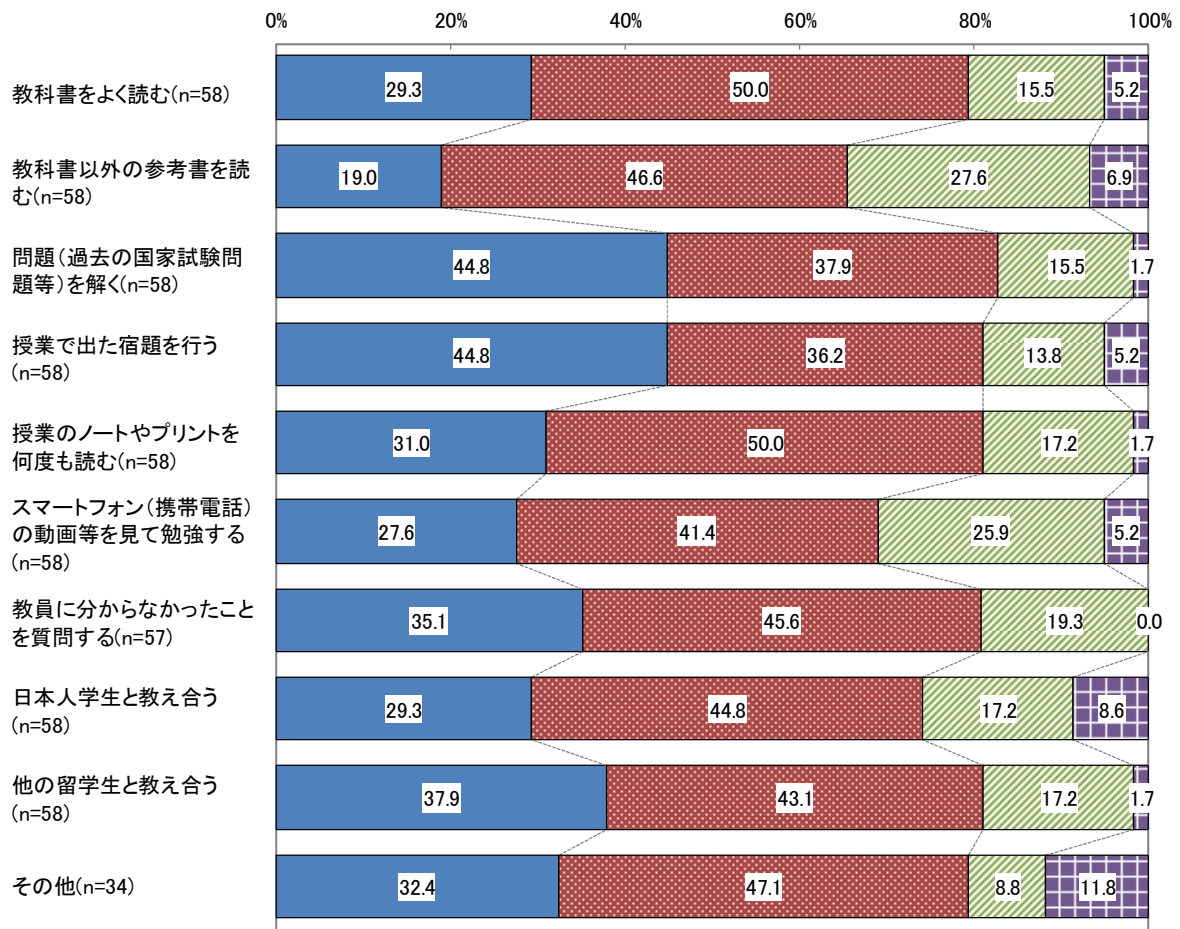
■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

## 6. 生活支援技術



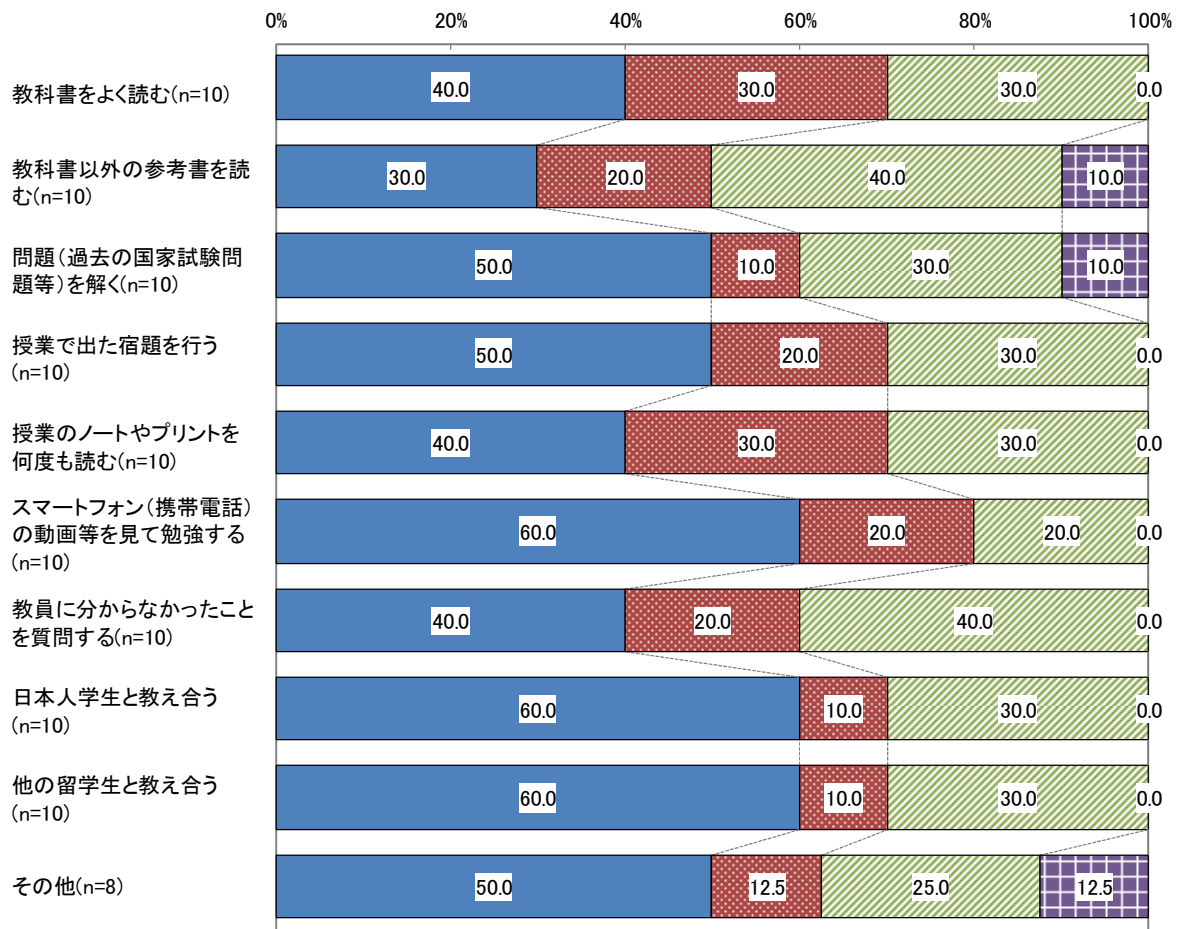
■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

## 7. 介護過程



■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

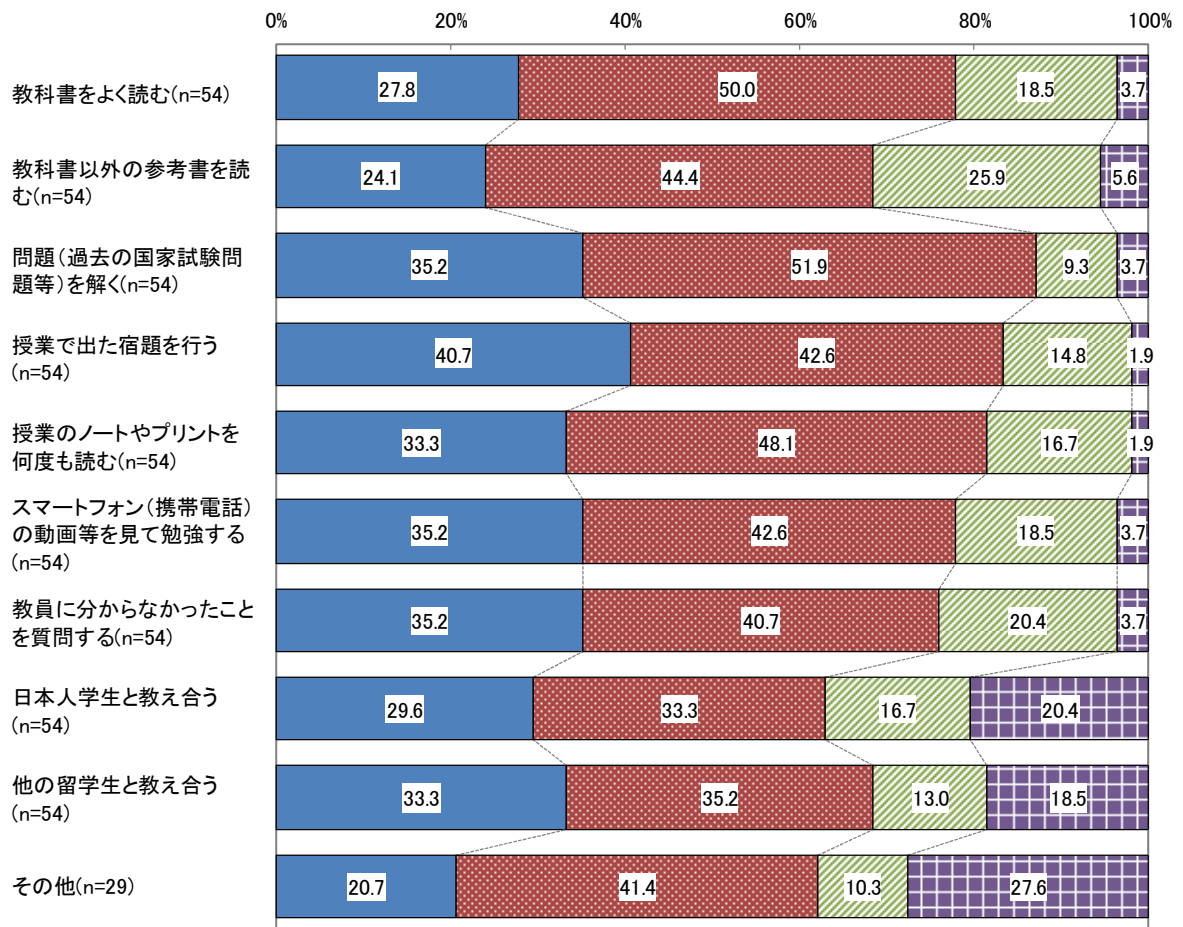
## 8. 発達と老化の理解



■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

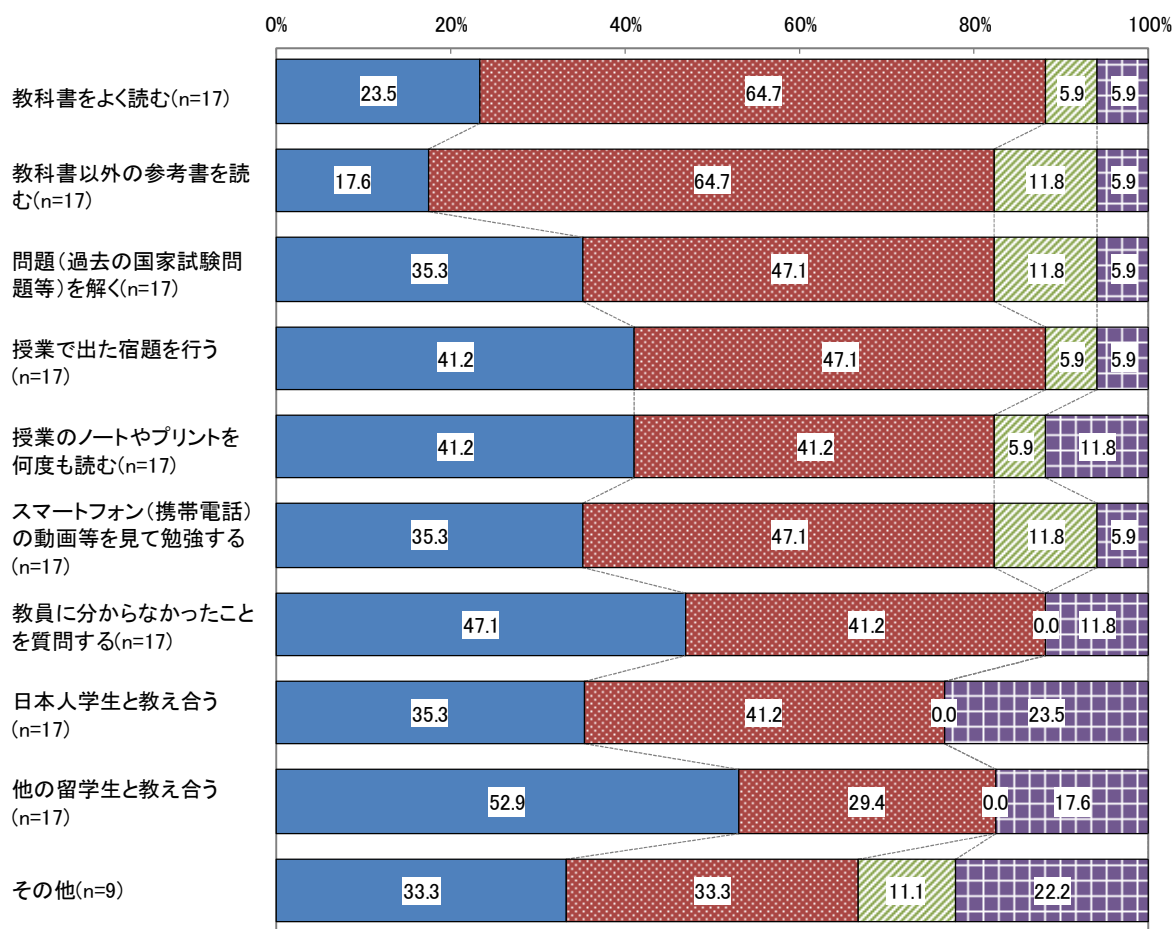


## 9. 認知症の理解



■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

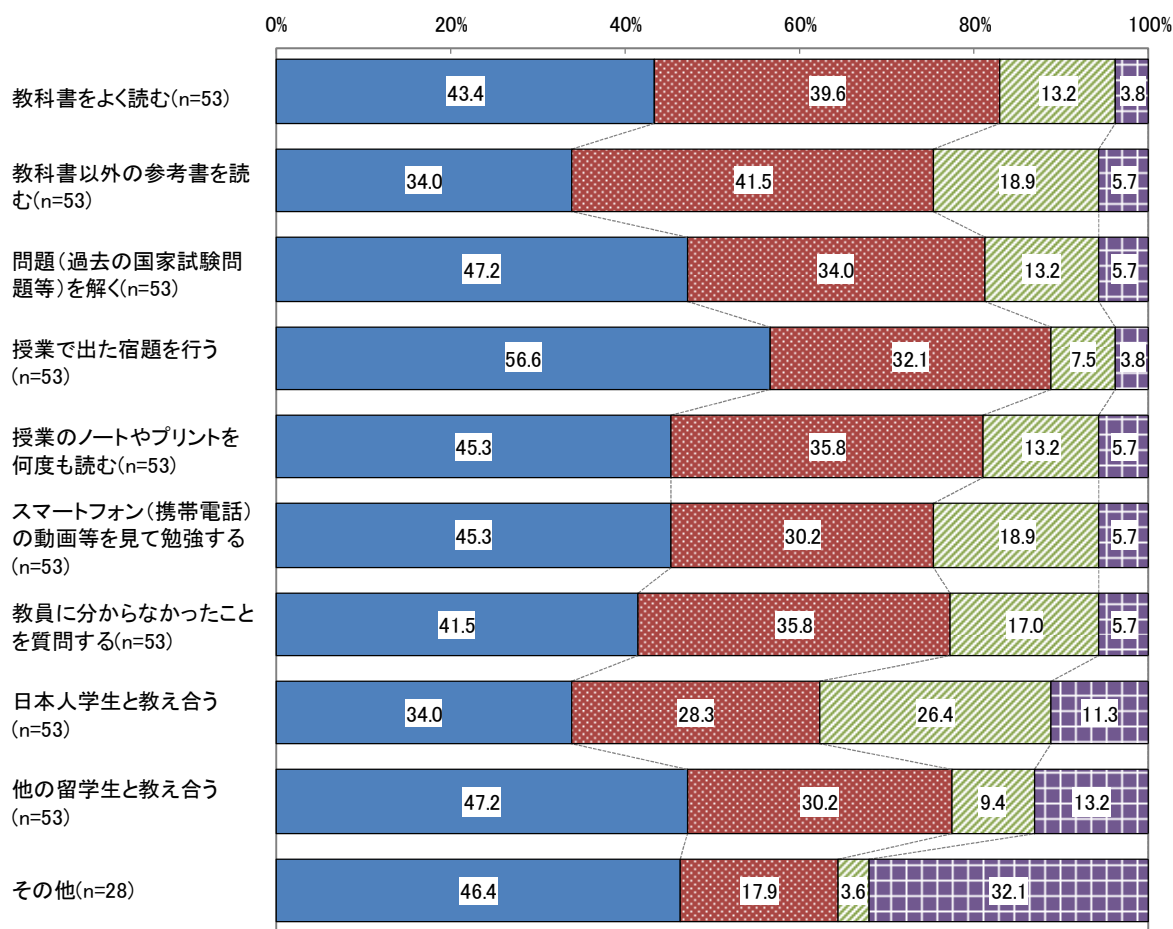
## 10. 障害の理解



■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

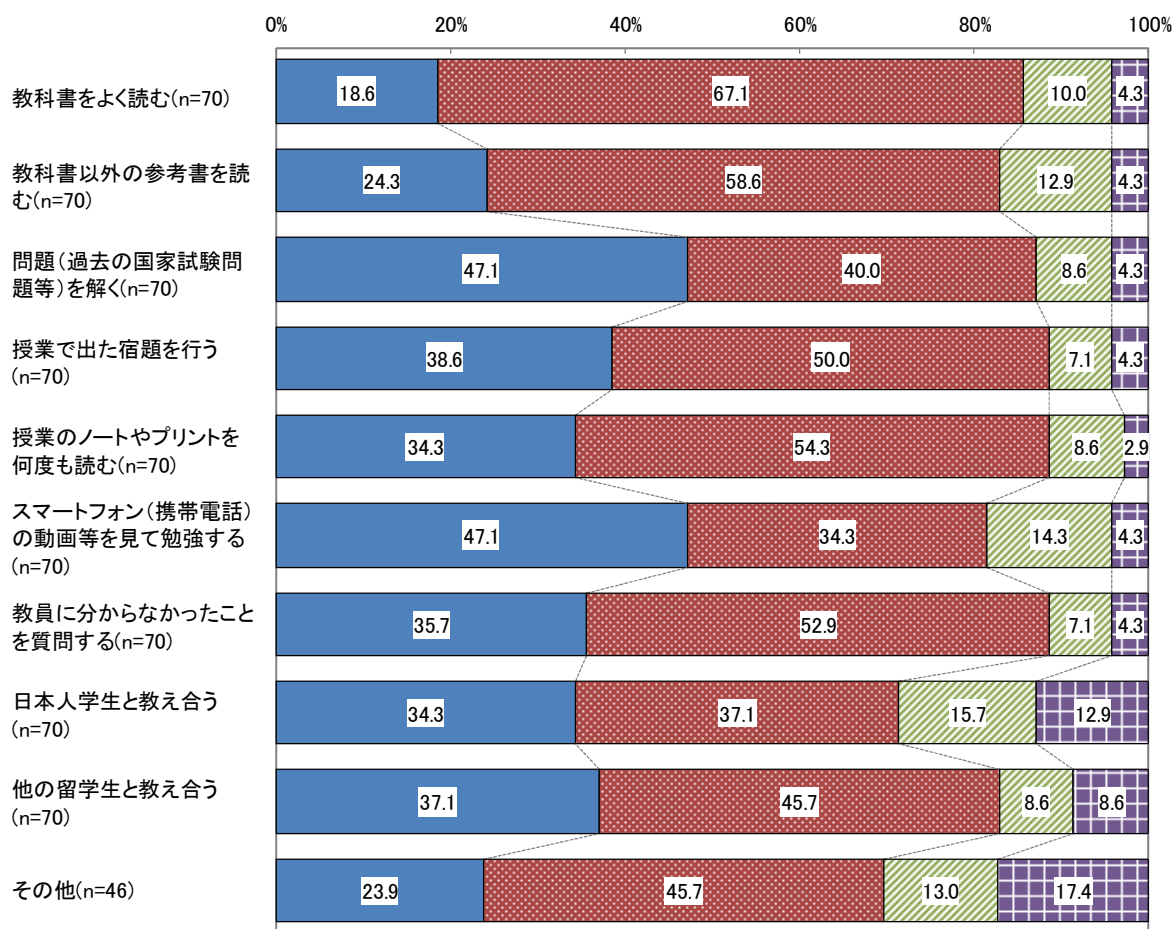


## 11. こととからだのしくみ



■ いつもしている     
 ■ どちらかといえばしている     
 ■ あまりしていない     
 ■ まったくしていない

## 12. 医療的ケア



■ いつもしている    
 ■ どちらかといえばしている    
 ■ あまりしていない    
 ■ まったくしていない

## (9)不得意科目、得意科目の理由 科目別比較

### ① 不得意科目の理由

- ・ 科目別に確認した不得意である理由について、あてはまる：3点、どちらかといえばあてはまる：2点、どちらかといえばあてはまらない：1点、あてはまらない：0点として各項目の点数を算出したところ、概ねどの科目についても「知らないことばかりだから」、「出てくる言葉が難しいから」が不得意の理由となる傾向が高くなっている。
- ・ 「介護の基本」、「人間関係とコミュニケーション」、「コミュニケーション技術」等の科目については、「勉強の仕方が分からない」が不得意である理由となる数値が高くなっている。また、「人間関係とコミュニケーション」については、いずれの項目においても不得意である理由となる傾向が高くなっている。

	①勉強の仕方が分からないから	②介護の仕事で役立つことが理解できないから	③内容が嫌い・面白いから	④知らないことばかりだから	⑤出てくる言葉が難しいから	⑥あまり勉強していないから	⑦その他	「その他」を除く全設問の平均値
人間の尊厳と自立	1.82	1.54	1.58	1.93	2.12	1.68	1.56	1.78
人間関係とコミュニケーション	2.00	2.05	2.15	2.05	2.15	2.15	2.14	2.09
社会の理解	1.72	1.55	1.67	2.11	2.21	1.58	1.39	1.81
介護の基本	2.24	1.84	2.03	1.95	2.08	2.00	1.92	2.01
コミュニケーション技術	1.94	1.56	1.63	1.88	2.13	1.63	1.27	1.79
生活支援技術	1.85	1.85	1.69	2.15	2.38	1.85	1.56	1.96
介護過程	1.78	1.37	1.37	1.67	1.85	1.78	1.50	1.64
発達と老化の理解	1.88	1.67	1.67	2.11	2.25	1.67	1.58	1.88
認知症の理解	1.78	1.83	1.78	2.22	2.30	1.78	1.44	1.95
障害の理解	1.77	1.77	1.66	1.97	1.77	1.74	1.73	1.78
こころとからだのしくみ	1.72	1.48	1.55	2.03	2.37	1.67	1.18	1.80
医療的ケア	1.75	1.75	1.68	2.00	2.24	1.71	1.39	1.85
平均	1.85	1.69	1.71	2.01	2.15	1.77	1.56	1.86

※設問・選択肢によってn数が異なるため、n数の表示はしていません

### ② 得意科目の理由

- ・ 科目別に確認した得意である理由について、あてはまる：3点、どちらかといえばあてはまる：2点、どちらかといえばあてはまらない：1点、あてはまらない：0点として各項目の点数を算出したところ、概ねどの科目についても「勉強の仕方が分かっているから」、「介護の仕事で役立つことが理解できるから」、「内容が好き・面白いから」が得意の理由となる傾向が高くなっている。
- ・ 「社会の理解」、「介護の基本」、「発達と老化の理解」の科目については、いずれの項目においても得意である理由となる数値が低くなっている。

	①勉強の仕方が分かっているから	②介護の仕事で役立つことが理解できるから	③内容が好き・面白いから	④すでに知っている内容だから	⑤出てくる言葉が理解しやすいから	⑥たくさん勉強したから	⑦その他	「その他」を除く全設問の平均値
人間の尊厳と自立	2.44	2.56	2.44	2.36	2.48	2.24	2.05	2.42
人間関係とコミュニケーション	2.33	2.45	2.33	2.03	2.24	2.06	1.83	2.24
社会の理解	1.96	2.22	2.04	1.91	1.87	1.78	2.06	1.96
介護の基本	2.06	2.00	1.89	1.77	1.69	2.06	1.53	1.91
コミュニケーション技術	2.50	2.57	2.51	2.35	2.42	2.08	1.76	2.40
生活支援技術	2.56	2.68	2.54	2.42	2.46	2.15	2.11	2.47
介護過程	2.43	2.47	2.43	2.24	2.40	2.16	2.19	2.35
発達と老化の理解	1.80	1.60	2.10	1.90	1.80	1.30	1.22	1.75
認知症の理解	2.35	2.31	2.43	2.13	2.07	2.09	1.81	2.23
障害の理解	2.41	2.47	2.47	2.29	2.18	2.24	2.00	2.34
こころとからだのしくみ	2.47	2.53	2.51	2.21	2.02	2.40	1.71	2.36
医療的ケア	2.39	2.36	2.40	2.13	2.07	2.09	1.84	2.24
平均	2.31	2.35	2.34	2.15	2.14	2.05	1.84	2.22

※設問・選択肢によってn数が異なるため、n数の表示はしていません

## (10) 最も不得意な科目、最も得意な科目の授業以外での勉強方法 科目別比較

### ① 最も不得意な科目の勉強方法

- ・ 科目別に確認した最も不得意である科目の勉強方法について、いつもしている：3点、どちらかといえばしている：2点、あまりしていない：1点、まったくしていない：0点として各項目の点数を算出したところ、概ねどの科目についても「授業で出た宿題をする」、「ほかの留学生と教え合う」等が取り組まれた傾向が高くなっている。
- ・ 「コミュニケーション技術」、「生活支援技術」等の科目については、「教科書をよく読む」が取り組まれた傾向が高くなっている。また、「コミュニケーション技術」、「認知症の理解」については、いずれの項目においても取り組まれた傾向が高くなっている。

	①教科書をよく読む	②教科書以外の参考書を読む	③問題(過去の国家試験問題等)を解く	④授業で出た宿題をする	⑤授業のノートやプリントを何度も読む	⑥スマートフォン(携帯電話)の動画等を見て勉強する	⑦教員に分からなかったことを質問する	⑧日本人学生と教え合う	⑨他の留学生と教え合う	⑩その他	「その他」を除く全設問の平均値
人間の尊厳と自立	1.74	1.75	2.04	2.18	2.09	1.98	1.93	1.89	2.19	1.88	1.98
人間関係とコミュニケーション	1.80	1.65	1.75	1.80	1.75	1.85	1.80	1.75	2.00	1.87	1.79
社会の理解	1.70	1.64	2.09	2.17	1.92	1.90	1.93	1.79	1.93	1.58	1.90
介護の基本	1.64	1.58	1.78	2.33	1.92	1.83	1.97	1.83	1.97	1.33	1.87
コミュニケーション技術	2.44	1.94	2.25	2.25	2.31	2.06	2.31	1.69	1.94	1.91	2.13
生活支援技術	2.00	1.62	2.00	2.38	2.00	1.92	1.92	2.08	2.15	1.56	2.01
介護過程	1.44	1.37	1.48	1.74	1.96	2.00	1.74	1.37	1.81	1.47	1.66
発達と老化の理解	1.84	1.80	1.95	2.41	1.98	1.98	2.11	2.13	2.27	1.97	2.05
認知症の理解	1.96	2.00	1.96	2.35	2.09	2.22	2.22	2.22	2.22	2.08	2.14
障害の理解	1.97	1.89	2.26	2.46	2.26	1.94	1.94	2.09	2.00	1.74	2.09
ころとからだのしくみ	1.83	1.67	1.97	1.97	1.85	2.10	2.00	1.90	1.98	1.61	1.92
医療的ケア	1.94	1.68	1.94	2.26	1.99	2.11	2.10	1.83	2.22	1.53	2.01
平均	1.86	1.72	1.96	2.19	2.01	1.99	2.00	1.88	2.06	1.71	1.96

※設問・選択肢によってn数が異なるため、n数の表示はしていません

### ② 最も得意な科目の勉強方法

- ・ 科目別に確認した最も得意である科目の勉強方法について、いつもしている：3点、どちらかといえばしている：2点、あまりしていない：1点、まったくしていない：0点として各項目の点数を算出したところ、概ねどの科目についても「授業で出た宿題をする」、「問題(過去の国家試験問題等)を解く」等が取り組まれた傾向が高くなっている。
- ・ 「人間の尊厳と自立」、「社会の理解」については、いずれの項目においても取り組まれた傾向が高くなっている。

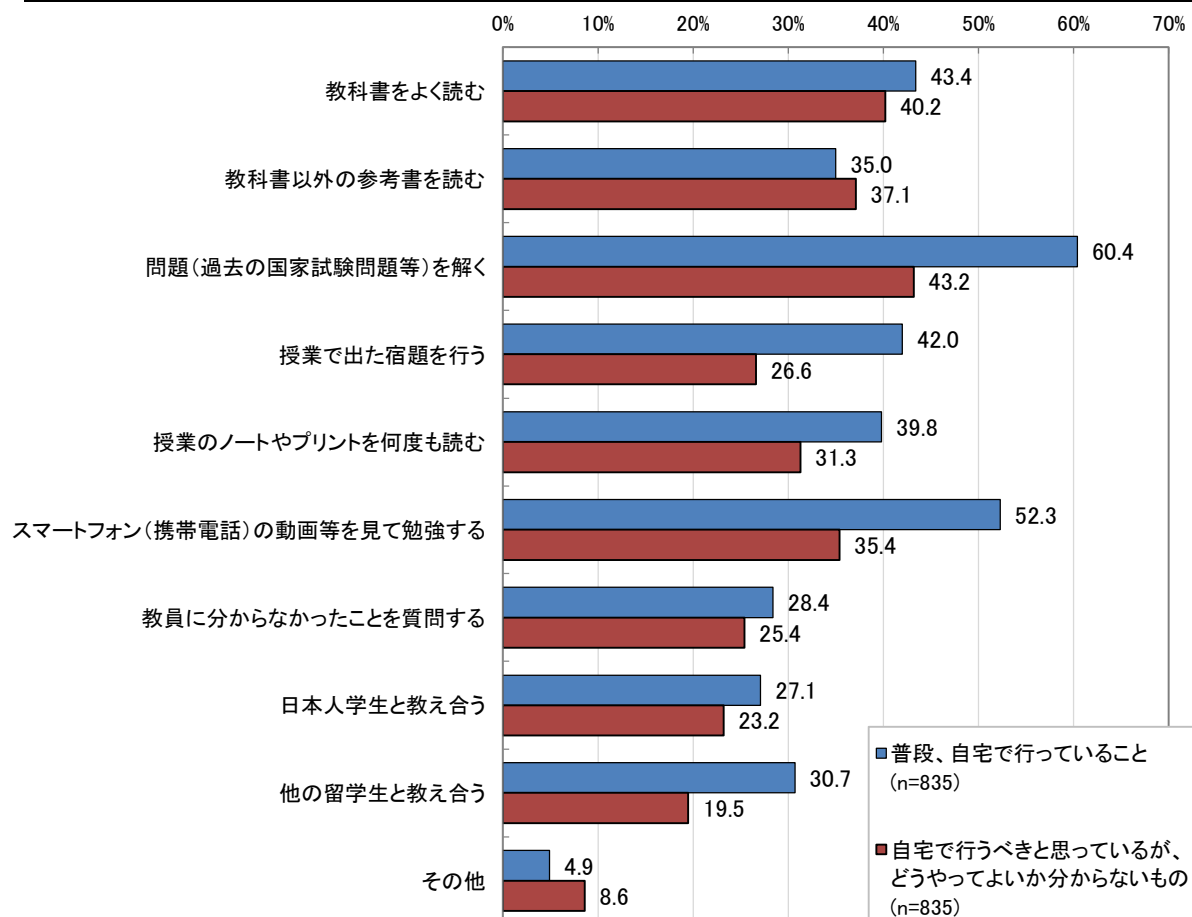
	①教科書をよく読む	②教科書以外の参考書を読む	③問題(過去の国家試験問題等)を解く	④授業で出た宿題をする	⑤授業のノートやプリントを何度も読む	⑥スマートフォン(携帯電話)の動画等を見て勉強する	⑦教員に分からなかったことを質問する	⑧日本人学生と教え合う	⑨他の留学生と教え合う	⑩その他	「その他」を除く全設問の平均値
人間の尊厳と自立	2.52	2.36	2.50	2.48	2.40	2.32	2.44	2.40	2.24	2.31	2.45
人間関係とコミュニケーション	1.94	1.87	2.16	2.09	1.97	2.10	2.01	1.67	1.96	1.80	1.98
社会の理解	2.00	2.00	2.26	2.35	2.22	2.22	2.30	2.17	2.26	2.18	2.20
介護の基本	1.86	1.74	1.74	2.06	1.94	1.80	1.77	1.60	1.91	1.78	1.83
コミュニケーション技術	2.06	1.99	2.12	2.29	2.17	2.10	2.10	2.02	2.17	1.73	2.11
生活支援技術	2.02	1.95	2.17	2.41	2.13	2.05	2.25	2.15	2.23	2.04	2.15
介護過程	2.03	1.78	2.26	2.21	2.10	1.91	2.16	1.95	2.17	2.00	2.08
発達と老化の理解	2.10	1.70	2.00	2.20	2.10	2.40	2.00	2.30	2.30	2.00	2.12
認知症の理解	2.02	1.87	2.19	2.22	2.13	2.09	2.07	1.72	1.83	1.55	2.02
障害の理解	2.06	1.94	2.12	2.24	2.12	2.12	2.24	1.88	2.18	1.78	2.10
ころとからだのしくみ	2.23	2.04	2.23	2.42	2.21	2.15	2.13	1.85	2.11	1.79	2.15
医療的ケア	2.00	2.03	2.30	2.23	2.20	2.24	2.20	1.93	2.11	1.76	2.14
平均	2.07	1.94	2.17	2.27	2.14	2.13	2.14	1.97	2.12	1.89	2.11

※設問・選択肢によってn数が異なるため、n数の表示はしていません

(11)2022 年度の国家試験への合格を目指した勉強の取組について

問 22 あなたが、2022 年度の国家試験への合格を目指し、普段“授業以外で”行っていることと、“自宅で”行うべきだとは思っているが、どうやってよいか分からないものは何ですか。(複数選択)

・ 普段授業以外で行っている事柄、および自宅で行うべきと思っているがどうやってよいか分からないもの、共に「問題（過去の国家試験問題等）を解く」がそれぞれ 60.4%、43.2%と最も高くなっている。自宅で行っていることとしては、「スマートフォン（携帯電話）の動画等を見て勉強する」が 52.3%と次いで高くなっている。



- 留学生の属性別に 2022 年度の国家試験への合格を目指した勉強の取組内容を見たところ、＜普段、授業以外で行っていること＞については、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生、介護分野の日本語の理解度が高い留学生、介護施設等でのアルバイト経験がある留学生、キャリアコミットメントが高い留学生、国試への合格意欲が高い留学生、勉強時間が長い留学生、授業の理解度が高い留学生において多くの項目が取り組まれている傾向にあった。
- ＜自宅でやるべきと思っているが、どうやってよいかわからないもの＞については、介護や看護の資格を持っており実務経験がある留学生、授業の理解度が高い留学生において多くの項目で該当する傾向が高く、介護について高い理解がある学生については、学習に対しての積極性が高いことがうかがえた。

＜普段、授業以外で行っていること＞

	n数	教科書をよく読む	教科書以外の参考書を読む	問題(過去の国家試験問題等)を解く	授業で出た宿題を行う	授業のノートやプリントを何度も読む	スマートフォン(携帯電話)の動画等を見て勉強する	教員に分からないことを質問する	日本人学生と教える合う	他の留学生と教える合う	その他	
全体	835	43.4	35.0	60.4	42.0	39.8	52.3	28.4	27.1	30.7	4.9	
介護や看護の資格の保持状況	資格を持っており実務経験有り	96	47.9	42.7	68.8	52.1	46.9	71.9	41.7	36.5	41.7	3.1
	資格を持っているが実務経験無し	47	36.2	38.3	61.7	27.7	34.0	46.8	25.5	27.7	31.9	8.5
資格なし	692	43.2	33.7	59.1	41.6	39.2	50.0	26.7	25.7	29.0	4.9	
日本語能力	325	41.5	39.4	68.9	46.5	39.1	51.1	28.0	29.5	31.1	2.8	
N2以上	510	44.5	32.2	54.9	39.2	40.2	53.1	28.6	25.5	30.4	6.3	
N2未満	166	42.2	39.8	73.5	44.0	38.0	50.0	33.1	33.7	34.3	2.4	
介護分野の日本語の理解度	高	603	44.3	35.0	58.7	43.0	40.6	54.4	28.0	26.4	30.3	5.0
	中	66	37.9	22.7	42.4	28.8	36.4	39.4	19.7	16.7	24.2	10.6
	低	646	46.0	36.8	63.6	44.9	42.4	53.9	31.1	28.8	32.8	5.1
アルバイト経験	189	34.4	28.6	49.2	32.3	30.7	47.1	19.0	21.2	23.3	4.2	
キャリアコミットメント(情緒的要素)	介護施設・事業所でのアルバイト経験有り	449	47.0	36.7	62.1	46.1	41.9	53.2	29.2	27.6	31.4	2.9
	介護施設・事業所でのアルバイト経験無し	288	44.1	35.4	61.1	38.9	42.4	53.5	29.5	28.5	32.3	7.3
	低	98	24.5	25.5	50.0	32.7	22.4	44.9	21.4	20.4	22.4	7.1
国試への合格意欲	601	45.8	37.4	65.7	45.8	42.6	54.9	31.6	29.5	34.1	3.8	
必ず合格したい	234	37.2	28.6	46.6	32.5	32.5	45.7	20.1	20.9	21.8	7.7	
勉強時間	上記以外	307	50.2	39.4	64.2	45.0	43.3	53.4	29.6	27.0	28.7	4.9
	日平均2 時間以上	349	43.8	36.1	61.0	44.7	43.6	55.6	28.9	29.5	33.0	5.2
	日平均1 時間以上2 時間未満	179	30.7	25.1	52.5	31.8	26.3	44.1	25.1	22.3	29.6	4.5
日平均1 時間未満	232	52.6	44.0	72.8	49.1	45.3	50.9	37.9	33.2	34.9	4.3	
授業の理解度	603	39.8	31.5	55.6	39.3	37.6	52.9	24.7	24.7	29.0	5.1	
よく分かる												
上位以外												

＜自宅でやるべきと思っているが、どうやってよいかわからないもの＞

	n数	教科書をよく読む	教科書以外の参考書を読む	問題(過去の国家試験問題等)を解く	授業で出た宿題を行う	授業のノートやプリントを何度も読む	スマートフォン(携帯電話)の動画等を見て勉強する	教員に分からないことを質問する	日本人学生と教える合う	他の留学生と教える合う	その他	
全体	835	40.2	37.1	43.2	26.6	31.3	35.4	25.4	23.2	19.5	8.6	
介護や看護の資格の保持状況	資格を持っており実務経験有り	96	47.9	51.0	51.0	34.4	49.0	40.6	38.5	29.2	31.3	6.3
	資格を持っているが実務経験無し	47	31.9	36.2	44.7	25.5	25.5	27.7	36.2	27.7	17.0	12.8
資格なし	692	39.7	35.3	42.1	25.6	29.2	35.3	22.8	22.1	18.1	8.7	
介護分野の日本語の理解度	高	166	42.2	41.6	42.2	24.7	30.7	33.1	24.7	24.7	21.7	7.2
	中	603	40.6	36.8	44.1	28.0	33.2	36.5	26.0	23.1	18.2	8.6
	低	66	31.8	28.8	37.9	18.2	15.2	31.8	21.2	21.2	25.8	12.1
アルバイト経験	646	40.7	39.5	44.9	27.9	32.2	35.1	26.3	24.1	21.5	9.6	
介護施設・事業所でのアルバイト経験有り	189	38.6	29.1	37.6	22.2	28.0	36.5	22.2	20.1	12.7	5.3	
介護施設・事業所でのアルバイト経験無し	449	43.7	39.4	45.0	29.2	34.1	38.5	28.7	25.4	21.6	7.1	
キャリアコミットメント(情緒的要素)	高	288	37.8	35.4	43.1	23.6	28.8	33.7	21.2	19.9	19.4	9.0
	中	98	31.6	31.6	35.7	23.5	25.5	26.5	22.4	17.3	10.2	14.3
	低	601	42.4	39.9	46.9	28.5	32.8	36.4	27.1	25.3	21.3	8.3
国試への合格意欲	234	34.6	29.9	33.8	21.8	27.4	32.9	20.9	17.9	15.0	9.4	
必ず合格したい	307	39.7	36.5	47.2	29.6	33.2	38.8	25.7	23.1	18.9	8.5	
勉強時間	上記以外	349	39.0	39.5	42.7	25.2	28.7	36.4	26.1	25.5	18.6	8.6
	日平均2 時間以上	179	43.6	33.5	37.4	24.0	33.0	27.9	23.5	19.0	22.3	8.9
	日平均1 時間以上2 時間未満	232	45.3	40.1	48.3	28.4	34.5	43.1	27.2	28.4	22.4	9.5
日平均1 時間未満	603	38.3	36.0	41.3	25.9	30.0	32.5	24.7	21.2	18.4	8.3	
よく分かる												
上位以外												

### 第3章 「ガイドライン」改訂に関するアンケート調査の 実施・検討

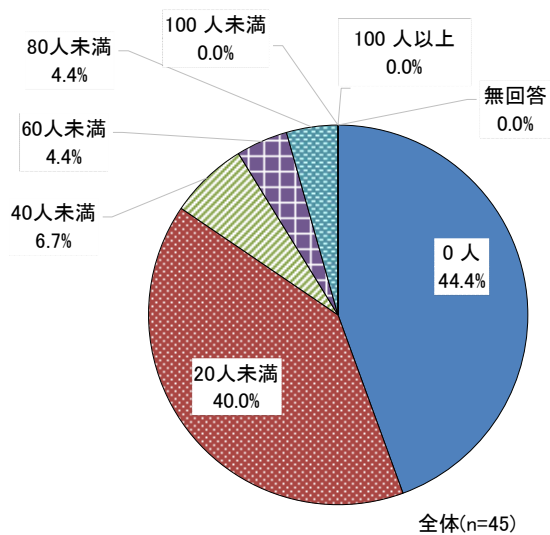


# 1. 回答者基礎情報

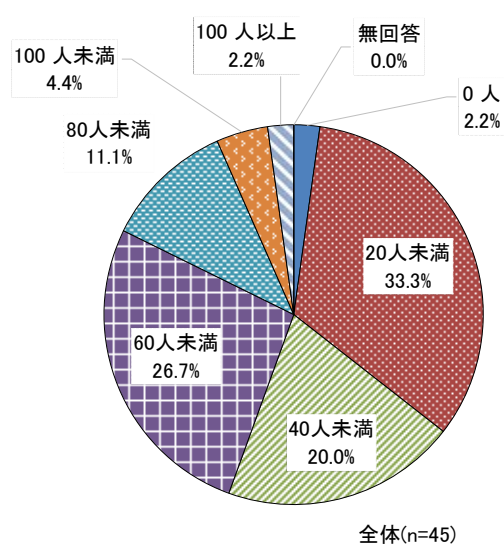
## (1) 回答者について

回収数:45 票

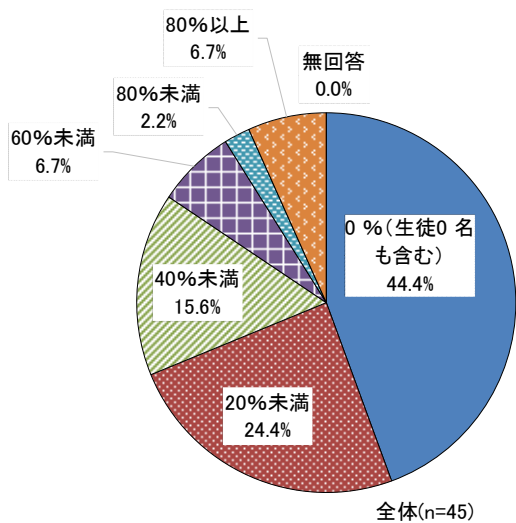
留学生の人数



学生数(日本人学生数と留学生数の合計)



留学生の割合

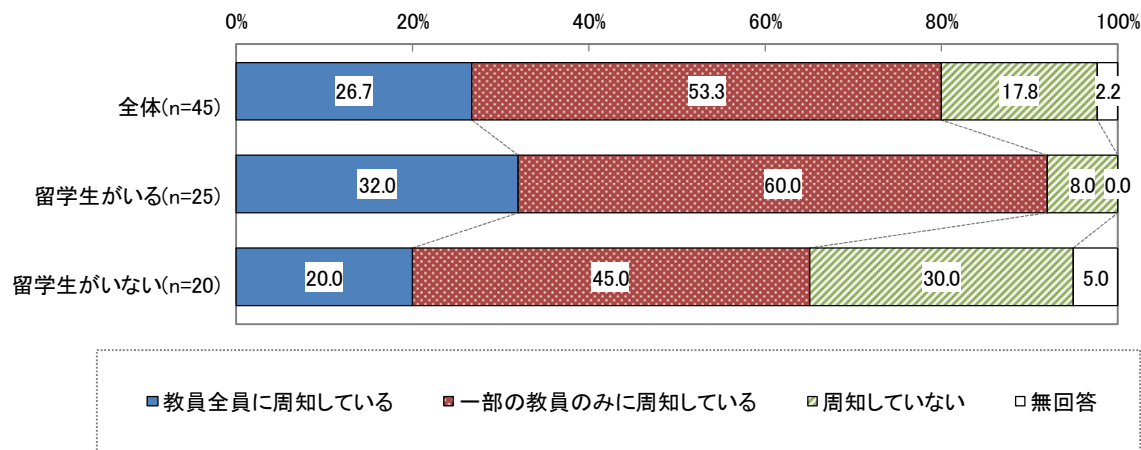




## (2) 冊子の周知状況

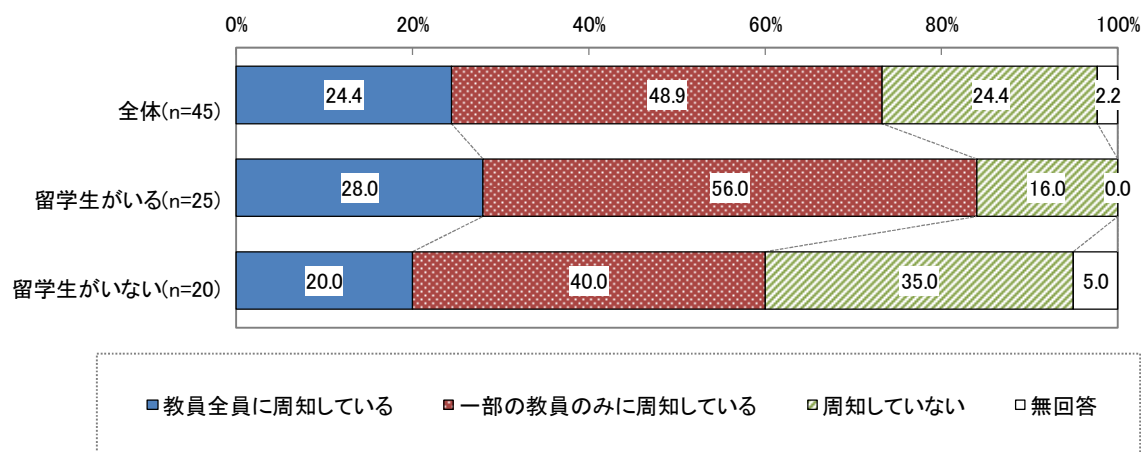
### Q5.「留学生指導についてのガイドライン」(青色、養成校向け冊子)の周知状況

- ・ 全体では、『周知している(計)』(80.0%)【「教員全員に周知している」(26.7%)+「一部の教員だけに周知している」(53.3%)を合算】となっている。
- ・ 留学生がいる学校では、『周知している(計)』(92.0%)となっており、『留学生がいらない』では、65.0%であった。



### Q6.「留学生指導についての指導のポイント」(ピンク色、養成校教員向け冊子)の周知状況

- ・ 全体では、「教員に周知している(計)」(73.3%)【「教員全員に周知している」(24.4%)+「一部の教員だけに周知している」(48.9%)を合算】となっている。
- ・ 『留学生がいる』では、「教員に周知している(計)」(84.0%)となっており、『留学生がいらない』では、60.0%であった。



## 2. ガイドライン修正要望について

以下、本年度の養成校調査の回答結果を記載した。当該の回答結果および本年の留学生調査、また、以前からのガイドラインの修正すべき点について、検討委員会にて確認を行った。その結果を受けて要望に応じて追加した項目については、3. ガイドライン修正要望のまとめに記載している。

### (1) 国家試験の得点別に見た留学生の特徴と対応

#### ●国家試験の科目別に見た留学生の特徴

##### <留学生がいる学校からの回答>

国家試験対策授業の準備や授業のなかで活用している
留学生への個別指導の際に、各教員の判断で活用している。
常勤教員と、留学生支援員、日本語授業担当者(非常勤)に回覧し、周知している。
授業案等の作成において資源としている。
授業の進め方、国家試験対策として指導の参考になっている。
必要に応じて必要な個所を参考になっている

##### <留学生がない学校からの回答>

受け入れ実績がないため今後受け入れる際に活用したい。
昨年まで、留学生2名が在籍していたので活用した。
指導の必要時に参考とし、その内容を共有した。
本学は保育学科の専攻科という位置づけにあり、入学には保育士資格を条件としております。このため、現時点では留学生の入学を想定しておらず、教員への周知にとどまっています。

#### ●国家試験の問題分類別に見た留学生の特徴

##### <留学生がいる学校からの回答>

苦手科目は留学生それぞれです。むしろ、知らない日本語がある設問については、日本人学生のほとんどが正解するような易しい問題でも間違えます。ベトナム人はお風呂に浸かる文化が無いらしく、「のぼせる」ということの意味を理解するのに苦労していました。日本文化の学習が国試の点数に影響すると思います。
--

##### <留学生がない学校からの回答>

冊子がありますが、活用できていないため、アンケートにお答えできなくて申し訳ございません。もし、該当者が入学しましたら、活用させていただきます。
科目別の傾向が分かりやすく必要な情報であると思います。内容についても良いと思います。改定の希望は特にありません。
留学生、日本人との得点率一覧があり、どのような科目の得点率が低いかわかるので、とても良いと思います。

## ●国家試験の日本語の理解しにくいポイント別に見た留学生の特徴

### <留学生がいる学校からの回答>

「介護のやり方の理解」:学校で習ったこと、実習先、アルバイト先での介護のやり方が違うことについて、「やり方」の「根拠」を理解することができるような学習が必要だと思います。この内容を加味頂ければありがたいです。

### <留学生がいない学校からの回答>

問題の分類についての視点は試験対策の上では取り掛かりやすいものは何かの傾向が分かるので、今後の試験対策をしていく上において、非常に参考になりました。改定の希望は特にありません。

留学生が理解できない傾向にある用語などが具体的にないと良いのではないかと思います。

## ●試験結果から見た留学生の特徴と対応

### <留学生がいる学校からの回答>

高得点の留学生の特徴 最終学歴が「大卒以上」となっていますが、当校で80%以上得点し、国試合格した学生の中には、最終学歴が「短大・専門学校」、「高卒」もあります。「大卒以上」と断定しないような記述が望まれません。

日本語力に比例して点数がよくなっている印象があります。

低得点の留学生の特徴について、「合格への意欲は低い」の理由や、勉強時間では学習内容・学習方法も追記してあるとわかりやすい。また、意欲が低い理由を理解しどのように留学生の意欲を高めているか事例なども詳しく知りたい。

### <留学生がいない学校からの回答>

モデルとして示されているため、イメージがしやすかったです。3層に分かれている分布の中で、最も多い層のモデルがもう1つ、2つほどあるとさらに助かると思いました。

非常に分かりやすくまとめられていると思います。

## (2) 国家試験に向けて養成校に求められる対応

### ●留学生の学習支援

#### <留学生がいる学校からの回答>

本校では授業前の30分、留学生を個別に指導しています。一問一答等、問題文を音読してもらい、問題文のわからない単語についても教えています。

大変参考になっています。

#### <留学生がいない学校からの回答>

この項は、科目別に分けられ、表にしてあるため分かりやすくまとめられている内容でした。改定の希望は特にありません。

p24 養成校の行う国試対策で想定される国家試験対策のフローがありますが、参考としていくつか養成校の取組みを紹介されてはどうかと思います。P25 にありますがもう少し養成校数を取り上げてもよいかと思います。留学生の合格率が高い養成校の取組みを中心とした報告がございましたら大変、参考になるかと思います。

## ●留学生の学習環境の整備

### <留学生がいる学校からの回答>

文化や習慣の違いがあることは、承知の上で受け入れをしています。留学生の多い主要国や信仰されている宗教の特徴や、学校側が事前に確保しなくて位はいけない、設備や、お祈り等の頻度や時間帯など具体的な内容にしてほしい

学習環境については日本人と差別化をしていることはありません。

関係諸機関の問い合わせ窓口などを掲載していただけると、より便利になると思います。

### <留学生がいない学校からの回答>

生活に関するあらゆる側面のことに触れられているので、留学生の学習意欲、生活状況の変化が現れた際、これらの項目になぞらえてアセスメントできると感じました。もしページ数の余力、あるいは支援経過の情報開示のご理解が得られる場合には、具体的な事例等があると、実際の教育支援の際のヒントになるかと感じました。

ほとんどの留学生がアルバイトをしているかと思います。学習環境や生活環境が分かるので、とても理解しやすいと思います。

## ●養成校での留学生指導についてのまとめ

### <留学生がいる学校からの回答>

留学生の指導に関しては日本の学生がいれば、巻き込んで勉強を教えれば相乗効果になる。日本の学生も教えることができ、どのように伝えたら分かりやすいかを考えることができ、お互いに目的意識を持って望める。(ただし、成績上位の学生と一緒にいる必要がある)

今後の留学生指導のヒントにしたいので高得点の養成校の特徴について、もう少し詳しく紹介してもらえると良いと思う。日本語学科のある学校では、日本語学科から介護に進学するためにどんなことを取り入れて学習しているのか、あるいは学習過程などの事例等紹介してもらいたい。

理解度は日本人よりもだいぶ良いため、一つ一つを丁寧に指導していくと、成績はグンと上がります。

### <留学生がいない学校からの回答>

留学生の状況によっても違うと思いますが、留学生の合格者を多く出している養成校の傾向について日本語教育を学ぶ前段階で実施しているところ、あるいは、日本語力に応じて何層かにクラスを分けるなど、さまざまな教育支援を行っていると思います。そのため日本語学習の運用方法等のデータ取り組みの実践事例等の情報がありましたら、ご提示頂けると助かります。

高得点の養成校の特徴についてまとめられているのはとても参考になります。

### (3) 国家試験で使用される日本語を理解する

#### ●国家試験で登場する日本語を理解する

##### <留学生がいる学校からの回答>

第Ⅲ章のような実践的な内容が大変参考になります。改訂版ではさらに充実して頂けるとありがたいです。

国家試験で登場する日本語を学習し理解するために実際に活用している参考書、辞書、テキストなど、推薦する書籍があれば紹介してほしい。

わからない単語は面倒でも一つ一つ調べておぼえる。

例をもっと増やしてほしい

##### <留学生がいない学校からの回答>

介護福祉士国家試験独特の難解性について、日本人学生の中でも読み間違え、捉え違いなどもあるかと思えます。もしそのようなデータがあったらそれらについて触れて頂けるとヒントになるのではないかと思います。

非常に分かりやすくまとめられていると思います。

#### ●介護福祉士国家試験に必要な日本語力

##### <留学生がいる学校からの回答>

日本独自の文化を学習することが必須。

例をもっと増やしてほしい

##### <留学生がいない学校からの回答>

日本語の難解性については、(3) 語彙についてと漢字との関連がとても多いのではないかと考えております。漢字の音読み・訓読みの難しさがある場合、漢字そのものの意味を解説すると理解が早いこともありました。その際に説明を行う場合でも日本語力の影響が多いと感じています。そのため漢字の理解が出来ることによって同じ漢字を使う言葉の意味を関連づけて学習することが出来ると思えます。その意味でも漢字のことについて多くを割いているため、非常に良いと感じました。改定の希望は特にありません。

非常に分かりやすくまとめられていると思います。

#### ●介護専門学習をしながら、どう国家試験に対応できる日本語力をつけていくか

##### <留学生がいる学校からの回答>

国家試験に頻出する言葉 日常生活では使用しない ～まれ である、～を避ける、尋ねる、なかなか、など

例をもっと増やしてほしい

日本人の学生と積極的にコミュニケーションをとることが日本語上達に欠かせない。複数の留学生がいると、同郷の人同士、母国語で話してしまうため、日本語が上達しない。

##### <留学生がいない学校からの回答>

非常に分かりやすくまとめられていると思います。

●まとめ:「国家試験で使用される日本語を理解する」とは

<留学生がいる学校からの回答>

国家試験に関係なく、日本語に触れる機会を増やすことが何よりの勉強であると思う。

<留学生がいない学校からの回答>

具体的な例に基づき、文法の難しさに触れられており分かりやすく感じました。改定の希望は特にありません。

非常に分かりやすくまとめられていると思います。

### 3. ガイドライン修正要望のまとめ

以下、ガイドライン改訂版に向けた修正を行った箇所について、各章ごとにまとめた。

#### (1) 国家試験の得点別に見た留学生の特徴と対応

●国家試験の科目別に見た留学生の特徴

<修正要望に対する対応>

・特になし

●国家試験の問題分類別に見た留学生の特徴

<修正要望に対する対応>

・統計分析の結果から記載している箇所のため内容自体の修正は不可。

●国家試験の日本語の理解しにくいポイント別に見た留学生の特徴

<修正要望に対する対応>

・統計分析の結果から記載している箇所のため内容自体の修正は不可。

・やり方の根拠、用語等については、Ⅲ章部分で追加予定。

●試験結果から見た留学生の特徴と対応

<修正要望に対する対応>

・統計分析の結果から記載している箇所のため、新たなモデルの追加は不可。

・ヒアリング結果等を踏まえ、高得点の留学生の特徴の中に、学習の方法は追記。

(高得点の留学生は国試対策をたくさん取り組んでいる等々)

## (2) 国家試験に向けて養成校に求められる対応

### ●留学生の学習支援

#### <修正要望に対する対応>

- ・ (2)「②養成校で行う日本語学習についてのサポート」の中で日本語教員との連携に関する内容を追記。
- ・ 同じく(2)②の中で教員が指導する際の日本語の使用方法についての参考箇所を新挿入。
- ・ 「一口メモ:各養成校の国家試験対策」の中に、日本語と国試対策を組み合わせた補講の事例を追記。

### ●留学生の学習環境の整備

#### <修正要望に対する対応>

- ・ 文化や習慣の違いは、留学生の個別事情も多分に影響があり、個別に検討していく必要がある旨を追記。
- ・ 各種問い合わせ先、参考サイト等は巻末で記載できるよう追記。

### ●養成校での留学生指導についてのまとめ

#### <修正要望に対する対応>

- ・ 高得点の養成校の特徴については、I-4. の中で追記。
- ・ 日本語学習の方法等の情報は、III.前文に国試の誤回答理由やその分析についての記載箇所を追記。

## (3) 国家試験で使用される日本語を理解する

### ●国家試験で登場する日本語を理解する

#### <修正要望に対する対応>

- ・ 参考資料などの紹介は、巻末部分に学習の際に参考となるHP等の情報として追記。
- ・ 例については、III-3. の中で、漢字語彙を類推した例・語彙の捉え方の例等で、追記。

### ●介護福祉士国家試験に必要な日本語力

#### <修正要望に対する対応>

- ・ 上記と同じく、例についてはIII-3. の中で、適宜追記。

### ●介護専門学習をしながら、どう国家試験に対応できる日本語力をつけていくか

#### <修正要望に対する対応>

- ・ 内容の充実や例追加の要望があり、第33・34回国試の内容からも追記。

### ●まとめ:「国家試験で使用される日本語を理解する」とは

#### <修正要望に対する対応>

- ・ 特になし。





## 第4章 「ガイドライン」改訂版の作成

## 1. 「ガイドライン(改訂版)」作成の趣旨

当協会では、全国にある会員校に向けて、令和 2 年度作成の「ガイドライン」を配布し、その活用を促してきた。同時に、当協会で開催されている全国介護教員研修会や各地方ブロックで開催されている教員研修会などで、「ガイドライン」の周知に努めてきた。

翌令和 3 年度事業に作成した「指導のポイント」は、介護教員がより具体的に日ごろの授業などで改善できる指導の在り方などをまとめたもので、同様に、全会員校へ配布をして、その活用を促してきた。この 2 冊の成果物を基に、この間に開催された各種委員会や研修会などでは、新たな留学生に向けた指導に関する知見が集積されてきた経緯がある。

3 年目を迎えた当該事業では、こうした時間をかけて集められた知見とともに、全会員校に向けて再度「ガイドライン」の活用状況とアンケートを実施して要望を取り入れる形で、内容をより充実させた「ガイドライン」(改訂版)を作成することとなった。

会員校はもとより、外国人介護人材に関わる多くの介護教員あるいは介護施設職員の方々に、本「ガイドライン(改訂版)」を活用いただくことで、外国人介護人材の質向上に寄与できることを願っている。

## 2. 「ガイドライン(改訂版)」の主な項目

この「ガイドライン(改訂版)」の読者対象は養成校向けで、とりわけ、留学生が国家試験に対して困難だと感じている部分を明らかにしており、それらに対して、学校全体で取り組むべき方策などを紹介している。その別冊として、教員を対象に日ごろの授業改善に役立つ「指導のポイント」、留学生を対象に介護福祉士になるための「学習ハンドブック」がある。この 2 冊と合わせて 3 部作となっていることで、養成校の運営上の工夫については「ガイドライン(改訂版)」を、介護教員の教育方法については「指導のポイント」を、そして、実際に学習を進めていく留学生については「ハンドブック」を活用することができるようになった。それぞれが国家試験に向けた取組を進めていくことで、学習環境が整い、教える側・学ぶ側相互の関係が向上していくことが見込まれる。

今回改訂された「ガイドライン(改訂版)」は、令和 2 年度作成からの内容を見直し、バージョンアップすることができた。その主な項目としては、介護教員と日本語教員との連携が重要であり、国や文化の違いは一定あるものの個性への配慮も必要である点について追加の記載をした。また、本年度事業で実施したアンケートより特に要望の多かった国家試験に頻出される言葉などの例を、第 33・34 回国家試験のなかからも追加することができた。

本書は、外国人介護人材の質向上に向けて日々指導にご尽力いただいている養成校・介護教員ならびに関連する皆様にとって、その受入や指導の方針等を検討する際の一助となることを願って作成した。



介養協  
令和 2 年度事業



令和 4 年 3 月  
介養協  
令和 3 年度事業



介養協  
令和 4 年度事業

※「ガイドライン(改訂版)」「指導のポイント」「学習ハンドブック」本体は、本報告書別冊を参照ください

※「学習ハンドブック」の作成趣旨及び項目についての記載は、次章 第 5 章に詳しく記載しています

## 第5章 「留学生のための学習ハンドブック」の作成

## 1. 学習ハンドブックの作成趣旨

当協会では、全国にある養成校に向けて作成した令和 2 年度事業の「学生指導についてのガイドライン」と、介護教員に向けて作成した令和 3 年度事業の「指導のポイント」があり、これまで、全国にある養成校へ配布を実施し、その活用を促してきた。

3 年目を迎えた本事業では、国家試験を実際に臨む留学生に向けて学習の方法などを紹介する「学習ハンドブック」を作成した。これにより、受け入れ側・教える側に求められる指導上のノウハウだけでなく、学ぶ側に求められる学習上のノウハウを 1 つにまとめることができた。とりわけ、平易で、読みやすく分かりやすい日本語で、「留学生のための学習ハンドブック」を作成することができた。

こうした 3 部作形式をとることができたのは、大変有意義なことである。何故なら、これまでの当該研究事業で明らかになってきたこととして、長い時間をかけて勉強しているのに成果が表れにくい留学生がいたり、熱心に教えている教員の内容が留学生にとっては難解で理解し難い現状が明らかとなったからである。こうした両者の苦労の原因を考察・検討し、どのような工夫を行えば、効率よく学習が進んでいけるのかについて、本書ではお示しすることができた。

本書は、留学生だけでなく、今後増加が見込まれている特定技能なども含めた外国人介護人材全体の質の向上が図れるよう、本学習ハンドブックが活用されることを願っている。

## 2. 学習ハンドブックの項目

「学習ハンドブック」には、実際に現役合格を果たして元留学生からのメッセージを多く記載している。とりわけ、「合格体験記」は、入学時から合格までの過程をわかりやすく記載しており、2 年時進級時にはあまり点数が振るわなかった学生も、そこから奮起して学力を向上させていったことがよくわかる内容となっている。それ以外にも、実際に経験をした学習方法をコラムとして挟み込むことで、対象者が読みやすい工夫を行った。

本書の流れとしては、まず「日本の介護とは何か」を解説し、次に「養成校での授業での学び方」を紹介し、最後に、「日本語で介護を学ぶこと」について、それぞれ項目を立て、解説をしている。全体を通して、高度で難解な学習をするというよりは日ごろの授業をよく理解すること、疑問は残さず一つずつ解決していくこと、基本的な問題を繰り返し行うことなど、基礎学習の大切さを説く内容となっている。本書は、国家資格取得に向けて、当事者である留学生に対して、学校や実習での取り組み方や試験対策の方法を記載することで、自己学習の大切さを促す内容となっている。これらの内容が、日々留学生への指導にご尽力いただいている教員(講師)の皆様にとっても、指導の方針、見直し等を検討する際の一助となることを願って、作成した。

学習ハンドブックの構成内容

章	内容
I. 日本で介護を学ぶにあたって (P9～P13)	★「日本の介護」と「介護の学校で勉強する意味」など★ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少しやる気が出ないと感じる時 ⇒GO!</li> <li>・ 入学した日の気持ちを忘れてしまいそうとき ⇒GO!</li> </ul>
II. 介護の学校の授業での学び方 (P14～P24)	★「授業の特徴」や「授業態度」など★ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苦手な科目がある人へ ⇒GO!</li> </ul>
III. 授業以外での学習方法について (P25～P29)	★「教科書などの使い方」や「試験勉強の方法」など★ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間を上手に使って勉強の方法を知りたい人 ⇒GO!</li> </ul>
IV. 日本語で介護を学ぶということ — 一国試に向けた日本語の理解 — (P30～P35)	★国家試験に特化した日本語★ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家試験の問題がうまく読めないと感じている人 ⇒GO!</li> <li>・ 日本語力を↑して、合格したい人 ⇒GO!</li> </ul>

付属資料

## 資料1: 留学生アンケート調査票

調査票サンプル: ご回答はWEBからお願いします

令和4年11月 (調査B: 留学生票)

厚生労働省 老人保健健康増進等事業  
「外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業」

### 養成校に所属する留学生の自己学習に関する アンケート調査

#### 【本調査の目的】

日本全国の介護福祉士養成施設(以下、学校)で勉強している外国人留学生(以下、留学生)は、年々増えてきています。その数は、現在、約2,000人となっています。

介護福祉士になるための学校で勉強している学生は、全員、その国家試験に合格することが望ましいです。しかしながら、留学生のみなさんが日本語で試験を受けることは、大変な努力が必要なことも、当然です。

今回のアンケートは、留学生のみなさんが、国家試験に合格するために必要なことは何かを明らかにするための調査です。そのため、みなさんの基本属性や介護施設等でのアルバイト経験の有無、授業に対する自習方法等を質問しています。

このアンケートの結果をもとに、留学生のみなさんが、介護福祉士になるために(国家試験に合格するために)、どのように学ばばよいか、みなさんの学びを助ける、学習方法などを紹介する「学習ハンドブック」を作成予定です。

ぜひ、本調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

#### 【本調査の対象】

全国の養成校に所属する2023年3月に卒業する予定の留学生のみなさん

#### 【回答期限】

**11月16日(水)までに** WEBにてご回答ください。

#### 【調査票の取扱いにつきまして】

- ・ 回答いただいた内容は、取りまとめ、厚生労働省に提出します。
- ・ 調査に答えなかったとしても、そのことでみなさんに問題が起こることはありません。また、みなさんがどのようにアンケートに答えたかについて、学校の先生や職員があなた個人を特定して内容を見ることはできませんので、安心してご回答ください。

#### ■本調査に関する問合せ先

〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-10 藤和シティコープ御茶ノ水2階

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 事務局

担当: 山田・田中

TEL: 03-3830-0471 (平日 10:00~17:00) FAX: 03-3830-0472

## I. あなたの所属する学校番号について

問1. あなたの学校の学校番号を入力してください。分からない場合は、先生や職員に聞いて、入力してください。

通し番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
------	---

## II. あなたの情報について

問2. あなたの性別は何ですか。(合うもの1つに○)

1. 男      2. 女      3. 答えたくない

問3. あなたは何歳ですか。(合うもの1つに○)

1. ~25歳以下      3. 31歳~35歳  
2. 26歳~30歳      4. 36歳以上

問4. あなたの出身の国はどこですか。(合うもの1つに○)

※国の順番は、今年入学された留学生のみなさんの数が多い順に並べています

- |          |           |            |
|----------|-----------|------------|
| 1. ベトナム  | 5. フィリピン  | 9. バングラデシュ |
| 2. ネパール  | 6. インドネシア | 10. モンゴル   |
| 3. 中国    | 7. タイ     | 11. カンボジア  |
| 4. ミャンマー | 8. スリランカ  | 12. その他    |

問5. あなたの最終学歴は何ですか。(合うもの1つに○)

1. 高等学校未満      3. 短期大学・専門学校  
2. 高等学校      4. 大学・大学院

問6. あなたの持っている資格について教えてください。

資格種類	持っている	持っていない
① あなたの国での看護に関係がある(看護師やそれに準ずる)資格・卒業資格	1 ⇒問6-1へ	2
② あなたの国での介護に関係がある(介護士やそれに準ずる)資格	1 ⇒問6-2へ	2

### [問6.の①で1.を選択した方]

問6-1. あなたは、あなたの国で看護の仕事をした経験がありますか。  
(合うもの1つに○)

1. ある      2. ない

### [問6.の②で1.を選択した方]

問6-2. あなたは、あなたの国で介護の仕事をした経験がありますか。  
(合うもの1つに○)

1. ある      2. ない



問7. あなたは、現在（2022年10月1日現在）の日本語能力試験（JLPT）のどのレベルの試験に合格していますか。（合うもの1つに○）

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1. N1に合格している | 4. N4に合格している    |
| 2. N2に合格している | 5. N5に合格している    |
| 3. N3に合格している | 6. どの試験も合格していない |

問8. あなたは、次の場面で、どのくらい日本語がわかりますか。（それぞれ合うもの1つに○）

場面	まったく 分からない	あまり 分からない	だいたい 分かる	よく分かる	やったこと がない
① 日常生活	1	2	3	4	
② 学校での授業	1	2	3	4	
③ 介護施設・事業所でのアルバイト・介護実習（※）	1	2	3	4	5
④ 介護福祉士国家試験の勉強	1	2	3	4	5

※介護実習とは、学校（介護福祉士養成校）の授業とする介護実習のことです

問9. あなたは、今どのようなところに誰と住んでいますか。（合うもの1つに○）

1. マンション・アパート等に1人で住んでいる
2. マンション・アパート等に友達などといっしょに住んでいる
3. マンション・アパート等に家族と住んでいる
4. 寮に住んでいる
5. 親せき・知人の家に住んでいる
6. その他

問10. あなたは、学校の授業料や生活費をどうやって払っていますか。（合うものいくつでも○）

1. 自分が奨学金（※）で払っている  
※学費のためにお金をもらえたり、貸してくれたりする制度のことです
2. 自分がお金を借りて払っている
3. 自分がアルバイト等の仕事をして払っている
4. 自分の貯金から払っている
5. 親などの家族が払っている
6. その他

問11. あなたのこれまでのアルバイト経験について教えてください。（合うものいくつでも○）

1. 介護施設・事業所でアルバイトをしたことがある ⇒問11-1へ
2. 介護施設ではないところでアルバイトをしたことがある ⇒問12へ
3. これまでアルバイトはしたことがない ⇒問12へ

**[問11で1.を選択した方]**

問11-1. あなたは、介護施設で、どのような仕事をしていましたか。（合うものいくつでも○）

1. 利用者への身体介護（移動の介助、着脱の介助、食事の介助等）
2. レクリエーションの介助やコミュニケーション
3. ベッドメイキングや清掃など
4. 介助に使う物の準備（車いす、おむつ、シーツなど）
5. その他

**【問11で1.を選択した方】**

**問11-2. あなたがアルバイトをしている介護施設の環境について、教えてください。**  
(それぞれ合うもの1つに○)

アルバイト先の介護施設の状況	はい	いいえ
① 留学生が参加できる介護の研修がある	1	2
② 留学生が参加できる日本語の研修がある	1	2
③ 介護について、分からないことが質問できる	1	2
④ 日本語について、分からないことが質問できる	1	2
⑤ 試験期間中は、アルバイトの時間を減らす等の対応がある	1	2

**【問11で1.を選択した方】**

**問11-3. あなたが介護施設でアルバイトをして、どのような良いことがありましたか。**  
(合うものいくつかでも○)

1. 医療・介護の言葉が理解できるようになった
2. 病気や障害などについて理解できるようになった
3. 介護現場で起こることが理解できるようになった
4. 介護が必要な人について理解できるようになった
5. 介護技術(介助方法)について理解できるようになった
6. 介護に関する制度、サービスについて理解できるようになった
7. 日本語能力があがった
8. 日本の文化や生活習慣が理解できるようになった
9. 介護福祉士の役割(※)が理解できるようになった  
※役割とは、やらなければならない役に立つ仕事のことです
10. 自分自身が介護福祉士として働くことがイメージできた

**問12. あなたが、介護について考えていることを教えてください。**  
(それぞれ合うもの1つに○)

介護の仕事について考えていること	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう 思わない
① 介護が好きである	1	2	3	4
② 介護の仕事は自分の価値感(※)や考え方に合っていると思う <small>※価値感とは、「良い・悪い」、「正しい・正しくない」、「楽しい・楽しくない」といった、みなさんが「何に価値を見出すか」という感じ方のことをいいます。</small>	1	2	3	4
③ 友人に、介護がとてもよい職業であると言える	1	2	3	4
④ 介護にとって重要なことは、私にとっても重要である <small>例：利用者主体、人間の尊厳、高齢者・障害者に対する考え方 等</small>	1	2	3	4
⑤ もう一度進路を選択するなら、また介護分野を選ぶ	1	2	3	4
⑥ 他の分野ではなく、介護分野を選んで本当に良かったと思う	1	2	3	4
⑦ 介護業界のためになることなら、ほかの人以上に努力できると思う	1	2	3	4
⑧ いつも介護を学ぶ学生であることを意識している	1	2	3	4

問13. あなたは、介護福祉士国家試験に合格したいですか。(合うもの1つに○)

1. 必ず合格したい
2. できれば合格したい
3. 今まで合格したいかどうかを考えたことがない

### III. 介護の勉強について

問14. あなたは、毎日“授業・補講(※1)以外で”どのくらい介護の勉強(予習や復習、課題等)をしていますか(※2)。(それぞれ合うもの1つに○)

※1 補講とは、いつもの授業の他にある授業のことです

※2 授業のある日については、学校の授業時間は入れないでください

区分	学習しない	1時間 くらい	2時間 くらい	3時間 くらい	4時間 くらい	5時間 以上
① 授業のある日	1	2	3	4	5	6
② 授業のない日	1	2	3	4	5	6

問15. あなたは、あなたが参加しなければならない学校の介護の補講(※)に参加していますか。(合うもの1つに○)

※補講とは、いつもの授業の他にある授業のことです

1. 全部参加している
2. だいたい参加している
3. 時々参加している
4. 参加は求められているが、ほとんど参加していない ⇒問15-1へ
5. 補講(※)の対象となっていないため、参加していない
6. 自分の学校には、補講(※)がない

#### [問15で4.を選択した方]

問15-1. 参加がしなければならないにもかかわらず、補講(※)に参加しない理由は何ですか。(合うものいくつでも○)

※補講とは、いつもの授業の他にある授業のことです

1. 自分には必要ないと思うから
2. アルバイトがあるから
3. 授業の他には勉強したくないから
4. その他 ( )

問16. あなたは、学校の授業の内容について、どのくらい分かりますか。(合うもの1つに○)

1. よく分かる
2. 少し分かる
3. どちらともいえない
4. あまり分からない
5. 分からない



問17. 授業が分かるようになるために、あなたが行っていることは何ですか。  
(それぞれ合うもの1つに○)

勉強の内容	いつもしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	まったくしていない
① 教科書をよく読む	1	2	3	4
② 教科書以外の参考書を読む	1	2	3	4
③ 問題（過去の国家試験問題等）を解く	1	2	3	4
④ 授業で出た宿題をする	1	2	3	4
⑤ 授業のノートやプリントを何度も読む	1	2	3	4
⑥ スマートフォン（携帯電話）の動画等を見て勉強する	1	2	3	4
⑦ 教員に分からなかったことを質問する	1	2	3	4
⑧ 日本人学生と教え合う	1	2	3	4
⑨ 他の留学生と教え合う	1	2	3	4
⑩ その他（ ）	1	2	3	4

問18. あなたが、先生方に授業で行ってほしいことについて、以下の2つの目的別に教えてください。  
(それぞれ合うものいくつでも○)

先生方に行ってほしいこと	普段の授業をより理解できるようにするために 行ってほしいこと	国家試験対策のために 行ってほしいこと
① 実習やアルバイト（介護施設）と授業の関係について、分かるように説明する	1	1
② 実習レポートの作成について指導する	2	2
③ 社会のしくみ・制度と授業で学ぶことの関係について説明する	3	3
④ 学生の考えについて、他の学生等に向けて説明・発表させる	4	4
⑤ 福祉に関する最新の情報を授業で教える	5	5
⑥ 学生とコミュニケーションを多くする	6	6
⑦ 学生が授業や実習などについて話し合えるようにする	7	7
⑧ テストの実施と解説をする	8	8
⑨ 実習や介護施設アルバイトの振り返りをする	9	9
⑩ 授業の理解が難しい学生に、授業以外で補講(※)や個別指導をする	10	10
⑪ 授業がよく理解できている学生に、より進んだ内容を教える	11	11
⑫ その他（ ）	12	12

※補講とは、いつもの授業の他にある授業のことです

問19. あなたは、学校の授業の科目について、どのように感じていますか。  
(それぞれ合うもの1つに○)

科目	得票	どちらでもない	不得票
① 人間の尊厳と自立	1	2	3
② 人間関係とコミュニケーション	1	2	3
③ 社会の理解	1	2	3
④ 介護の基本	1	2	3
⑤ コミュニケーション技術	1	2	3
⑥ 生活支援技術	1	2	3
⑦ 介護過程	1	2	3
⑧ 発達と老化の理解	1	2	3
⑨ 認知症の理解	1	2	3
⑩ 障害の理解	1	2	3
⑪ こころとからだのしくみ	1	2	3
⑫ 医療的ケア	1	2	3

問20. あなたが、最も不得意な科目は何ですか。(合うもの1つに○)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 人間の尊厳と自立       | 7. 介護過程         |
| 2. 人間関係とコミュニケーション | 8. 発達と老化の理解     |
| 3. 社会の理解          | 9. 認知症の理解       |
| 4. 介護の基本          | 10. 障害の理解       |
| 5. コミュニケーション技術    | 11. ことごとからだのしくみ |
| 6. 生活支援技術         | 12. 医療的ケア       |
|                   | 13. 不得意な科目はない   |

【問20で13.以外を選択した方】

問20-1. なぜ【●●(科目名)】を最も不得意と感じているのですか。  
(合うものいくつかでも○)

勉強の内容	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
① 勉強の仕方が分からないから	1	2	3	4
② 介護の仕事で役立つことが理解できないから	1	2	3	4
③ 内容が嫌い・面白くないから	1	2	3	4
④ 知らないことばかりだから	1	2	3	4
⑤ 出てくる言葉が難しいから	1	2	3	4
⑥ あまり勉強していないから	1	2	3	4
⑦ その他( )	1	2	3	4

【問20で13.以外を選択した方】

問20-1. 最も不得意な科目について、あなたは“授業以外で”どのように勉強していますか。(それぞれ合うもの1つに○)

※学校の授業以外の時間や、自宅でしていることについて教えてください

勉強の内容	いつも している	どちらかといえば している	あまり していない	まったく していない
① 教科書をよく読む	1	2	3	4
② 教科書以外の参考書を読む	1	2	3	4
③ 問題(過去の国家試験問題等)を解く	1	2	3	4
④ 授業で出た宿題を行う	1	2	3	4
⑤ 授業のノートやプリントを何度も読む	1	2	3	4
⑥ スマートフォン(携帯電話)の動画等を見て勉強する	1	2	3	4
⑦ 教員に分からなかったことを質問する	1	2	3	4
⑧ 日本人学生と教え合う	1	2	3	4
⑨ 他の留学生と教え合う	1	2	3	4
⑩ その他( )	1	2	3	4

問21. あなたが 最も「得意」な科目は何ですか。(合うもの1つに○)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 人間の尊厳と自立       | 7. 介護過程        |
| 2. 人間関係とコミュニケーション | 8. 発達と老化の理解    |
| 3. 社会の理解          | 9. 認知症の理解      |
| 4. 介護の基本          | 10. 障害の理解      |
| 5. コミュニケーション技術    | 11. ころとからだのしくみ |
| 6. 生活支援技術         | 12. 医療的ケア      |
|                   | 13. 得意な科目はない   |

[問21で13.以外を選択した方]

問21-1. なぜ【●●(科目名)】を最も得意と感じているのですか。  
(合うものいくつかでも○)

勉強の内容	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
① 勉強の仕方が分かっているから	1	2	3	4
② 介護の仕事で役立つことが理解できるから	1	2	3	4
③ 内容が生き・面白いから	1	2	3	4
④ すでに知っている内容だから	1	2	3	4
⑤ 出てくる言葉が難しいから	1	2	3	4
⑥ 出てくる言葉が理解しやすいから	1	2	3	4
⑦ その他 ( )	1	2	3	4

[問22で13.以外を選択した方]

問22-1. 最も得意な科目について、あなたは“授業以外で”どのように勉強していますか。(それぞれ合うもの1つに○)

※学校の授業以外の時間や、自宅ですることについて教えてください

勉強の内容	いつも している	どちらかといえば している	あまり していない	まったく していない
① 教科書をよく読む	1	2	3	4
② 教科書以外の参考書を読む	1	2	3	4
③ 問題(過去の国家試験問題等)を解く	1	2	3	4
④ 授業で出た宿題を行う	1	2	3	4
⑤ 授業のノートやプリントを何度も読む	1	2	3	4
⑥ スマートフォン(携帯電話)の動画等を見て勉強する	1	2	3	4
⑦ 教員に分からなかったことを質問する	1	2	3	4
⑧ 日本人学生と教え合う	1	2	3	4
⑨ 他の留学生と教え合う	1	2	3	4
⑩ その他 ( )	1	2	3	4

問22. あなたが 2022年度の国家試験への合格を目指し、普段“授業以外で”行っていることと、“自宅で”行うべきだとは思っているが、どうやってよいかわからないものは何ですか。  
(それぞれ合うものいくつかでも)

※学校の授業以外の時間や、自宅でしていることについて教えてください

勉強の内容	普段、自宅でやっていること	自宅で行うべきと思っているが、 どうやってよいかわからないもの
① 教科書をよく読む	1	1
② 教科書以外の参考書を読む	2	2
③ 問題（過去の国家試験問題等）を解く	3	3
④ 授業で出た宿題を行う	4	4
⑤ 授業のノートやプリントを何度も読む	5	5
⑥ スマートフォン（携帯電話）の動画等を見て勉強する	6	6
⑦ 教員に分からなかったことを質問する	7	7
⑧ 日本人学生と教え合う	8	8
⑨ 他の留学生と教え合う	9	9
⑩ その他（ ）	10	10

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。



## 資料2:養成校向けアンケート調査票

**「留学生指導についてのガイドライン」についての調査 回答シート**

養成校会員番号:

養成校名:

問1: 貴校の日本人学生数(全学年合算) ※介護福祉士養成課程のみ ※実数を入力  人

問2: 貴校の留学生数(全学年合算) ※介護福祉士養成課程のみ ※実数を入力  人

問3: 貴校の常勤教員数 ※介護福祉士養成課程のみ ※実数を入力  人

問4: 貴校の非常勤職員数 ※介護福祉士養成課程のみ ※実数を入力  人

問5-1: 「留学生指導についてのガイドライン」(青色、養成校向け冊子)の貴校での周知状況 ※プルダウン選択

問5-2: 「留学生指導についてのガイドライン」のこれまでの活用実態(具体的に活用方法について記載) ※自由記述

問6-1: 「留学生指導についての指導のポイント」(ピンク色、養成校教員向け冊子)の貴校での周知状況 ※プルダウン選択

問6-2: 「留学生指導についての指導のポイント」のこれまでの活用実態(具体的に活用方法について記載) ※自由記述

問7: 本年度、介護協では「留学生指導についてのガイドライン」(青色、養成校向け冊子)の改訂を予定しています。本改訂において、ぜひ全国の養成校の教員の皆様のご要望を収集し、御校にて改訂要望をお取りまとめいただきたいと思っております。以下の様式に記載のうえ、ご送付をお願いいたします。(以下の黄色の改訂希望内容のセルは適宜広げるなどしてください)

章	項目	該当ページ	改訂希望内容
Ⅰ. 国家試験の得点別に見た留学生の特徴と対応	1. 国家試験の科目別に見た留学生の特徴	P7-8	
	2. 国家試験の問題分類別に見た留学生の特徴	P9-10	
	3. 国家試験の日本語の理解しにくいポイント別に見た留学生の特徴	P11-13	
	4. 試験結果から見た留学生の特徴と対応	P14-17	
Ⅱ. 国家試験に向けて養成校に求められる対応	1. 留学生の学習支援	P18-33	
	2. 留学生の学習環境の整備	P34-37	
	3. 養成校での留学生指導についてのまとめ	P38	
Ⅲ. 国家試験で使用される日本語を理解する	1. 国家試験で登場する日本語を理解する	P39-40	
	2. 介護福祉士国家試験に必要な日本語力	P41-42	
	3. 介護専門学習をしながら、どう国家試験に対応できる日本語力をつけていくか	P42-45	
	4. まとめ:「国家試験で使用される日本語を理解する」とは	P46	

## 資料3-1:ヒアリングまとめ(元留学生)

### 【A 短期大学卒業生 Bさん ヒアリング】

#### ご経歴

- ミャンマー出身
  - ミャンマーで英語専攻にて大学を卒業
  - ミャンマーの日本語学校で日本語を勉強後、新聞で応募し奨学金(一定年の労働で返済不要)を借りて来日
  - 来日前、父が脳梗塞になり、介護への関心に気づき、ミャンマーでは技術が発達していないので、日本で技術・知識的に介護を習得し、母国で広めるために来日し勉強
  - JLPT (N 試験) は N2 取得後來日、来日後 N1 取得 (2020 年に取得済)
  - A 短期大学介護福祉コース 2020 年 3 月卒業・介護福祉士国家試験合格
  - 2020 年 4 月 1 日学生時代のアルバイト先であった介護老人保健施設にて勤務開始
- 学校に関すること
    - 学生と留学生合格者の内訳
      - ◇ 同学年で 30 名 (留学生 15 名)
      - ◇ 留学生の合格率は 10 名/15 名
      - ◇ 不合格者と合格者の違いは、問題の解き方の慣れや読解力の差などにおいて、過去問の勉強量の違いと考える
      - ◇
    - 留学生としての悩み
      - ◇ 来日・入学後は漢字・介護専門用語が全く分からず、当時は学校側も外国人受け入れ初年度だったので、教科書などにふりがながついていないなど、理解に苦しんだ
      - ◇ 2 年目からは国家試験対策に取り組んだが、勉強量も増え、アルバイトのやり方も変わり、実習も変わってきたので、外国人留学生にとって 2 年目は大変であった
    - 先生からのフォロー
      - ◇ 質問に都度対応したり、勉強会を開いて情報共有の場を提供していた
      - ◇ 外国人留学生にとって言葉の壁がとて多い中、先生から過去問の読み方から、問題を解くための文章のポイントを教えていただいた
      - ◇ 模試の結果が良くないときでも、最後まであきらめないように励ましていただいた
    - 日々の勉強方法など
      - ◇ 卒業しアルバイト後、1 日分の勉強を毎日続けた。学校の課題も 500~600 語の文章を書かなければならず、日本語の勉強をしなければいけない環境であった。テストや課題やグループワークが毎日あったので、都度分からないことを (なぜわからないかなども含め) 先生や友人に相談しながら勉強を続け、都度理解をしていった

- 勉強会について
  - ◇ 外国人にとって、日本人のレベルで理解が難しい際は、勉強会を開き学校の勉強で理解できない部分を留学生皆で理解をしあう場を設け、都度解決したのが重要であった。皆が自分の理解した内容（各自のノートなど）を共有しあうことで、自分の理解だけでは追いつけなかった部分も理解することができた。頻度は1年目で週1~2回（金曜夕方や日曜夜など）、2年目は週5回（できる時間はできるだけ、毎朝始業前に集まるなど）
  - ◇ 理解できないことがあり、グーグル検索や先生への質問でも解決しない場合は、勉強会の中で、理解できなかったときの対策方法も含め、皆で共有した。この経験が一番役に立った
  
- 国試対策・成績の流れ
  - 成績の流れ
    - ◇ 9月の模擬試験で自分の得意不得意などの傾向が理解した
    - ◇ 11月の模擬試験では60~70点ほどと、合格ラインを満たせず不安になった
    - ◇ 本番では105点で合格
    - ◇
  - 学習計画
    - ◇ 国家試験の過去問のアプリなどを毎日20~30問を目標に進め、日本語の問題読解力を鍛えることができた。結果、受験時には過去問を繰り返し説いたおかげで、60分の試験を45~59分ほどで解き終えるようになっていた。本を読んだり、問題を毎日読み続け、わからない専門用語などを都度確認していたことが、読解力向上につながった。
    - ◇ 認知症の勉強が好きで、他の分野（社会の理解）の勉強につかれたときは、認知症の勉強をすることでやる気を維持した。社会の理解の勉強は苦手なので最後に回し、最後に取り組むなど、戦略的な勉強計画を立てていた
    - ◇ 先生方からアドバイスをもらいながら、自分の生活時間と学校の課題、試験対策などを鑑みて、10月までは学校の勉強をメインに、11月からは過去問と学校の勉強を並行、12月からは試験対策に集中して勉強した
  
  - 日本語が得意でない留学生への国家試験合格へのアドバイス
    - ◇ 自分の日本語レベルにあった参考書で繰り返し勉強することが重要。N2やN3の留学生にもわかるような内容の参考書を使って勉強すべきと考える

## 【C 専門学校卒業生 Dさん ヒアリング】

- ご経歴
  - ベトナム出身。ベトナムで薬剤の専門学校を卒業後、薬局に2年間勤務
  - ベトナムの日本語センターで日本語を6カ月勉強した後、JLPTのN4を取得し23歳で来日
  - 来日後、2年間日本語学校に通い、卒業時にN2を取得
  - 日本語学校卒業後、C専門学校に入学。在学時にN1取得
  - 国家試験を111点で合格し、介護福祉士の資格を取得

- 現在、専門学校在学時にアルバイトをしていた特別養護老人ホームで勤務
  - アルバイトは週 23 時間ほどで、養成校と連携した介護施設であったため、試験前はお休みをもらうなどの配慮があった
  - 来日時、介護施設でアルバイトしながら日本語学校に通う事を条件に日本の企業から奨学金を借り、そのまま介護業界に就職
  - 日本で学んだ介護知識・技術をベトナム人に教えることが将来の目標
- 学校に関すること
    - 学生と留学生合格者の内訳
      - ◇ 学年で 34 名（留学生は 4 名）。全員が国家試験に合格
      - ◇ 他の留学生とは合格点に差があったが、勉強量の差だと考える
    - 留学生としての悩みや求めるフォロー
      - ◇ 留学生にとっては、優しい日本語でお話ししてくれることが助かる。敬語が入り分かりづらくなることもある
      - ◇ 疑問点があったときに、勇気を出して挙手して質問をすることは意識したが、周りの日本人学生に迷惑をかけたくないなど、難しい面があった
      - ◇ 介護の専門用語や難しい日本語を理解するのが難しく留学生にとって難しい
      - ◇ 介護施設でのアルバイト経験は、国家試験対策につながっている部分もあり、学校で教わったことを現場ですぐにアウトプットする機会を得られたのは良かったが、現場と学校で教わったことが違うこともあった。違った部分に関しては学校の先生に相談し、違った理由を考え勉強することで吸収しようとしていた
    - 先生からのフォロー
      - ◇ 分からないことがあったときはインターネットで調べて、それでもわからないことがあったときは先生にメールで相談し休日にも真摯に対応してくれた
      - ◇ 養成校の先生から試験のテクニックとして、国家試験の回答順は、医療的ケアにまず取り掛かり、その後難しくない科目を解き進め、難しい問題を最後に解くということを教わっていた
    - 日々の勉強方法など
      - ◇ 平日は 1~2 時間の勉強。1 年時は休日に遊びに行くことも多かったが、2 年時は基本的に勉強に集中していた
      - ◇ 2 年目では、クラス内でペアを作り、授業内容の教え役、習い役などに分け、勉強を進めた
      - ◇ どの科目も同じような勉強方法、勉強量であった
      - ◇ 計画を立てて勉強するタイプではなかったなので、自分のやる気に合わせて勉強していた

- 国試対策・成績の流れ
  - 成績の流れ
    - ◇ 養成校在学時の成績は良好。国家試験の模擬試験の成績や順位も良好で、日本人も含めたクラス内順位で2位。11回模試を受け、80点～110点を推移。1回目は98点（1年生終了時）
  - 学習計画
    - ◇ 1年目は授業で扱ったレジュメの復習をし、疑問点を先生に質問する形で勉強していた。2年目は国試ナビで勉強を進め、疑問点を先生や友人に質問する形で勉強していた
    - ◇ その時点では授業で触れていない項目もあったが、独学で勉強を進めた
    - ◇ 得意科目は、介護支援技術で、苦手科目は社会の理解であった。法律の問題は、日本語の表現が難しく、理解するのが大変であった。社会の理解の科目自体は嫌いではなかったため、クラスメイトや先生に疑問点を質問したり、日々のニュースを意識したりして伸ばした
    - ◇ 国家試験対策は、国試ナビと過去問のみで対策をし、過去問は5～6回解いた
  - 日本語が得意でない留学生への国家試験合格へのアドバイス
    - ◇ 留学生はわからないことが多いので、学生同士でも気軽に質問できる関係性を築くことが重要

### 【E 専門学校卒業生 Fさん ヒアリング】

- 経歴
  - ベトナム出身で24歳。高校卒業後に来日し、2年目は日本語学校に通った
  - 2年間専門学校に通い、その2年間、介護老人保健施設でアルバイトをしていた
  - 現在は学生時代のアルバイト先と同じ施設で働いていて2年経った
  - 勤務先に後輩の留学生が1名いて、メールで勉強に関する質問に対応している
  - 今後も日本で働き続けたいと思っている
- 学生時代の一日の流れ
  - 月曜日から金曜日は早起きして1時間～1時間半程度授業の宿題を復習してから学校に行った
  - 学校から帰宅後は3時間程度勉強して、土曜日と日曜日にアルバイトをしていた
  - 友人と食事をしたり家族を話したりすることでストレスを発散していた
- Fさんの周りの学生
  - 同級生30名中、22名が留学生で8名が日本人だった
  - 留学生22名中、18名がベトナム人だった
  - 国家試験に合格したのは留学生20名と日本人8名全員だった

- 1年目の学習
  - 各科目に集中していた
  - 試験内容を少しずつ暗記して、それが2年目の国家試験に役立った
  - 先生からもらった資料を科目で管理、国家試験前に確認できるようにしていた
  - 最初はやる気がなかったが、頑張っている周りの学生の姿やアルバイト先の先輩からの応援に感化されて、頑張ろうと思った
  
- 2年目の学習
  - 4月に国家試験の問題を解き始めた
  - 4月から国家試験本番まで多くの模擬試験があった
    - ◇ 最初のころは40～50点程度だったが、本番では77点だった
    - ◇ 各模擬試験のプリントをフォルダーに入れて管理していた
  - たくさん国家試験の過去問題を解いた
    - ◇ 毎年出題内容は変わるため、広い範囲を勉強して問題に慣れた
    - ◇ 不正解だった問題をノートに書くまたはチェックして、帰宅後にそれを見て書いて読んで暗記した
    - ◇ 国家試験の練習本の苦手な内容をずっと読んでいた
    - ◇ わからない言葉があれば、自分で調べたり先生に聞いたりした
    - ◇ 科目ごとの時間配分を気にせず、時間をかけて解いた
    - ◇ 国家試験と同じく125問を覚えるまで繰り返し解いた
  - 教科書と先生からもらう資料と単語のゲームがある介護福祉のアプリを使用した
  - 苦手だった科目
    - ◇ 社会の理解（類似するたくさん言葉や難解な漢字に苦戦した）
    - ◇ 試験でも社会の理解の点数が最も低かった
  - 得意だった科目
    - ◇ 生活支援技術（アルバイト先で科目内容を毎日練習していたため、容易に理解できた）
  - アルバイト先の職員が時間を注意することや自信を持つことの重要性を教えてくれて、それが国家試験対策に役立った
  - アルバイト先のベトナム人の先輩が介護について教えてくれた
  - 日本語で国家試験を説明する動画を観て、わからないことがあれば自分で調べた
  - 先生にやってもらって良かったこと
    - ◇ 授業で先生が細かく説明してくれた
    - ◇ わからないことがあって質問したら先生が細かく説明してくれた
    - ◇ 先生が介護の授業内容だけでなく、日本語も説明してくれた
  - 実習が役立った
    - ◇ 生活支援技術に関して、日本人の学生が記録の書き方を教えてくれた
    - ◇ アルバイトでは利用者の詳細な情報がわからなかったが、実習では利用者の病名や生活支援、ケアプラン等を深く理解してから介助できた
    - ◇ 麻痺している方の介助方法等の事例問題を解きやすかった
  - 上位学生は授業に集中して宿題を復習していた
  - 不合格だった学生に対するFさんの見解

- ◇ 自信がなくて何度も自分の回答を直した
- ◇ 不合格だった学生が採用すべきだった勉強方法は思いつかない
- 高得点で合格した学生に対する F さんの見解
- ◇ 母国で看護師の資格を取得してから来日。元々日本語をよく理解していた
- 介護学校での日本語の学習
  - 単語や文法等、日本語学校での学習内容と同じだった
  - 介護学校に入学した時は N3 を保持していて、入学後に N2 を取得した
  - 単語や漢字を書いて覚えていた
- 先生の教え方に対する F さんの見解
  - 「心と体」は絵やプリントだとわかりやすい
  - 「社会の理解」はほとんど本だったが、先生が教えてくれた重要点をノートに書いた

### 【G 専門学校卒業生 H さん ヒアリング】

- 経歴
  - ベトナム出身。高校卒業後に来日し、2 年間日本語学校に通ったがアルバイトばかりで日本語を勉強していなかった
  - N2 を未取得だったため、1 年間 G 専門学校の日本語別科で勉強して N2 を取得して、G 専門学校介護福祉士コースに入学した
  - 2022 年 4 月に G 専門学校を卒業した
  - 現在は学生時代のアルバイト先とは異なる特別養護老人ホームで働いている
  - あと 4 年程度働いて、自分に合っていると思ったら 10~15 年程度は日本で介護の仕事が続けたい
- アルバイト
  - 勤務先は病院と高齢者施設
  - 平日は授業前に 1 時間半、授業後に 2 時間
  - 土曜日は休みで日曜日は出勤
  - 施設の利用者の食事介助や排泄介助の際に施設の職員に不明点を教えてもらい、それが国家試験対策になった
  - 認知症の利用者がかわいく見えて、それが介護を好きになる契機となった
- H さんの周りの学生
  - クラスの学生 14 名中、9 名が留学生で 5 名が日本人だった
  - 留学生の中にはベトナム人や中国人、ミャンマー人がいた
  - 14 名 10 名が国家試験に合格した



- 普段の学習

- 普段の授業に関する学習方法

- ◇ 授業後にわからないことを先生や日本人の友人に聞いて、授業内容を 90%程度理解できた
- ◇ 授業中には先生に聞いて、休憩や昼休み中には日本人の友人に聞いた
- ◇ 日本人の友人にもわからないことがあれば、その友人が先生に聞いてアンさんに説明してくれた
- ◇ 授業前に予習して、授業後に復習していた
- ◇ 授業後に先生が次回の授業内容を知らせるため、教科書の該当箇所を 15 分程度読んで知らない漢字や意味を調べていた

- 定期試験に関する学習方法

- ◇ 1 年に 2 回定期試験があった
- ◇ 定期試験 1 週間前からアルバイト後に 2~3 時間程度及び早朝に勉強していた
- ◇ 試験範囲を参照しながら友人と予想出題内容を共有していた
- ◇ 先生が出題した問題をノートに 1~2 回メモし、それを朝起きてから黙読や朗読していた
- ◇ ベトナムにいた時から要点のみを何度も書いて暗記しており、日本の定期試験でも同じ方法を採用していた
- ◇ 定期試験の再試はなかった
- ◇ 再試がなかったことが嬉しくて、それが学習を継続する意欲に繋がった

- 国家試験のための学習

- 大きな流れ

- ◇ 模擬試験が 3 回あった (8 月後半・11 月・1 月)
- ◇ 1 回目は 50 点以下 (危機感を覚えた)、2 回目は 70 点程度、3 回目は 85~86 点だった
- ◇ 本番は 93 点だった
- ◇ 模擬試験以外にも過去問題やプレテストを解いた (同席していた教員より)
- ◇ 教科書や先生からもらった資料、アプリを使用した

- 苦手だった科目

- ◇ 社会の理解 (日本の法律や難解な名前、漢字に苦戦した)
- ◇ からだのしくみ (暗記に苦戦した)
- ◇ 過去問題を一題ずつ解いた
- ◇ 国試ナビや先生からもらった資料を参考にして不正解だった問題を中心に復習した
- ◇ 最終的にはそれほど苦手な科目ではなくなった

- 好きだった科目

- ◇ 介護過程・総合問題・認知症 (学習内容がアルバイト現場での業務内容と類似していた)
- ◇ 最初は得意ではなかったが、何度も解き直して試験ではまず取り掛かる科目にまでなった

- ◇ 試験問題と介護現場の実際のギャップが面白くて好きになった
  - ◇ 帰りたいと言う認知症の利用者の対応に関して試験問題と介護現場の実際が異なっていたが、先生に説明してもらって納得した
  - ◇ 問題を解くのは好きな科目が先で、認知症の理解、総合問題、発達と老化とからだのしくみ、医療的ケアの順番だった
  - ◇ 総合問題は文字数が比較的多かったが、それほど多いとは感じなかった
  - ◇ 5年分程度の過去問題を繰り返し解いていたため、似ている問題に慣れていた
- 8月後半の模擬試験から11月の模擬試験までの学習
    - ◇ まずは得意な科目、試験が近づいたら苦手な科目に集中して取り組んだ
    - ◇ 毎日過去問題に取り組んだ
    - ◇ 生活支援技術は暗記科目で良くて26点しかとれなかった
    - ◇ 国試ナビを見て、赤くマークされている過去問題を全て暗記した
- 11月の模擬試験から国家試験までの学習
    - ◇ 先生が学生の成績によってグループを分け、グループで集まって勉強した
    - ◇ 毎日20時までのアルバイトから帰宅して2時間以上国家試験の過去問題を繰り返し解いた
    - ◇ 朝7時からアルバイトがあったため、4時から6時まで2時間勉強した
    - ◇ 不正解だった問題やそれに関連する内容を科目ごとにノートに書いた
    - ◇ ノートだけでなく先生からもらう資料も科目ごとに分類した
    - ◇ 資料の分量が多すぎるため、メインの教材は国試ナビだった
- 不合格だった学生に対するアンさんの見解
    - ◇ 授業内容は理解していたが授業外での学習が不足していた
    - ◇ 自分なりの勉強方法を見つけられず、勉強していなかった
- 介護を理解するうえでやってもらって一番嬉しかった・良かったこと
    - ◇ 成績に関係なく分けられた日本人もいるグループで過去問題を解いて、わからない問題を教え合った

## 【I短期大学卒業生 Jさん ヒアリング】

- 経歴
  - ベトナム出身、来日前に2年間大学で、介護ではなく教育を勉強した
  - 1年間ベトナムの日本語センターで日本語を勉強し、その時にN3に合格した
  - しばらくベトナムで仕事をしていましたが、仕事が合わなかったため来日した
  - I短期大学に入学し、1年間I短期大学の日本語別科で日本語を勉強した後に、2年間介護福祉士の勉強をした

- 介護福祉士の勉強を始めた時には、N2 を取得していた
- 現在はアルバイト先と同じ病院に就職して働いている
- 将来は経験が豊富で偉い人になりたい
  
- アルバイト
  - 最初の 1 年間は週 40 時間、その後の 2 年間は土曜日と日曜日のみで週 14 時間
  - 2 年生になって国家試験が近づくと、土曜日と日曜日にもアルバイトの後に自宅で勉強をしていた
  
- H さんの周りの学生
  - 同級生 15~16 名中、10 名が留学生（ベトナム人）で 5~6 名が日本人だった
  - 同級生全員が国家試験に合格したわけではなかったが、不合格者よりも合格者の方が多かった
  - J さんと同様にメモをして暗記しようとしたがどうしても暗記できない同級生もいた
  - お世話になった先輩は日本人が 1 名、ベトナム人が 1 名で、どちらも 1 年前の卒業生だった
  - 友人とグループで勉強して困ったことを解決できたのが嬉しかった
  
- 1 年生の時の学習
  - 普通の授業に関する学習方法
    - ◇ 授業が 3 限または 4 限まであり、その後自宅で 2~3 時間勉強していた
    - ◇ 主な教材は教科書と学校の図書館にある本だった
    - ◇ まずは教材を読んで重要点にマジックペンで線を引き、それを暗記した
    - ◇ 授業中に先生が教えたことや過去に国家試験で何度も出題された内容、先輩からもらった資料をもとに重要点を見つけた
    - ◇ 前期は日本語をあまり理解していなかったが、後期には日本語のテキストを読んで理解できるようになった
  - 定期試験に関する学習方法
    - ◇ 教科書だけでなく配布されたプリントも使用した
    - ◇ プリントに試験範囲がまとめられており、それを何度も復習した
  - 苦手だった科目
    - ◇ 社会の理解
      - ✓ 暗記する量が多くて内容も難しく、特に誰がいつどの制度を出したかを暗記するのが大変だった
      - ✓ 何度も白紙に暗記する内容を書き、その紙を自宅内にたくさん貼ることで目に入るようにして暗記していた
      - ✓ 難しいからといって勉強しないと点数は上がらないが、頑張って勉強すれば良い結果になると信じて頑張っていた
  - 得意だった科目

- ◇ 生活支援技術
  - ✓ アルバイト先で同じような内容に触れていたため、学校の授業を理解しやすかった
- ◇ 医療的ケア
  - ✓ アルバイト先で看護師が吸引や注入をしている様子を毎日見ていたため、学校の授業を理解しやすかった
- 2年生の時の学習（国家試験対策）
  - 大きな流れ
    - ◇ 春頃に初めて自分で国家試験の問題を解き、その時は先輩からもらった資料を使用して自分で勉強していた
    - ◇ 秋頃に全体として初めて学校で国家試験の問題を解き、その時は54点でショックを受けてさらに勉強を頑張っ、本番は92点だった
  - 学習方法
    - ◇ 模擬試験を計9回解いた（学校で5回+自分で4回）
    - ◇ 正解だった問題はそのまま暗記した
    - ◇ 不正解だった問題は教材から正答を見つけ、なぜどのように不正解だったのかをノートにメモしてそれを復習することで暗記した
    - ◇ わからない問題は学校の先生に質問した
    - ◇ 解く順番は、得意な問題からではなく最初の問題からだった
- 2年間で先生にやってもらってよかったこと
  - 授業を教えてくれるだけでなく、生活の相談に乗ってくれたり卒業論文を何度も添削してくれたりした

## 資料3-2:ヒアリングまとめ(介護教員)

### 【A 専門学校 B 介護教員ヒアリング】

日時	2022年12月21日15時~16時	
場所	ZOOM	
出席者	ヒアリング対象	養成校C (2年制の専門学校)
	傍聴	厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 鈴木氏 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 扇川氏
	事務局	介養協 山田・田中 PwCコンサルティング 岡田・石田

- 留学生の勉強に対する姿勢
  - 日本語を理解していかないと授業についていけないのがネック
  - 長い文章だと理解するのが難しいので、できるだけ短くして解釈させる
  - 留学生は、日本語の勉強をしつつ、介護の勉強をしている状況
  
- 日本語教員との連携
  - 本校では、日本語を教える教員と介護知識を教える教員の連携で行っている
  - 日本語の先生に対しても、国試対策の授業に参加いただいて、教え方やいかに学生に興味を持ってもらえるような形で説明するかを工夫していただいている
  
- 具体的な授業展開の方法について
  - 社会の理解や介護技術を専門で教えているが、その2~3倍くらい国試対策の授業に充てている(全科目)
  - 国試対策と科目も担当しており、一人の教員がどちらも教えるメリットとしては、複数教員による授業展開の相違が起きずに済むことが考えられる
  - 国試対策は1年後期から週1で開始し、最初は国試の説明や解き方を説明する。比較的簡単な科目から始め、2年に進級する際に模擬試験を実施。2年生時からは週2で国試対策を実施し、試験直前は朝から19時半まで国試対策の授業。
  - 2年進級時から模擬試験は合計11回。2年生前期で2~3回、夏休み直前は難しめに設定し、夏休み明けは比較的簡単に設定して、学生のモチベーションを上げる工夫をしている。10月からは週1回模擬試験を実施して、冬休み前は難しめに設定、本番直前は比較的簡単設定して、学生の緊張をほぐしている
  - 留学生の顔の表情を見て、恥ずかしさから質問をしづらい留学生の顔を見て、難しいかどうかを都度確認するように授業展開をしている
  - 合格点には少し遠いが、成績が伸びている学生に関しては、褒める(皆の前で表彰する)ことで、本人のやる気の向上につなげる。実際にそういった学生の成績は伸びている。

- 5肢択一の問題の間違いの選択肢を、正しい文章に直す作業を、125問×5＝700問以上やらせた。それにより留学生の読解力の向上につながった
  
- ヒアリングに協力いただいた卒業生 D さんの印象について
  - D さんは入学時から日本語のスキルは高かったが、日常会話はなかなか続かないことがあった。当時は緊急事態宣言により学校が閉鎖されて、留学生の居住環境も隔離されていたので、世間話をする事から、少しずつ日本語や日本に対する知識が向上した。成績の伸び率は D さんが一番だった。
  
- 勉強に身が入らない留学生に対して、どういったアプローチをしているのか
  - 学生の頭に入るような興味を持てる面白い授業展開の工夫をしている
  - 必ず学生に寝させないようランダムに当てたりするような工夫をしている
  - 勉強ができない学生に対して、難しい問題はささず、モチベーションを下げさせないように意識している
  
- 学生側の努力として何をやるべきか
  - 外国語が禁止の中で、留学生が日本人とどのように交流をしていくか環境作っていくことが必要
  
- 勉強スタイルを見つけるためにはどうしたらいいか
  - 留学生に関しては、1年目は一問一答形式で問題を解かせ、2年目で5肢択一形式の問題を解かせている
  - 先輩から後輩に教科書を寄贈する文化がある。各年でメモした内容が更新されていたり、先輩からのアドバイスが教科書に記入してあったりする。そういった上下の連携が重要だと考える
  
- 留学生に特化した取り組みはあるのか
  - 月2回土曜日に留学生だけの国試対策の授業を行っている。
  - 教員間の連携と、学生のモチベーション維持に特に注力している

【C 短期大学 D 介護教員ヒアリング】

日時	2022年12月26日10時~11時	
場所	ZOOM	
出席者	ヒアリング対象	養成校C（大学付属の専門学校）
	傍聴	厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 鈴木氏 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 扇川氏
	事務局	介養協 山田・田中 PwCコンサルティング 岡田・石田

- どういった教育をされているか
  - 本校は介護福祉士の短期大学なので、国試対策は12月以降。それまでは単位取得を主にしている。
  - 現在は成績が振るわなくても、過度な危機感を持たせないようにしている
- やる気が感じられない学生への対策について
  - 教員が諦めないことを意識している
  - 2年進級時にN3で国試合格を諦めている留学生に対しても、必ず諦めないように促している
  - 1年目の学生たちは先生たちの頑張りを見て、奮起して頑張っていた
- 合格した学生の特徴について
  - 1冊の問題集を使うように促して成績が上がった学生と、試験当日の朝まで先輩の留学生や友人と勉強を頑張った学生は成績が伸びている
  - N2であまり勉強に集中していなかった留学生は、落ちている学生が多い
- 一生懸命勉強したが落ちた学生へのアドバイス
  - 日頃の勉強（授業の予習復習）をおろそかにしないことが重要
  - 介護福祉士の教科を赤点取らずに頑張っている生徒は合格率が高い
- 留学生へどのような姿勢で勉強すべきと伝えるか
  - 日頃の授業から分からないことをすぐに調べて理解しようとする姿勢が重要
  - 調べても分からないことに関しては、すぐに教員や理解者に質問することが重要
- 自分でやることと教員がやること
  - 専門用語などの意味を母国語に直して理解することは学生が取り組むべきこと
  - 文章を理解させることに関しては教員が担当するべきこと
  - 分からなくてもまずは覚えて、それを徐々に理解していくという形が良い
- 合格した中で、勉強タイプは違ったか



- 日頃のテストの点数は悪いが、直前の過去問で点数が取れている学生は本質を理解できておらず、不合格なことが多い
- 国試対策
  - 間違っていることを正しく理解することの積み重ねが重要
- 留学生が困っていることはなにか
  - 日本語の語訳が難しく、それぞれ母国語の言語で書かれた教科書や参考書があれば嬉しい
- 勉強姿勢や勉強方法としてガイドラインに何を書くべきか
  - 授業中に調べている間に授業が進んでいくので、授業中は授業の理解に集中し、わからない部分は復習時に調べることが勧める
- 時期によって必要な勉強は
  - 日本語の単語以外の独特な言い回し（特に国試関係）をできるだけ早く勉強し始めるべき
- 留学生が理解しやすい解説とはどのようなものか
  - 一つの問題の中で、わかる部分と分からない部分を明確にし、わからない部分の説明を中心に、他の分野の説明も交えて説明する（複合的に理解させる）
- 日本語の教師との連携について
  - 日本語の教師は他から来てもらっていて、介護教員との連携はまだ少ない。今は、留学生の先輩から教えてもらっているのが現状
- 国試に対する危機感の具体的内容
  - 学生が試験でできない問題を中心に教えていたが、学生の自信の低下につながったので、自信を持たせるためにも（諦めさせない）ためにも、ある程度学生が理解できる問題も含めて、徐々に難易度を上げていくのが良いと考えている

【E 専門学校 F先生 ヒアリング】

日時	2023年1月20日11時~12時	
場所	ZOOM	
出席者	ヒアリング対象	養成校E（2年制の専門学校）
	傍聴	厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 鈴木氏 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 扇川氏
	事務局	介養協 山田・田中 PwCコンサルティング 岡田

- F先生の経歴
  - 介護教員歴は8年で、それ以前は、回復期病棟で7年、介護福祉士を務めていた
  
- 学生に介護の楽しさを伝える工夫
  - 本科入学前の日本語学科の時点で、施設見学を導入した
  - 留学生のほとんどが、日本の介護現場を見たことがなかった
  - 学生は「介護って全然、先生違うね」と発言しており、それが介護に対するイメージ変容の契機だった
  
- 本事業の成果物に記載すべきこと
  - 学生がN2を取得しているという要件
    - ◇ N2相当のようにあいまいな表現ではなく、N2を取得していなければ授業についていけないと明示的に示す必要がある
    - ◇ 留学生に特化した授業は行っていないため、やる気があっても語学力の不足で授業についていけない学生がいる
    - ◇ N2の語彙というよりも文法や読解力がないと、国家試験の問題を読んで解けない
  - 日本の介護業界全体や魅力
    - ◇ 介護に対する学生のモチベーションに大きな差がある
    - ◇ 日本に残るため、在留資格を取得するために介護を勉強している学生もいる
    - ◇ 日本の介護でなぜ医学的な側面を勉強するのかを記載するのは効果的かもしれない
    - ◇ 既に介護の道に興味がある学生にとっては、勉強方法や試験対策を記載するのが良いかもしれない
  - 国家試験を読み解くコツや頻出の文法の一覧表
    - ◇ 日本語科の先生に国家試験問題を読み解いて文法や接続詞の表を作成してもらっている
    - ◇ そのような表に対する学生の満足度が高い
  - モデルとなる介護福祉士について

- ◇ 学生が抱えている「介護＝お年寄りのお世話（食事介助やおむつ交換等）」というイメージを払拭したい
- ◇ お年寄りとのお話のようなコミュニケーションを主軸とした実習の価値を理解してもらいたい
- ◇ 学生には不自由な人と関わることの楽しさに気づいてほしい

● 学生の意欲を維持させる方法

- 「頑張ったね」と声をかける
- 学生と一緒に喜ぶ
- 留学生にとって定期試験は高いハードルで且つ 1 年次は科目数も多く、再試験が全くない学生はほぼいない
- 友人同士で喜んだり友人に「すごい」と言われたりするの嬉しい
- オープンな雰囲気クラスを作る
  - ◇ 引っ込み思案な日本人だけでなくフランクな留学生がいることでオープンな雰囲気を作りやすい
  - ◇ 1 年次に学生としての在り方や社会人としての考え方を考える授業があり、そこで多様性の理解や助け合いの重要性を伝える
  - ◇ 学生を注意する時も隠れずにオープンにしていた
  - ◇ 強制しなくても学生が自発的に放課後にグループで日程を調整して勉強していた

● ヒアリングに協力いただいた H さんの学生時代の印象

- コツコツやるタイプの学生だった
- H さんにアルバイト先として介護付きの有料老人ホームを紹介して、まずは生活を整えさせた
- アルバイト先の調整は H さん以外の 1 期生の学生に対しても行った

【G 短期大学 H 介護教員・I 介護教員 ヒアリング】

日時	2023年2月20日14時~15時	
場所	ZOOM	
出席者	ヒアリング対象	養成校G (2年制の短期大学)
	傍聴	厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 鈴木氏
	事務局	介養協 田中 PwCコンサルティング 岡田

- 点数が上がらない学生の問題に関する考察
  - H 教員
    - ◇ 国家試験対策のオリエンテーションで、留学生の合格率の低さを提示して合格することの難しさを自覚させた
    - ◇ Jさんの学年には間違いや失敗を恥と思わない積極性が高い留学生が多かった
    - ◇ 日本語能力が国家試験の点数に大きく影響すると考えている
    - ◇ 留学生が自分で勉強することは当然だが他人に教えられることも重要だった
    - ◇ 留学生同士が助け合っていたため、最初は点数が低かった留学生も合格まであと一歩というところまで達した
  - I 教員
    - ◇ 日本語能力が国家試験の点数に大きく影響すると考えている
    - ◇ ベトナム語で分からない内容を教えてもらおうと日本語への拒絶反応が出てしまう留学生もいた
    - ◇ どれだけ日本語を身につける意欲があるかが留学生の点数に大きく影響したと考える
- 本事業の成果物に記載すべきこと
  - 早期から留学生に意識付けすること (H 教員)
    - ◇ 積極的な留学生が多いことがクラス全体に良い影響を与えていた
    - ◇ 1年生から国家試験を意識して授業を受けることの重要性を伝えていた
    - ◇ 早期から国家試験を意識させることで、単に実習に行くためだけの授業ではなく国家試験と結びついた授業になる
  - 日本語を勉強するためのテキストやツールの紹介 (I 教員)
    - ◇ 留学生が簡単にアクセスできたり図書館で購入できたりすると良い
- 学生が互いに教え合う雰囲気を作る方法 (H 教員)
  - 1年生からグループワークをする授業を多くする
  - グループワークで他者に意見を伝える機会を設ける
  - 1年生から他の留学生と関わる機会が多いため、自然に留学生同士の関係性が構築される
  - 教員が留学生に互いに教え合うよう促さなくても留学生が互いに教え合っている
- 学年を超えた留学生同士の交流を促す方法

- H 教員
  - ◇ 1 年生が 2 年生の実習報告会に参加する等、1 年生と 2 年生が交流できる機会を多くする
  - ◇ 交流できる機会から、徐々に深い関係を構築できる場合もある
- I 教員
  - ◇ イベントでは学年ではなく縦割りでグループを分けることで、1 年生が 2 年生と関われるようにする
  - ◇ 卒業後の交流にも繋がるため、学校での交流の機会をより充実させる必要があると考える
- 留学生の特長
  - 目的意識が明確である
    - ◇ 「必ず資格を取るぞ」という気持ちが強く、それが日本人学生にも良い影響を与えている (H 教員)
    - ◇ 目的意識が明確だからこそ学業とアルバイトを両立させられる (H 教員)
    - ◇ 日本語能力が低い熱心な留学生は、アルバイト先の利用者さんに励まされて学校の授業を頑張っている (I 教員)
    - ◇ 留学生がいることで学校全体やクラスの雰囲気がより良くなる (I 教員)
- 卒業に必要な単位数とスケジュール (I 教員)
  - 専門科目と基礎教養科目を合わせて 62 単位以上が必要で、2 年間非常に忙しい
  - 選択科目も全て履修すると、2 年間で 100 単位以上取得できる
  - 1 限から 4 限までの日がほとんどで、2 年生になると空きコマができて国家試験対策の授業を受けたり図書館で勉強したりする
  - 授業がない長期休みには実習に行く
  - 当校は、社会学や心理学ではなく地域の伝統文化を学べる基礎教養科目があり、それを学ぶことで現場での利用者さんとのコミュニケーションに繋がるという点である
  - 国家試験対策と短期大学としての教養部分の両方を考慮したカリキュラムを編成する必要があり、まだ、改善の余地はあるとは考えている

【J 専門学校 K 介護教員ヒアリング】

日時	2023年1月11日16時~16時半	
場所	ZOOM	
出席者	ヒアリング対象	養成校J（2年制の専門学校）
	傍聴	厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 鈴木氏
	事務局	介養協 田中 PwCコンサルティング 岡田

- 留学生の能力や学習状況の違いに対する工夫について
  - 基本的な日本語ができていない学生には、始業前に毎日 1 時間程度、日本語の補習時間を設けている
  - 書くのが苦手な場合は書かせる宿題を出すなど、個別にプログラムを立てて指導している
- 他の先生方との共有や連携について
  - 基本的には日々の授業で各担当の先生が気になったことを報告してもらっている
  - 非常勤の先生はこちらから気になった学生とかいませんか、とリサーチしている
  - 2~3 ヶ月に 1 回大きな学科会議があるので、そこで共有して具体的な統一された指導の方向性を決めています。
- 学習の進捗が把握できている学生とそうではない学生の違いについて
  - 個人的な意見ですが、授業外の日々の生活のなかでファイル整理ができて、提出期限が守れるなど些細な積み重ねが大きな結果に繋がると考えている
- ファイル整理や期限を守るやり方が分からない学生へ、何かアイデアを
  - 基本的には、教員が学生へ声掛けは必ず行い、必要とあれば面談をしていく
  - それぞれの先生に目を掛けてもらって、常に細かな声掛けをしていく
- どうしてもやる気が出ない学生への対応について
  - モチベーションは学生が上げていくしかない。教員にできることは環境整備だけ。
  - グループワークの授業も多く取り入れており、学生同士の相乗効果を狙った授業展開は各先生意識してやってもらっている
- ハンドブックに載せるべき内容について
  - 日本語の擬音語とか擬態語、身体言語を使った慣用句、カタカナ、それから文化の違いについての記載が考えられる
    - 日本語学校では標準語だが、施設や実習先は方言が強い地区なので方言の違い
  - 学校でアルバイト先の施設に対する調整依頼の有無について
    - 例えば実習中のアルバイトはやめてほしい、あるいは、日だけにしてほしいなど、時間の調整依頼は行っている。
    - テスト前や国家試験前のアルバイトについては、施設側からも電話があり、施設とのコミュニケーションを図りながら、調整している





令和4年度 厚生労働省 老人保健健康増進等事業  
外国人介護人材の質の向上等に資する学習支援等調査研究事業 報告書

---

令和5年3月  
公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-3-10 藤和シティコープ御茶ノ水 2階  
TEL 03-3830-0471 FAX 03-3830-0472

---